

基礎集計編

群馬大学 編

基礎集計編

本編は、「平成14年7月9日～11日にかけての台風6号による郡山市の水害に関する住民アンケート」の基本集計の結果をとりまとめたものである。

ここでは、調査票における設問順に従って、各設問の基本集計結果ならびに基本属性項目とのクロス集計を報告する。なお、自由回答については、次の「自由回答編」で別途報告する。

0. 調査票の配布・回収状況

- ・配布エリアと配布、回収状況
- ・地区別回収数
- ・調査票の種類別の配布・回収数

1. 浸水被害の実態

- 問1：浸水被害の有無
- 問2：浸水の深さ
- 問3：浸水の進展
- 問4：家屋・家財被害の実態

2. 今回の水害時における行政対応の評価

- 問5：避難情報の発令・解除に対する評価
- 問6：水害における郡山市の取り組みに対する総合評価
- ※問7については「自由回答編」で報告する。

3. 「阿武隈川 平成の大改修」の評価と住民意識

- 問8：「阿武隈川 平成の大改修」の認知
- 問9：「阿武隈川 平成の大改修」の費用に関する認知
- 問10：「阿武隈川 平成の大改修」の効果と水害発生に関する住民意識
 - (1)「阿武隈川 平成の大改修」実施前の水害発生に関する住民意識
 - (2)「阿武隈川 平成の大改修」実施後の水害発生に関する住民意識
 - (3)今回の水害後における水害発生に関する住民意識
- 問11：「阿武隈川 平成の大改修」に対する総合評価
- 問12：今回の水害以前における郡山市の河川行政の取り組みに対する評価
 - (1)ハード対策の評価
 - (2)ソフト対策の評価
 - (3)総合評価

4. 水害時における住民の情報取得、危機意識、対応行動の実態

- 問13：避難情報の取得（避難準備・避難勧告・避難指示）
 - ・避難情報の取得実態
 - ・避難情報のはじめの取得手段
 - ・時系列にみた避難情報の取得
- 問14：状況把握・情報取得・危機意識の実態
 - (1)郡山市に台風の影響がおよぶ
 - (2)西日本での洪水被害を知る
 - (3)台風・災害情報を積極的に収集する
 - (4)大雨洪水警報の発表を知る
 - (5)雨の降り方が異常だと思い始める

- (6)阿武隈川の水位に注目し始める
- (7)洪水が発生するかも、と意識し始める
- (8)洪水の発生を明確に意識し始める

問15：家屋・家財保全行動

問16：家屋・家財保全行動の開始時間ときっかけ

問17：世帯における避難行動

問18：個人単位でみた避難行動

- ・世帯員人数
- ・個人の避難実態
- ・避難先
- ・避難手段
- ・避難行動の実態

問19：今後の水害発生時における避難意向

問20：避難に関する意識、評価

5. 改訂版洪水ハザードマップについて

問21：改訂版洪水ハザードマップの使用状況

問22：水害時における改訂版洪水ハザードマップの利用状況

問23：住民説明会への参加実態

問24：住民説明会の必要性に関する認識

問25：住民説明会の内容の理解度

問26：改訂版洪水ハザードマップの内容の評価

問27：改訂版洪水ハザードマップに示されるような洪水災害の発生可能性意識

6. 水害に対する考え

問28：自宅の浸水可能性意識

(1)床下浸水の発生頻度

(2)床上浸水の発生頻度

問29：平時の災害に対する備え

問30：床上浸水の発生頻度とそれに対する家屋対策実施に関する認識

問31：郡山市での水害やその対策に関する意識

7. 過去の水害経験

問32：平成10年8月末水害の経験

問33：平成10年8月末水害時の避難

問34：平成10年8月末水害での家屋・家財被害

問35：昭和61年水害の経験・避難

問36：その他水害経験

問37：ヒヤリ・ハット体験の有無

問38：ヒヤリ・ハット体験の内容

- ・体験の有無、いつ、だれと、回避の可・不可
- ・記述内容

問39：実際にけがをしてしまった体験の有無

問40：実際にけがをしてしまったときの体験の内容

- ・だれと、回避の可・不可
- ・記述内容

問41：水害・危機に対する意識

8. 基本属性

問42：年齢・性別

問43：職業

問44：居住歴

問45：改訂版洪水ハザードマップに示される自宅の予想浸水深

問46：保険の加入状況

・加入の実態

・加入の時期

・加入の理由

問47：避難困難者の有無

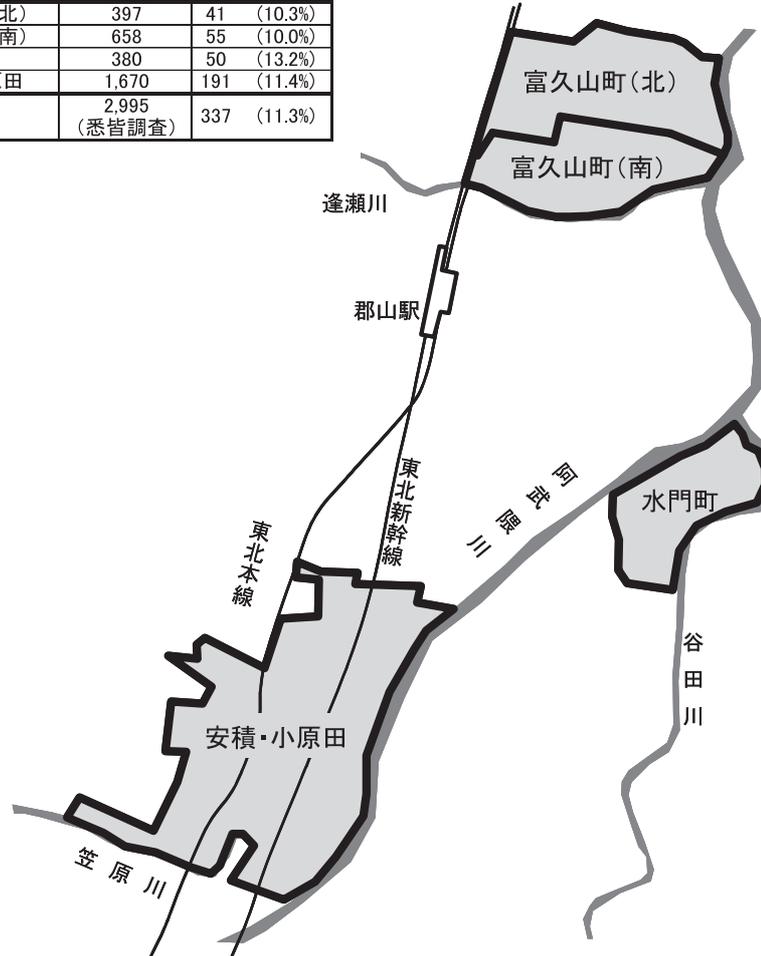
問48：家屋形式

問49：世帯年収

0. 調査票の配布・回収状況

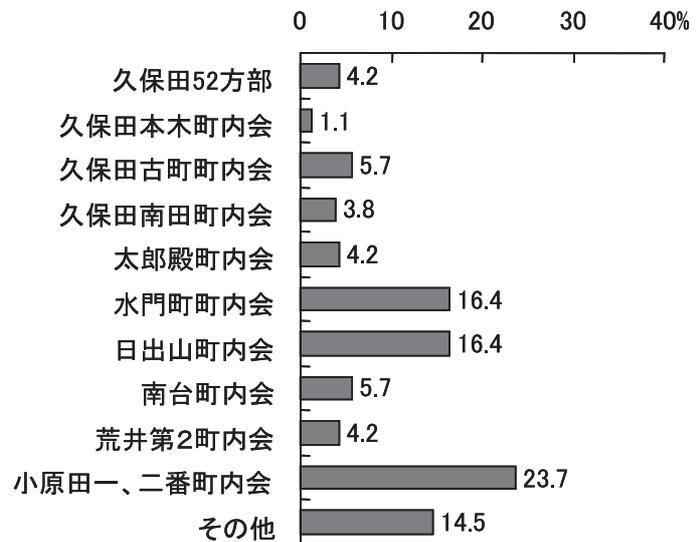
■配布エリアと配布、回収状況

配布エリア	配布数	回収数(率)
富久山町(北)	397	41 (10.3%)
富久山町(南)	658	55 (10.0%)
水門町	380	50 (13.2%)
安積・小原田	1,670	191 (11.4%)
全体	2,995 (悉皆調査)	337 (11.3%)



■地区別回収数

	度数	構成比
久保田52方部	11	4.2
久保田本木町内会	3	1.1
久保田古町町内会	15	5.7
久保田南田町内会	10	3.8
太郎殿町内会	11	4.2
水門町町内会	43	16.4
日出山町内会	43	16.4
南台町内会	15	5.7
荒井第2町内会	11	4.2
小原田一、二番町内会	62	23.7
その他	38	14.5
合計	262	100.0
無回答	75	
	337	



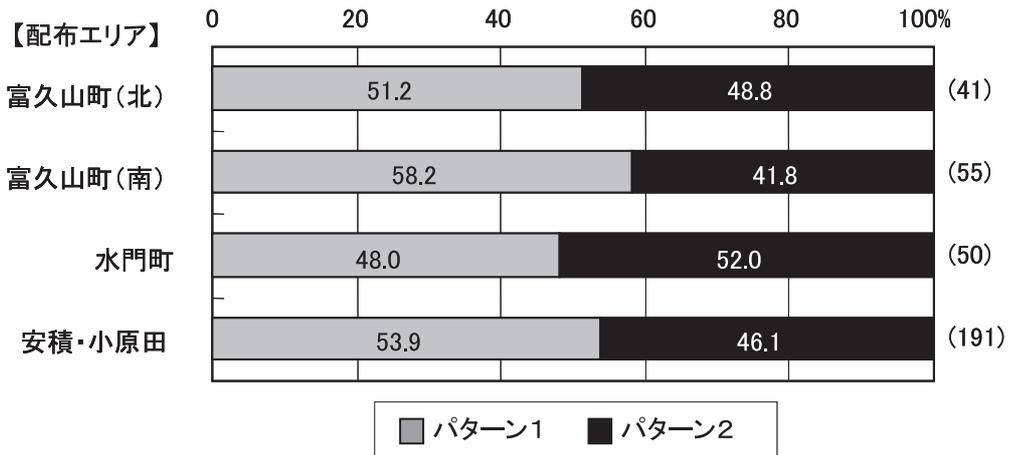
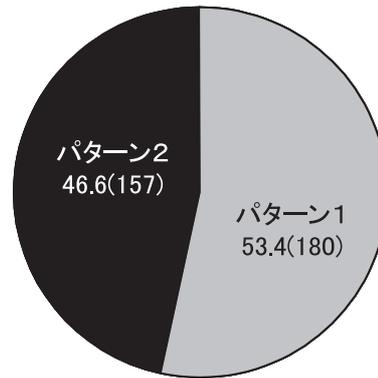
■調査票の種類別の配布・回収数

今回の調査では質問の順番が異なる2種類の調査票を用いた。

- ・パターン1：平成の大改修や河川行政に対する評価に関する質問項目が、意識や対応行動に関する質問項目よりも前にある調査票パターン
- ・パターン2：平成の大改修や河川行政に対する評価に関する質問項目が、意識や対応行動に関する質問項目よりも後ろにある調査票パターン

パターン1とパターン2での回答を比較することによって、問いの配置による回答の違いを把握し、調査票の設計はどうあるべきかを検討することを目的としている。

	度数	構成比
パターン1	180	53.4
パターン2	157	46.6
合計	337	100

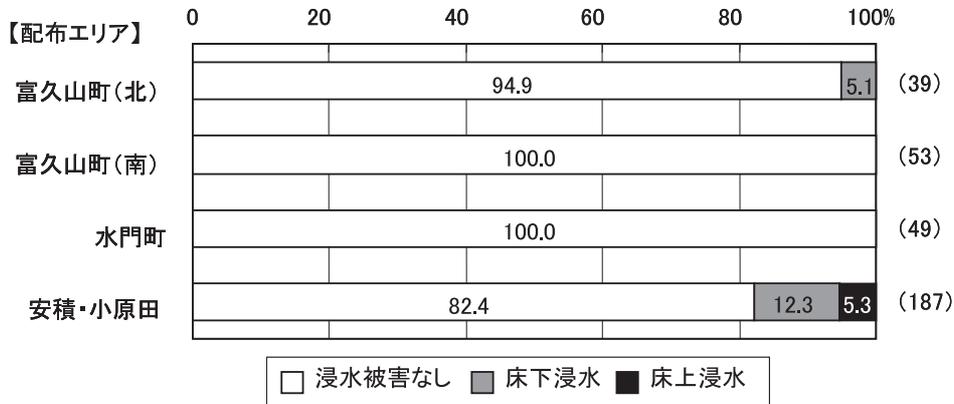
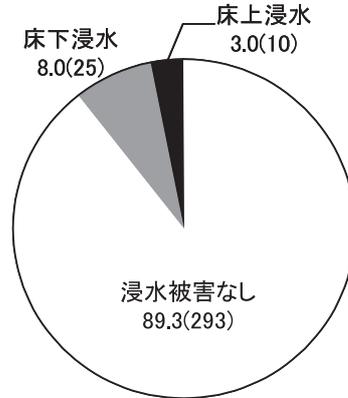


1. 浸水被害の実態

問1：浸水被害の有無

このたびの水害では、ご自宅で浸水被害はありましたか。

	度数	構成比
浸水被害なし	293	89.3
床下浸水	25	7.6
床上浸水	10	3.0
計	328	100.0
無回答	9	
合計	337	

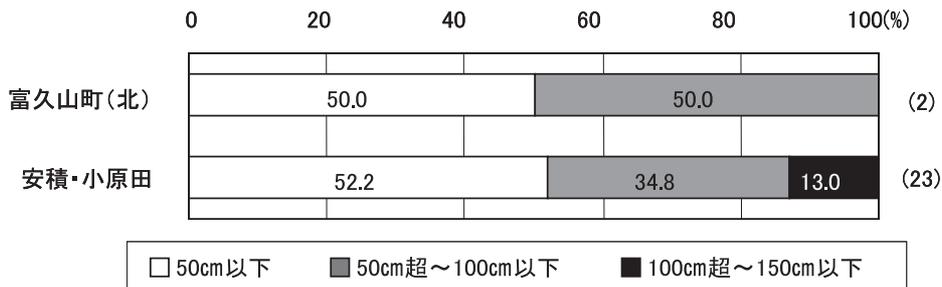
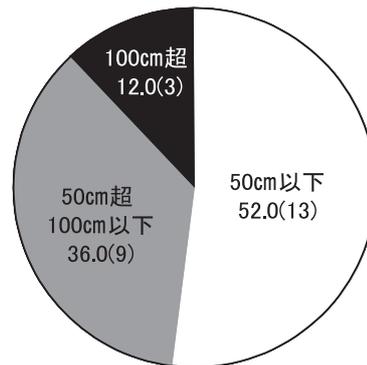


問2：浸水の深さ

ご自宅の浸水は、最も深い場所でおよそどれくらいの深さでしたか。

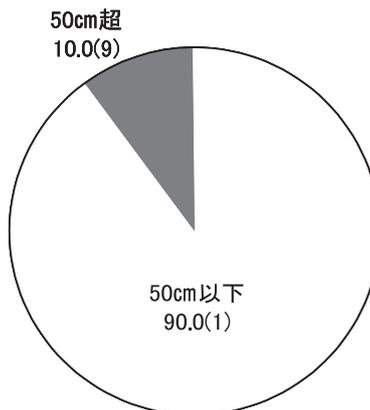
■床下浸水

	度数	構成比
50cm以下	13	52.0
50cm超～100cm以下	9	36.0
100cm超～	3	12.0
計	25	100.0
非該当	302	
無回答	10	
合計	337	



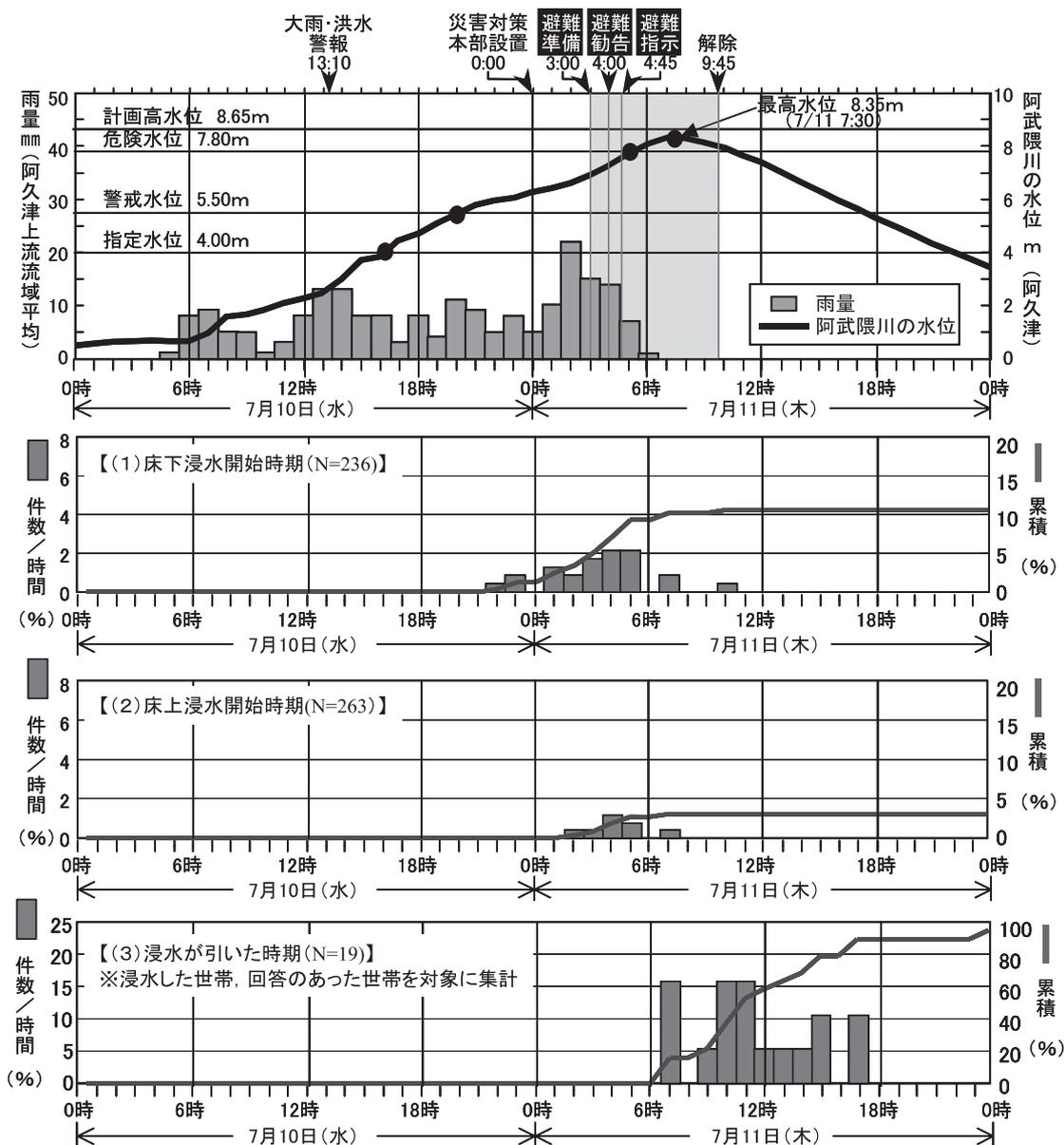
■床上浸水（安積・小原田）

	度数	構成比
50cm以下	9	90.0
50cm超	1	10.0
計	10	100.0
非該当	317	
無回答	10	



問3：浸水の進展

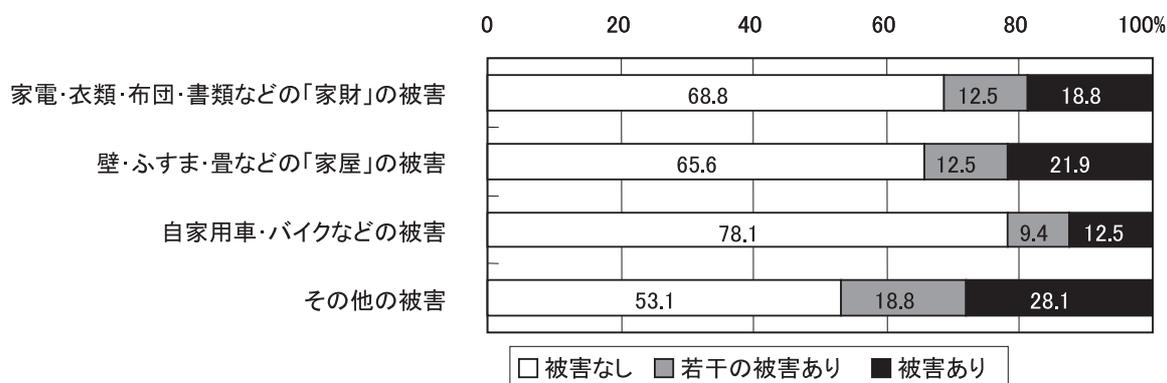
ご自宅は、どれくらいの期間、浸水被害に見舞われましたか。ご記憶の範囲でお答え下さい。床上浸水まで至らなかった場合は、(2)は無記入で結構です。



問4：家屋・家財被害の実態

あなたの世帯では、どのような被害がありましたか。各項目について当てはまる数字に○を付けて下さい。また、被害があった方は、その被害額についてもお答え下さい。(被害額とは、被害物を補修・買替え等のために支払った金額(ローン等の予定も含む)です。)

	被害なし	若干の被害あり	被害あり	計	非該当	無回答	合計
家電・衣類・布団・書類 などの「家財」の被害	度数 22	4	6	32	292	13	337
	構成比(%) 68.8	12.5	18.8	100			
壁・ふすま・畳などの 「家屋」の被害	度数 21	4	7	32	292	13	337
	構成比(%) 65.6	12.5	21.9	100			
自家用車・バイクなど の被害	度数 25	3	4	32	292	13	337
	構成比(%) 78.1	9.4	12.5	100			
その他の被害	度数 17	6	9	32	292	13	337
	構成比(%) 53.1	18.8	28.1	100			



■その他被害の内容

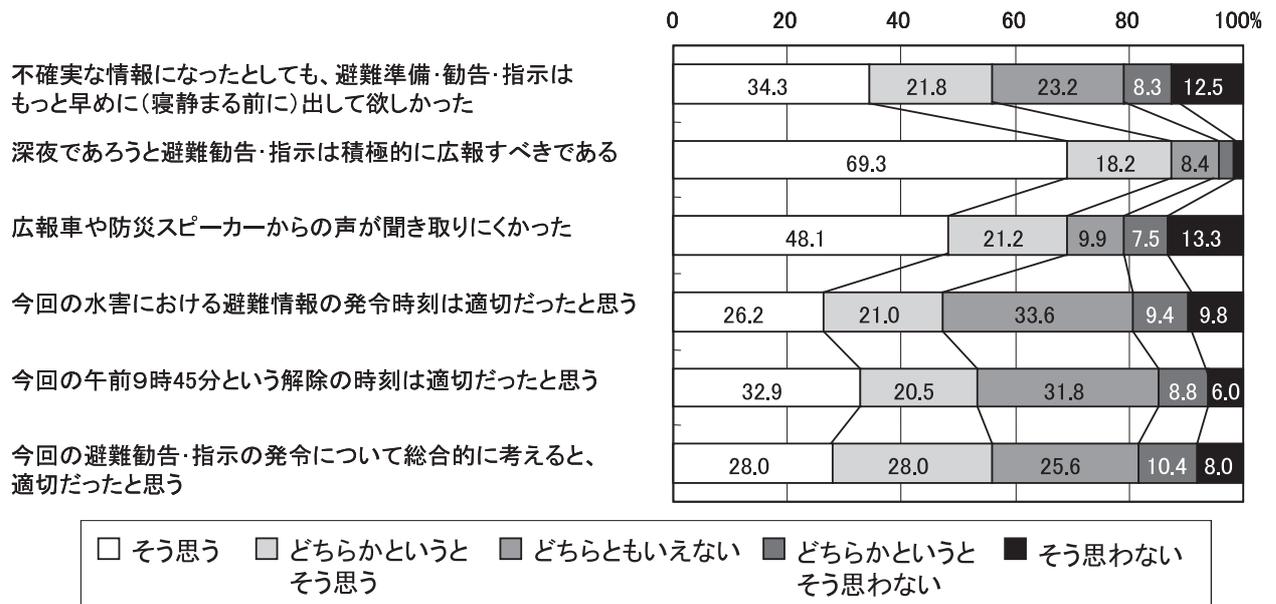
ブロック	No	記述内容	被害の程度	被害額
a	16	果樹菜園倉庫	若干の被害あり	回答なし
d	1	風呂 炊き口釜	被害あり	1万円
d	26	物置だけ	被害なし	-
d	58	ユニットバス	被害あり	100万円
d	73	電気製品、除雪機	被害あり	20万円
d	87	倉庫、米、肥料	被害あり	40万円
d	91	履物、エアコン、風呂ボイラー、床下柱くされ、植木	被害あり	50万円
d	98	車のタイヤが浸水	若干の被害あり	0万円
d	104	商品	被害あり	200万円
d	121	風呂釜	若干の被害あり	7万円
d	123	植木鉢の破損	被害あり	7万円
d	130	物置内の荷物・自転車	若干の被害あり	不明
d	133	商品	被害あり	20万円
d	142	床下の設置機器	被害あり	50万円
d	158	物置	若干の被害あり	回答なし
d	178	納屋	被害なし	-

2. 今回の水害時における行政対応の評価

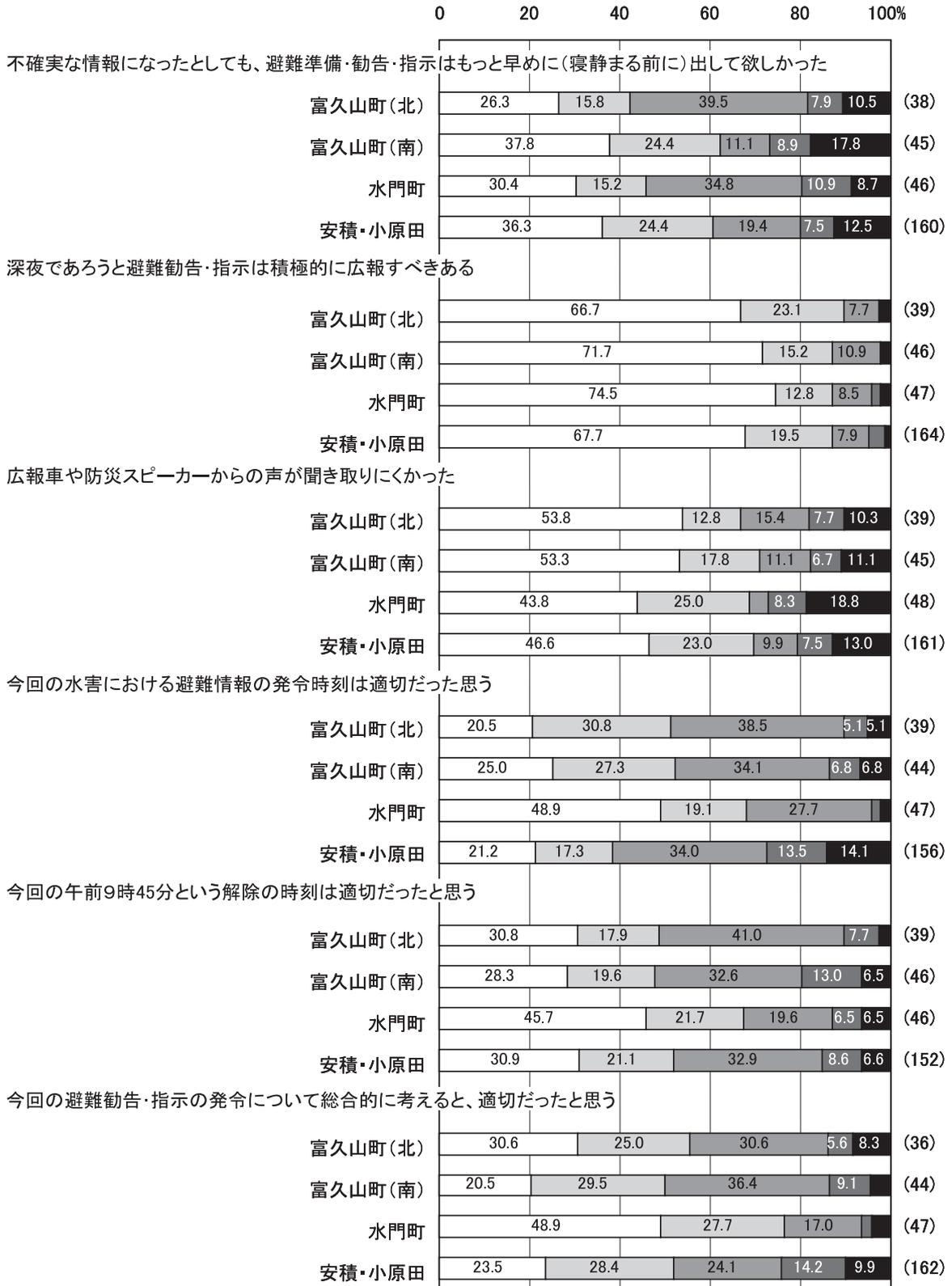
問5：避難情報の発令・解除に対する評価

下記の質問について最も当てはまると思う数字に○を付けて下さい。

	そう思う	どちらかという と思う	どちらとも いえない	どちらか という 思わない	そう思わ ない	計	無回答	合計
不確実な情報になったとしても、避難準備・勧告・指示はもっと早めに(寝静まる前に)出して欲しかった	度数 99	63	67	24	36	289	48	337
	構成比(%) 34.3	21.8	23.2	8.3	12.5	100.0		
深夜であろうと避難勧告・指示は積極的に広報すべきである	度数 205	54	25	7	5	296	41	337
	構成比(%) 69.3	18.2	8.4	2.4	1.7	100.0		
広報車や防災スピーカーからの声が聞き取りにくかった	度数 141	62	29	22	39	293	44	337
	構成比(%) 48.1	21.2	9.9	7.5	13.3	100.0		
今回の水害における避難情報の発令時刻は適切だったと思う	度数 75	60	96	27	28	286	51	337
	構成比(%) 26.2	21.0	33.6	9.4	9.8	100.0		
今回の午前9時45分という解除の時刻は適切だったと思う	度数 93	58	90	25	17	283	54	337
	構成比(%) 32.9	20.5	31.8	8.8	6.0	100.0		
今回の避難勧告・指示の発令について総合的に考えると、適切だったと思う	度数 81	81	74	30	23	289	48	337
	構成比(%) 28.0	28.0	25.6	10.4	8.0	100.0		



■配布エリア別にみた避難情報の発令・解除に対する評価

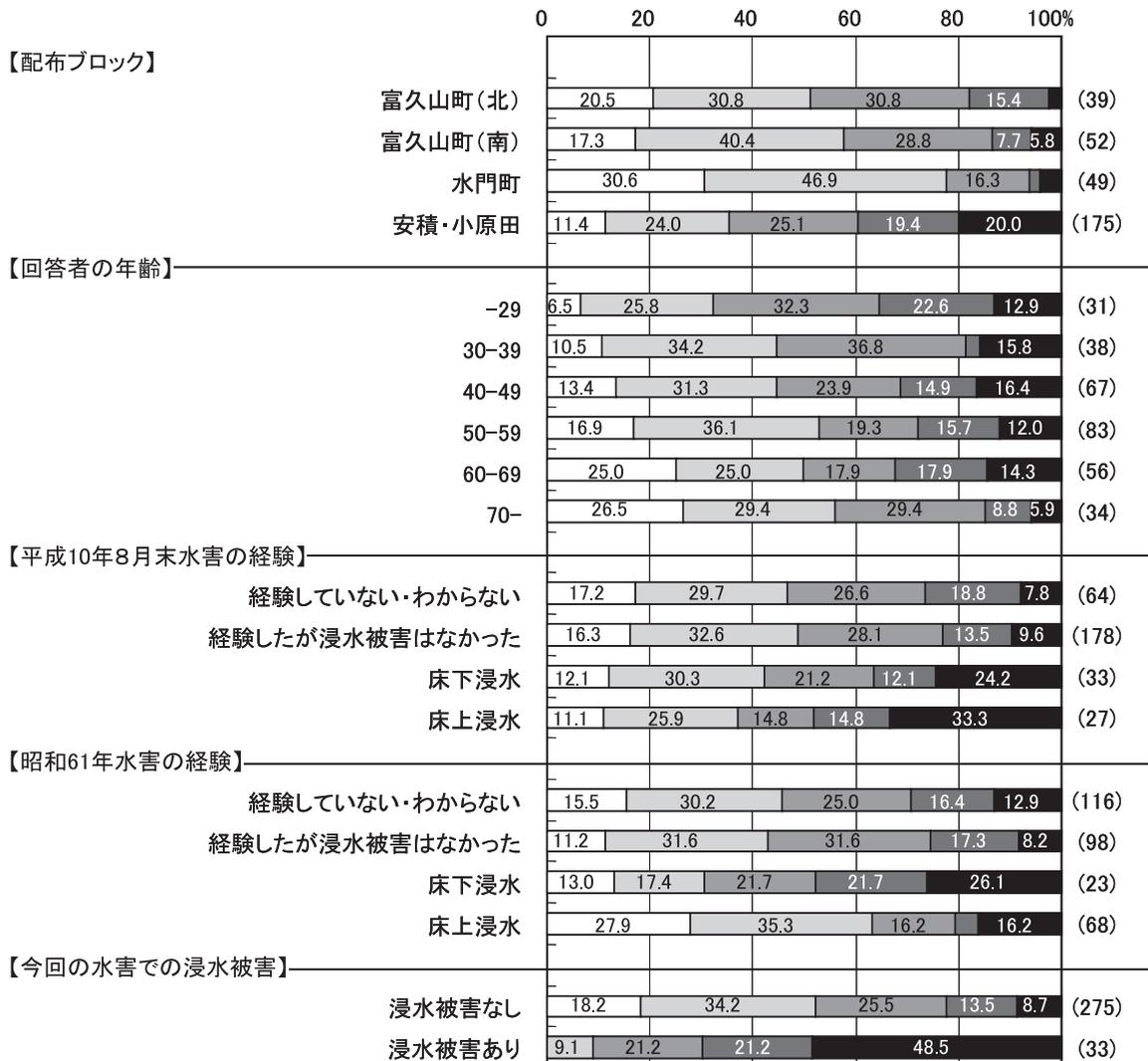
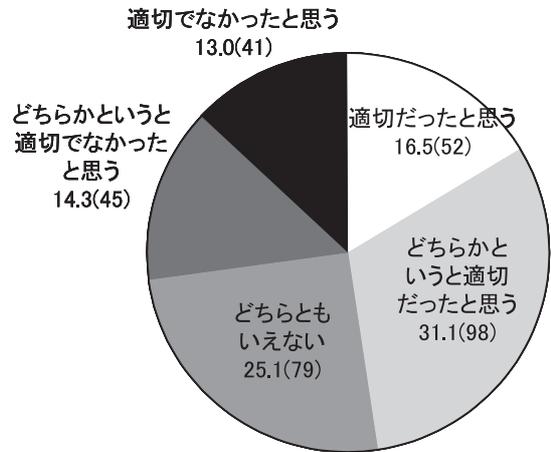


□ そう思う □ どちらかというそう思う □ どちらともいえない
 ■ どちらかというそう思わない ■ そう思わない

問6：水害における郡山市の取り組みに対する総合評価

今回の水害時における郡山市の取組みについて、総合的に評価するとするならば、あなたはどのように評価しますか。

	度数	構成比
適切だったと思う	52	16.5
どちらかという適切だったと思う	98	31.1
どちらともいえない	79	25.1
どちらかという適切でなかったと思う	45	14.3
適切でなかったと思う	41	13.0
計	315	100.0
無回答	22	
合計	337	



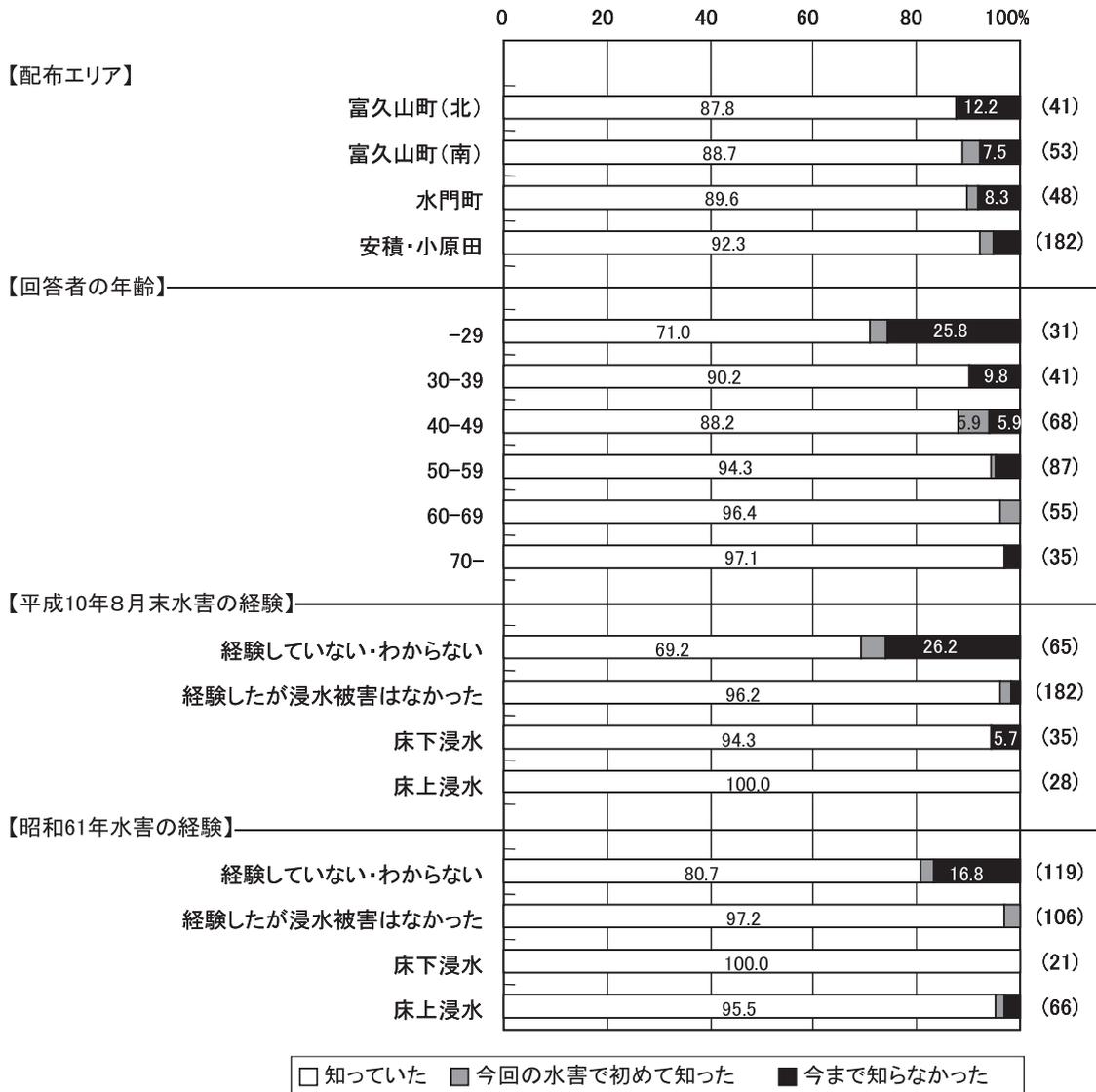
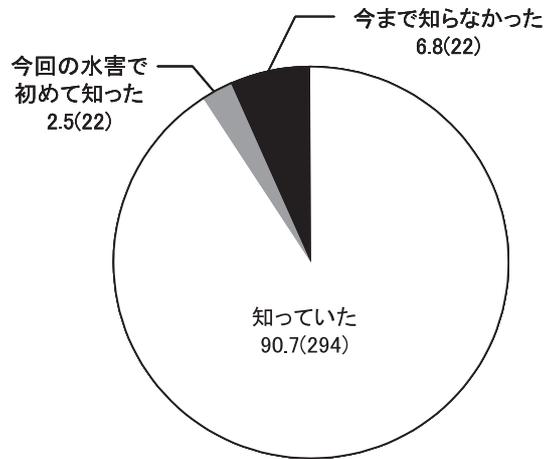
適切だったと思う
 どちらかという適切だったと思う
 どちらともいえない
 どちらかという適切でなかったと思う
 適切でなかったと思う

3. 「阿武隈川 平成の大改修」の評価と住民意識

問8：「阿武隈川 平成の大改修」の認知

平成10年8月末の豪雨水害後に行われた「阿武隈川 平成の大改修」をご存じですか。

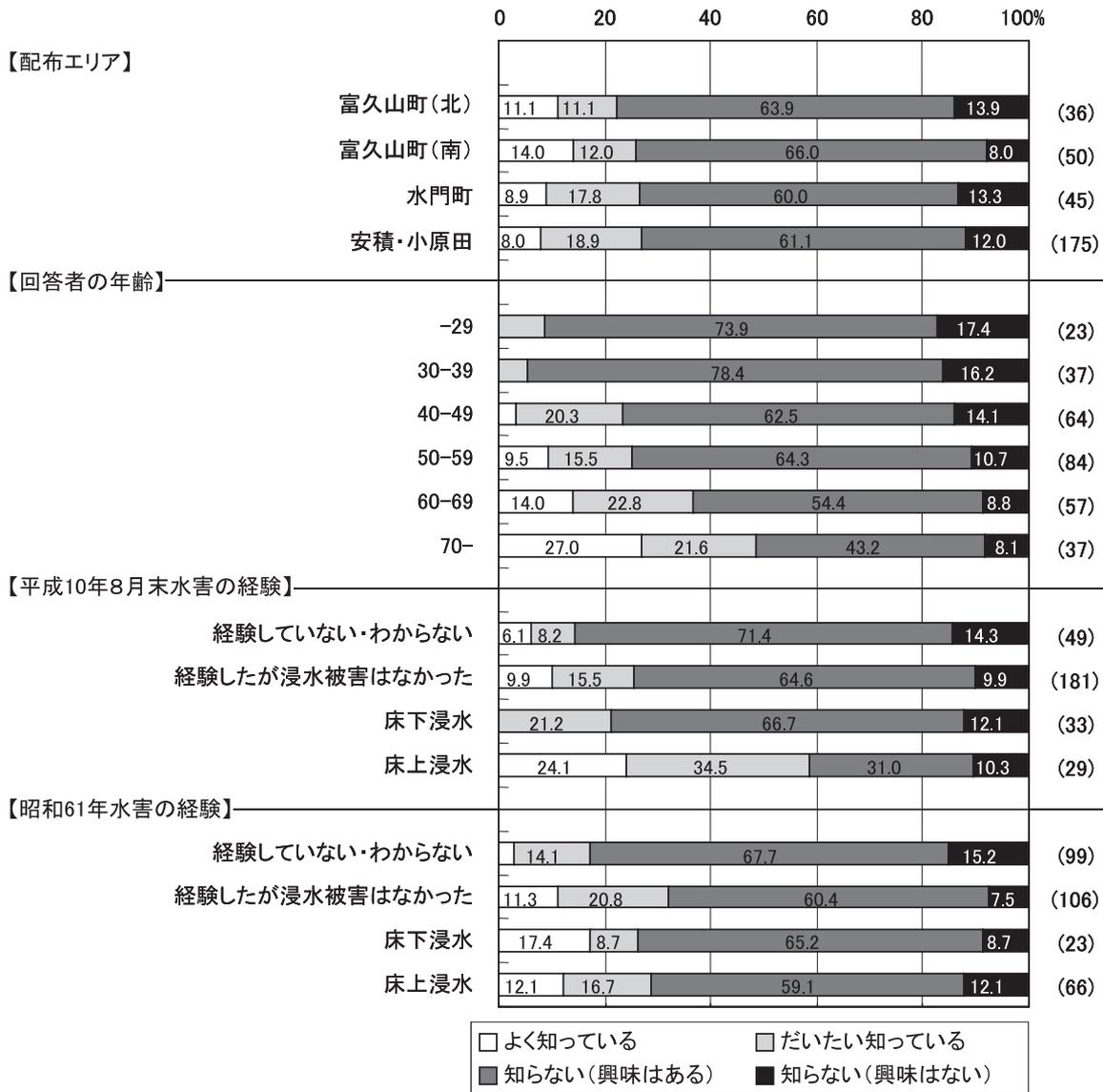
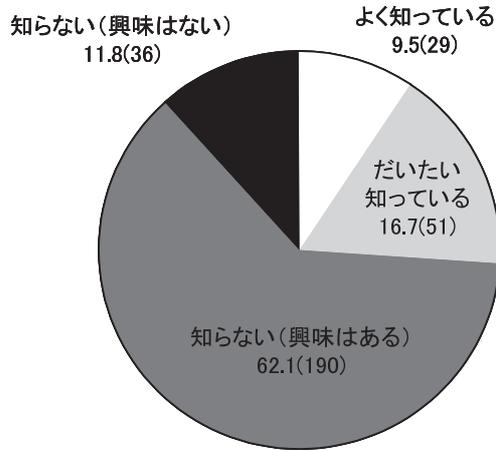
	度数	構成比
知っていた	294	90.7
今回の水害で初めて知った	8	2.5
今まで知らなかった	22	6.8
計	324	100.0
無回答	13	
合計	337	



問9：「阿武隈川 平成の大改修」の費用に関する認知

「阿武隈川 平成の大改修」の費用をご存じですか？

	度数	構成比
よく知っている	29	9.5
だいたい知っている	51	16.7
知らない(興味はある)	190	62.1
知らない(興味はない)	36	11.8
計	306	100.0
非該当	22	
無回答	9	
合計	337	



問10：「阿武隈川 平成の大改修」の効果と水害発生に関する住民意識

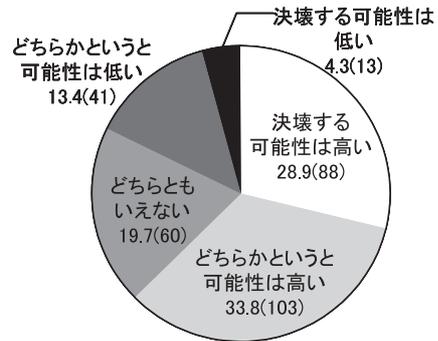
水害に対する「阿武隈川 平成の大改修」の効果について、あなたはどのようにお考えですか。次の質問にお答え下さい。

(1)「阿武隈川 平成の大改修」実施前の水害発生に関する住民意識

「阿武隈川 平成の大改修」が実施される以前においては、あなたは水害の危険性についてどのようにお考えでしたか。次の各項目についてお答え下さい。

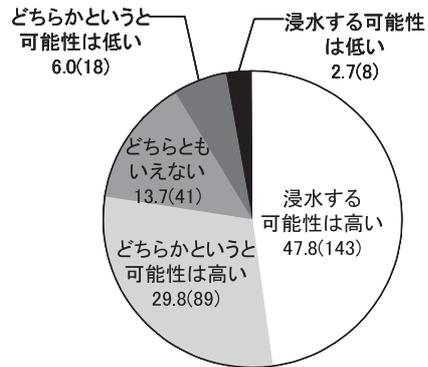
① 堤防決壊の可能性

	度数	構成比
決壊する可能性は高い	88	28.9
どちらかという可能性は高い	103	33.8
どちらともいえない	60	19.7
どちらかという可能性は低い	41	13.4
決壊する可能性は低い	13	4.3
計	305	100.0
非該当	22	
無解答	10	
合計	337	



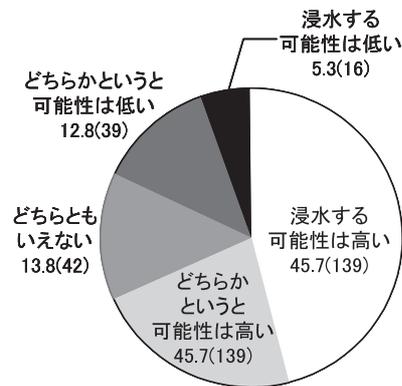
② 内水による浸水の可能性

	度数	構成比
浸水する可能性は高い	143	47.8
どちらかという可能性は高い	89	29.8
どちらともいえない	41	13.7
どちらかという可能性は低い	18	6.0
浸水する可能性は低い	8	2.7
計	299	100.0
非該当	22	
無解答	16	
合計	337	



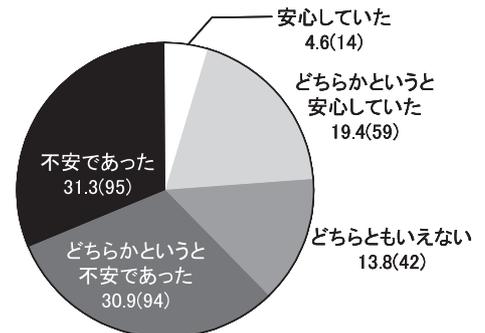
③ 自宅周辺地域における浸水の可能性

	度数	構成比
浸水する可能性は高い	139	45.7
どちらかという可能性は高い	68	22.4
どちらともいえない	42	13.8
どちらかという可能性は低い	39	12.8
浸水する可能性は低い	16	5.3
計	304	100.0
非該当	22	
無解答	11	
合計	337	

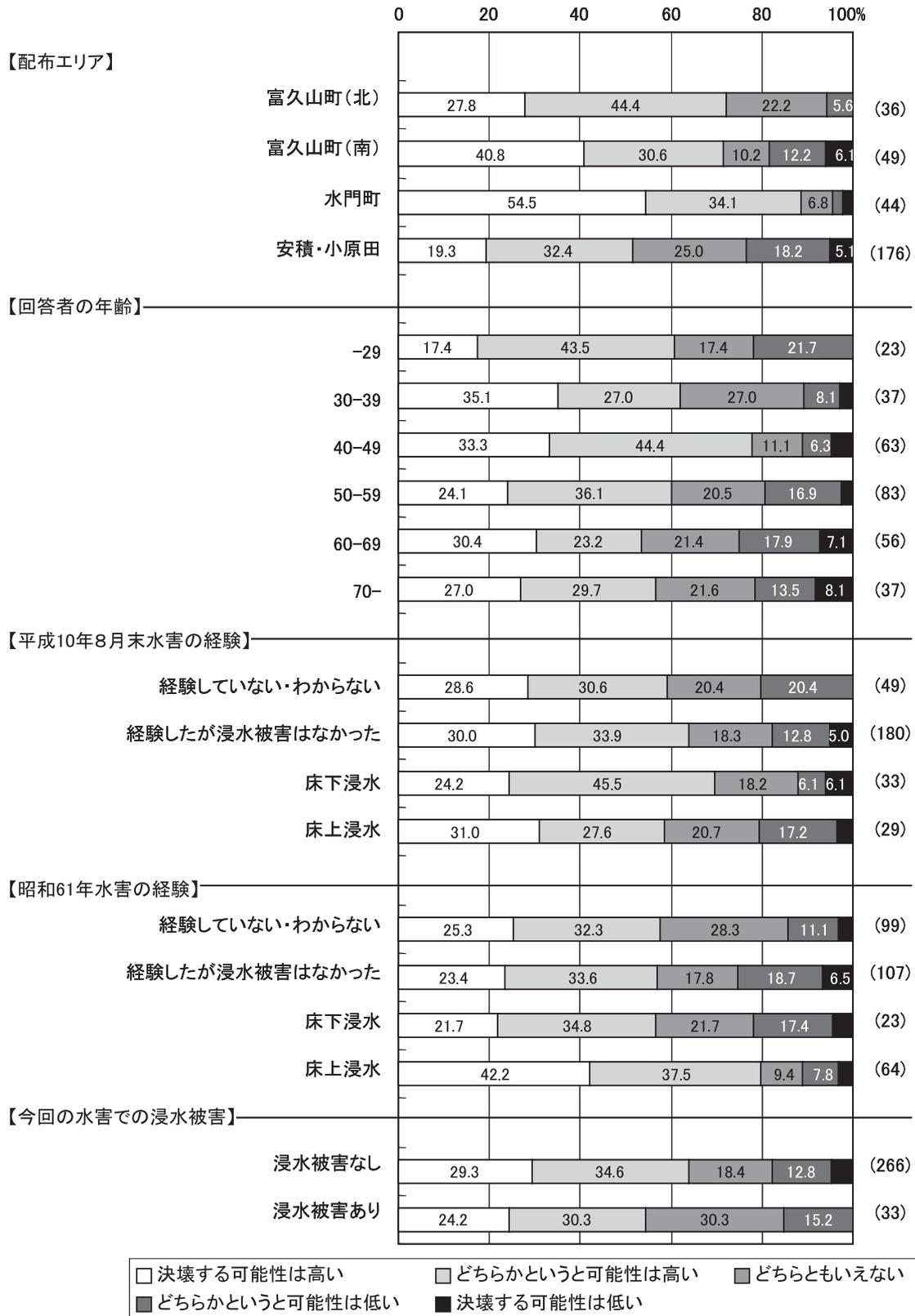


④ 自宅周辺地域の水害に対する安心-不安意識

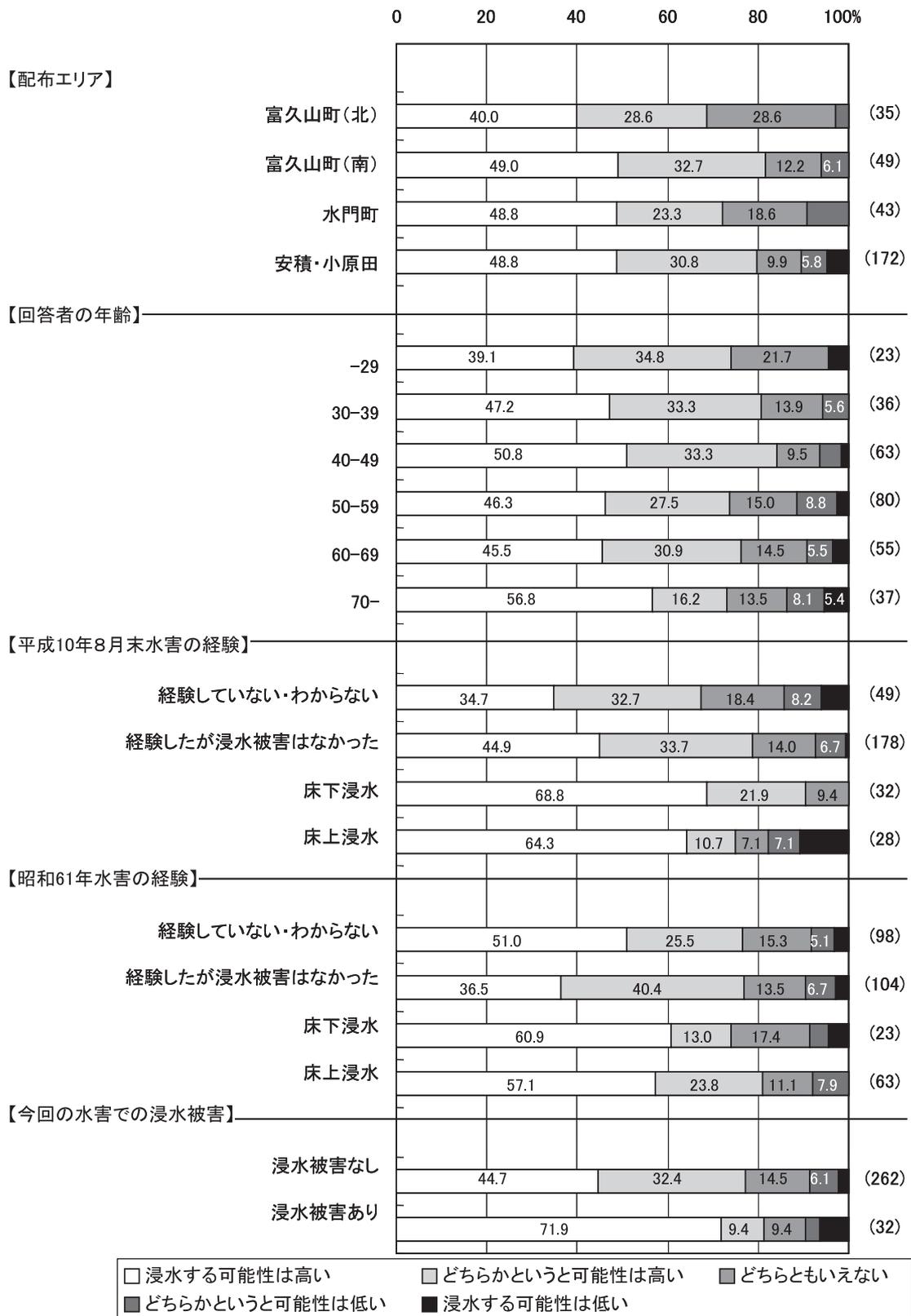
	度数	構成比
安心していた	14	4.6
どちらかという安心していた	59	19.4
どちらともいえない	42	13.8
どちらかという不安であった	94	30.9
不安であった	95	31.3
計	304	100.0
非該当	22	
無解答	11	
合計	337	



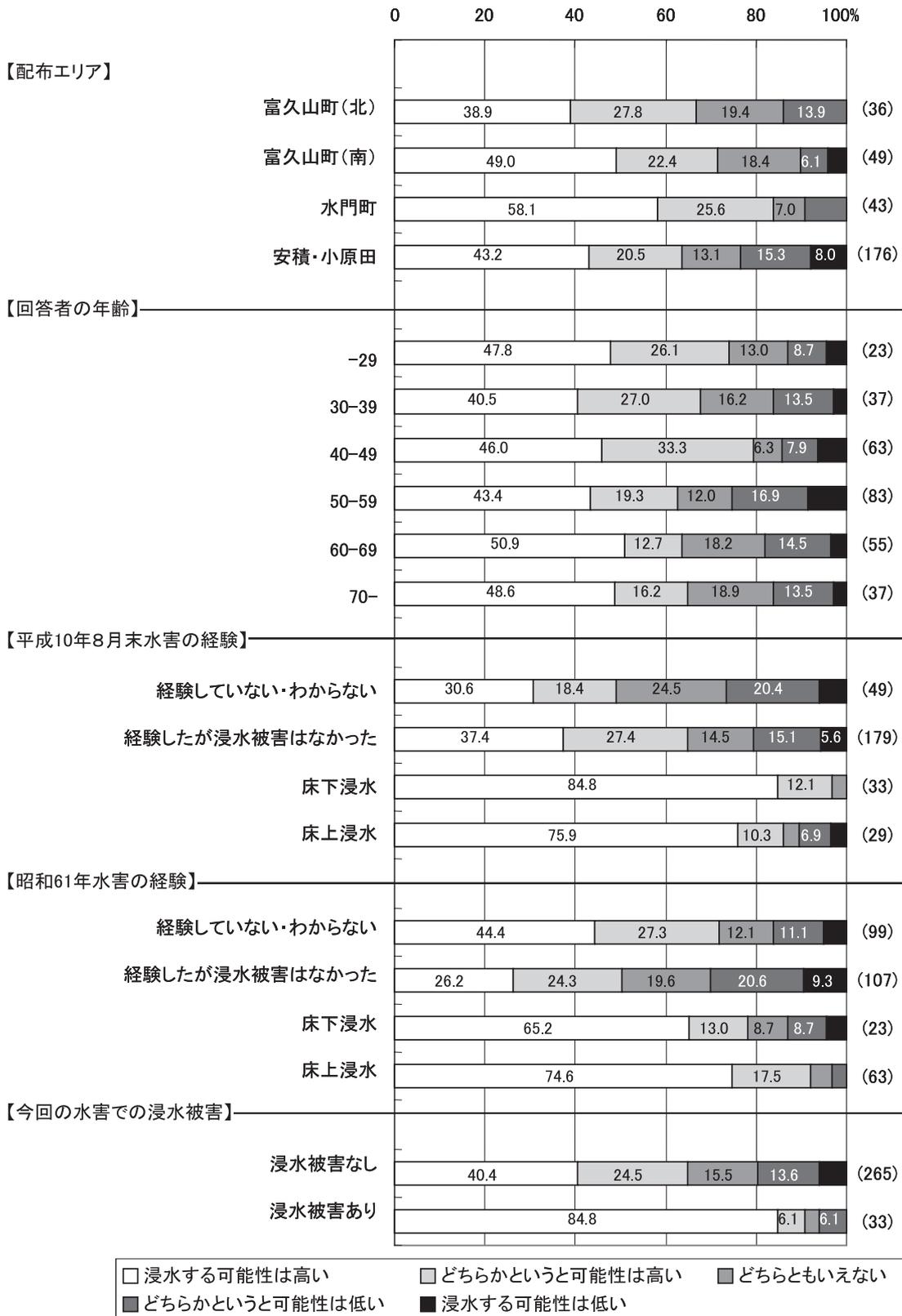
① 基本属性別にみた堤防決壊の可能性に関する認識



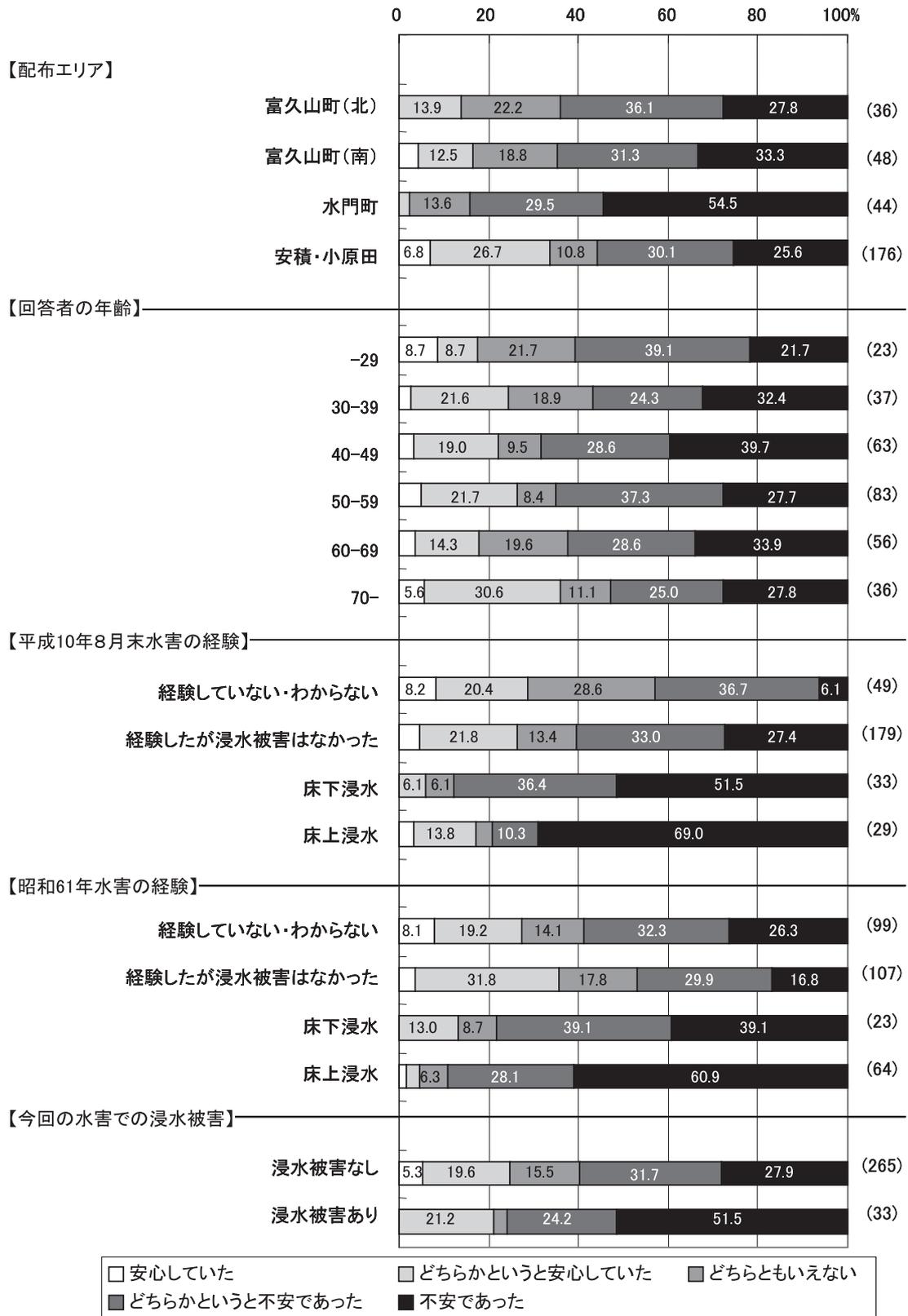
② 基本属性別にみた内水による浸水の可能性に関する認識



③ 基本属性別にみた自宅周辺地域における浸水の可能性に関する認識



④ 基本属性別にみた自宅周辺地域の水害に対する安心-不安意識

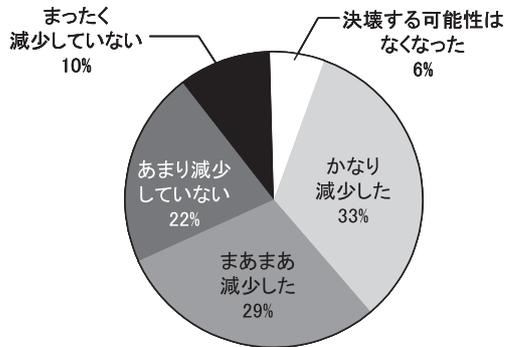


(2)「阿武隈川 平成の大改修」実施後の水害発生に関する住民意識

今回の水害が発生する前の段階では、「阿武隈川 平成の大改修」によって、水害の危険性はどのようになったとお考えでしたか。次の各項目についてお答え下さい。

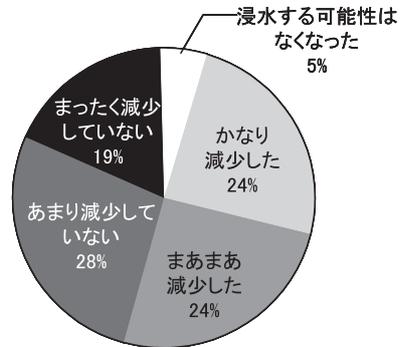
① 堤防決壊の可能性の減少度

	度数	構成比
決壊する可能性はなくなった	18	5.9
かなり減少した	99	32.7
まあまあ減少した	88	29.0
あまり減少していない	67	22.1
まったく減少していない	31	10.2
計	303	100.0
非該当	22	
無回答	12	
合計	337	



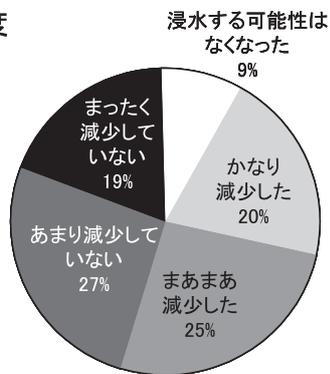
② 内水による浸水の可能性の減少度

	度数	構成比
浸水する可能性はなくなった	16	5.3
かなり減少した	73	24.3
まあまあ減少した	73	24.3
あまり減少していない	83	27.6
まったく減少していない	56	18.6
計	301	100.0
非該当	22	
無解答	14	
合計	337	



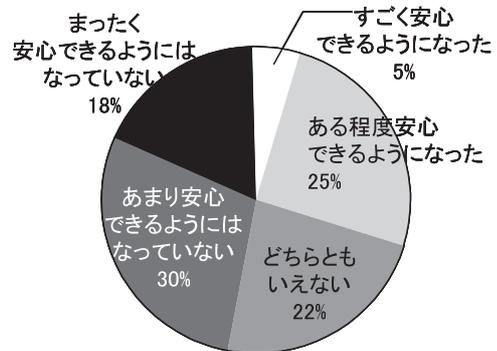
③ 自宅周辺地域における浸水の可能性の減少度

	度数	構成比
浸水する可能性はなくなった	26	8.6
かなり減少した	61	20.1
まあまあ減少した	77	25.4
あまり減少していない	80	26.4
まったく減少していない	59	19.5
計	303	100.0
非該当	22	
無解答	12	
合計	337	

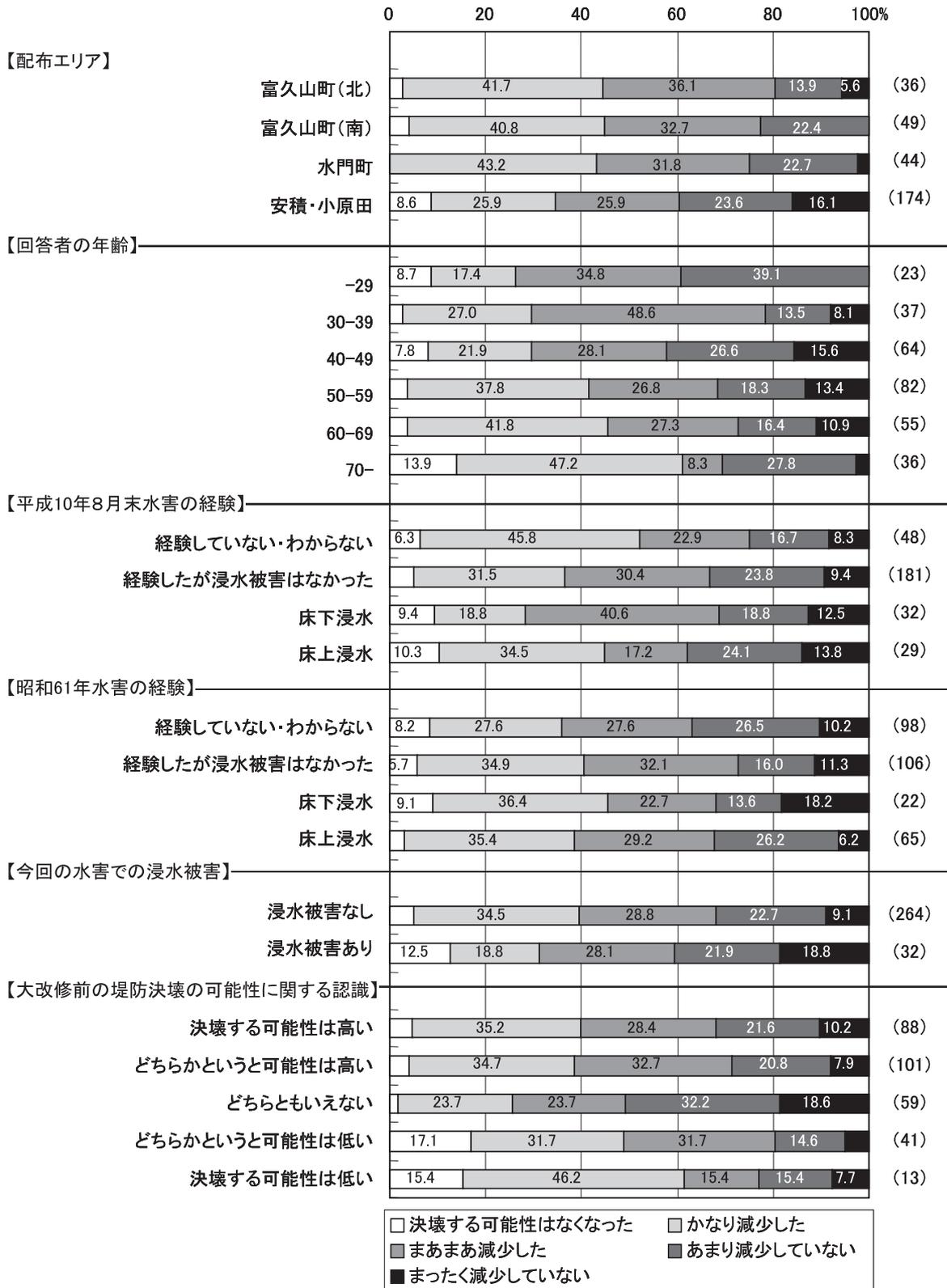


④ 自宅周辺地域の水害に対する安心－不安意識の変化

	度数	構成比
すごく安心できるようになった	16	5.2
ある程度安心できるようになった	76	24.9
どちらともいえない	68	22.3
あまり安心できるようにはなっていない	89	29.2
まったく安心できるようにはなっていない	56	18.4
計	305	100.0
非該当	22	
無解答	10	
合計	337	

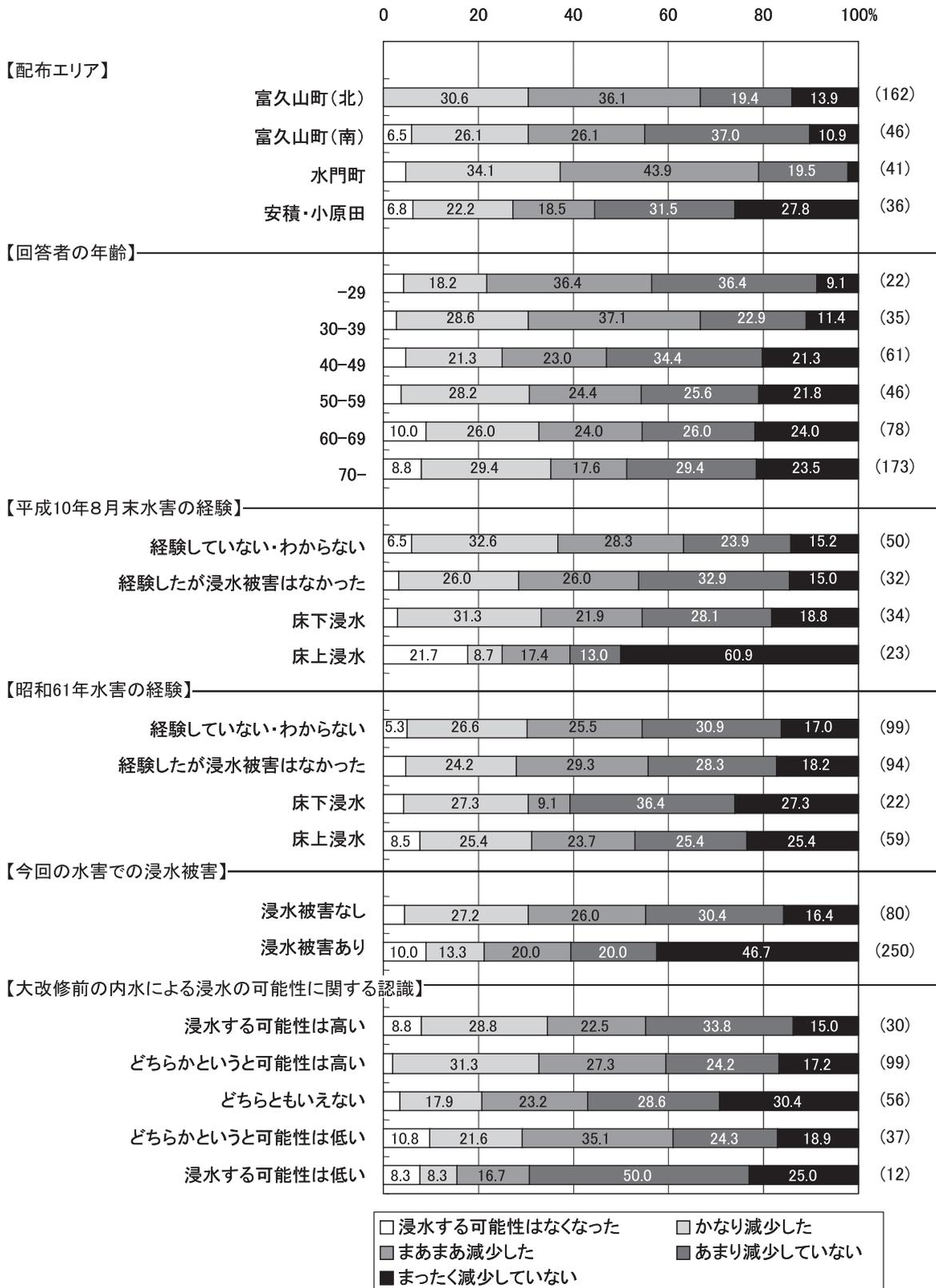


① 基本属性別にみた、大改修後における堤防決壊の可能性の減少度に関する認識

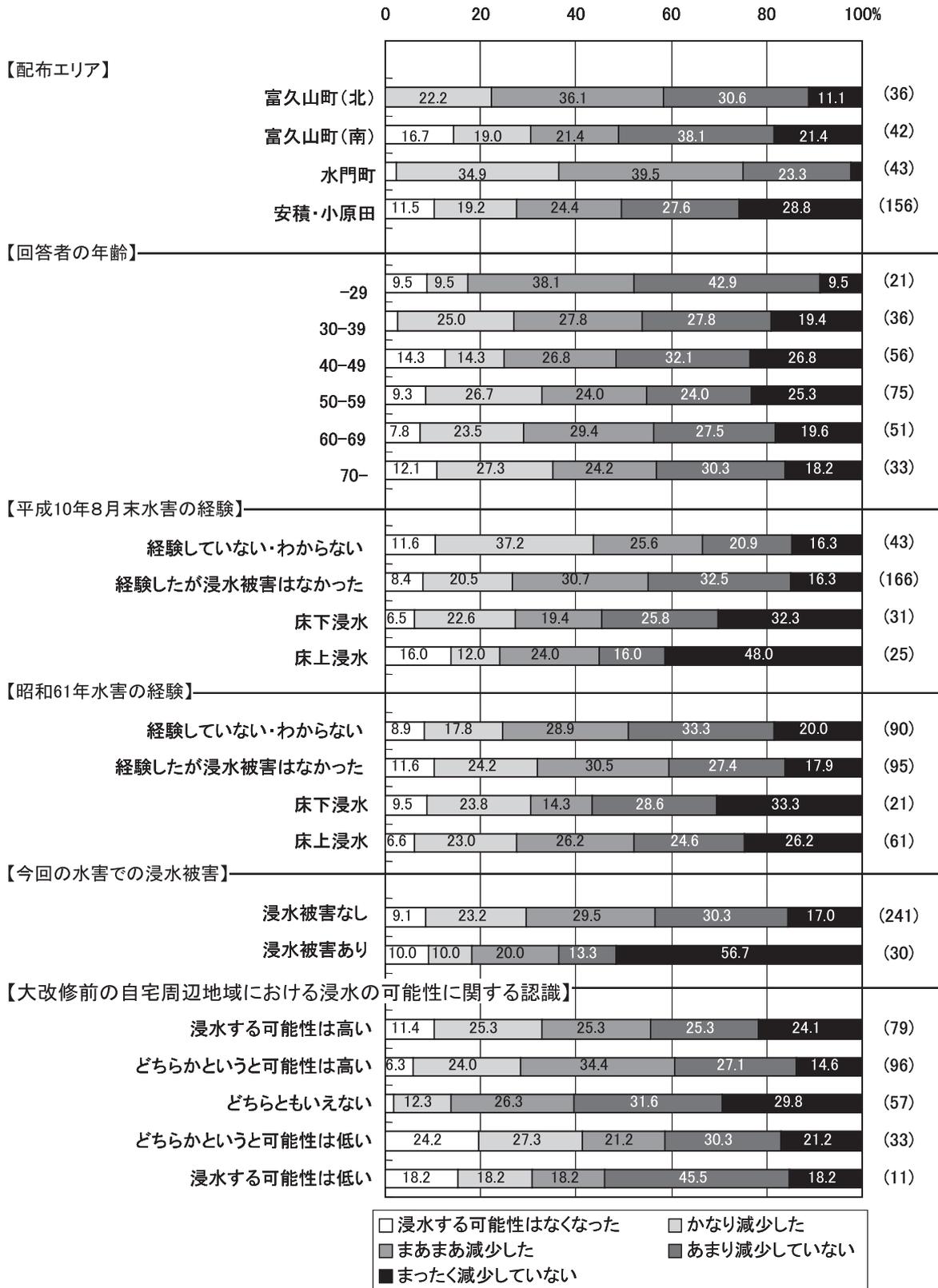


2002年7月郡山市における水害のアンケート調査報告書

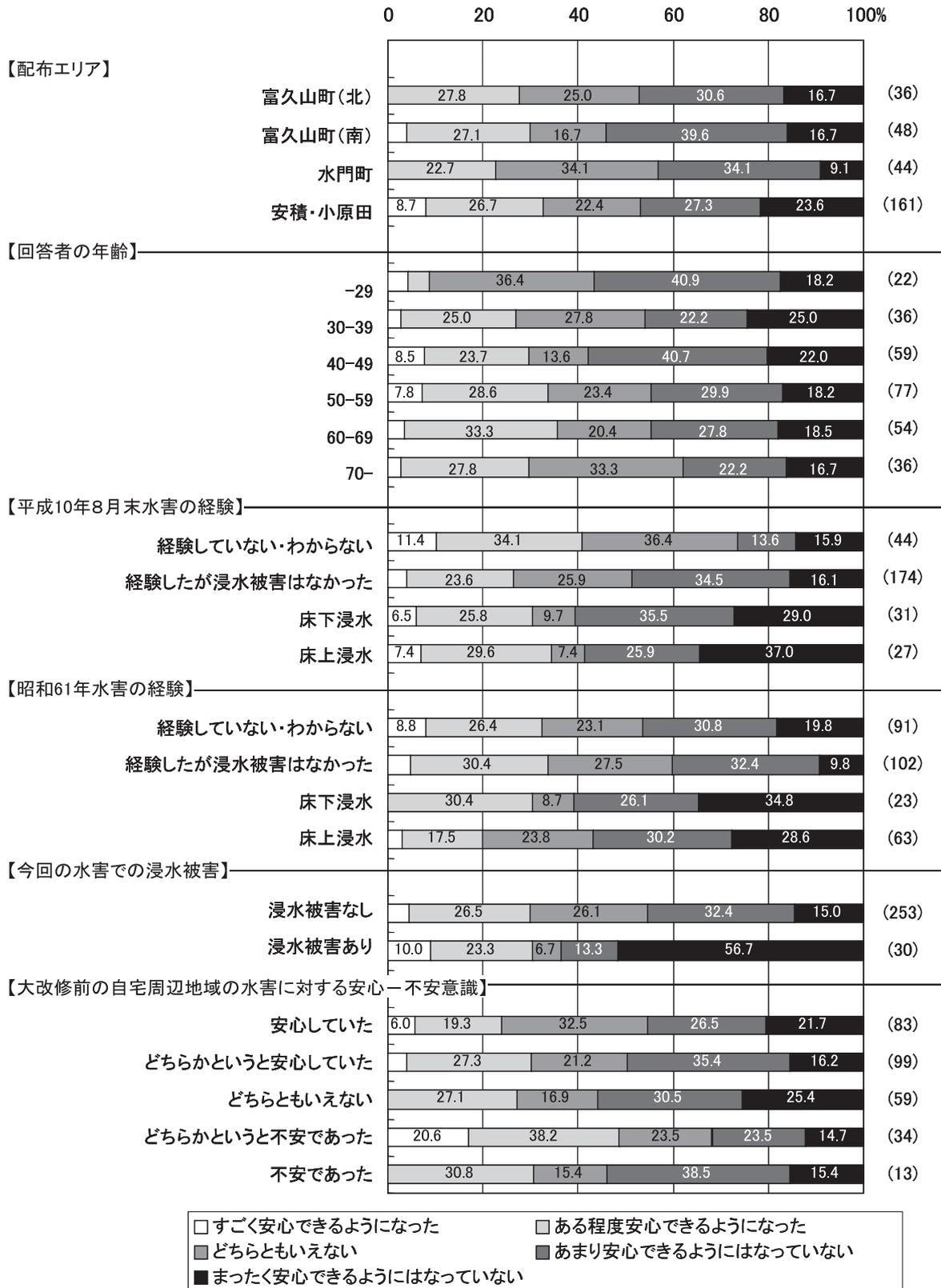
基本属性別にみた、大改修後の内水による浸水の可能性の減少度に関する認識



③基本属性別にみた、大改修後の自宅周辺地域における浸水の可能性の減少度に関する認識



④ 基本属性別にみた、大改修後の自宅周辺地域の水害に対する安心-不安意識の変化

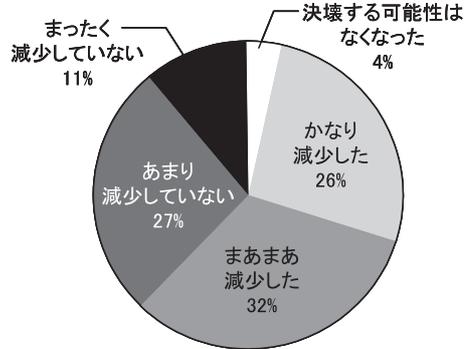


(3) 今回の水害後における水害発生に関する住民意識

では、現在では、「阿武隈川 平成の大改修」によって、水害の危険性はどのようになったとお考えですか。次の各項目についてお答え下さい。

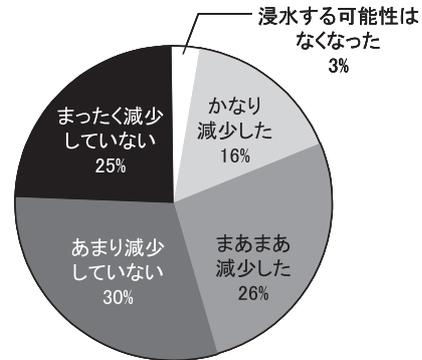
① 堤防決壊の可能性の減少度

	度数	構成比
決壊する可能性はなくなった	11	3.6
かなり減少した	80	26.3
まあまあ減少した	97	31.9
あまり減少していない	83	27.3
まったく減少していない	33	10.9
計	304	100.0
非該当	22	
無回答	11	
合計	337	



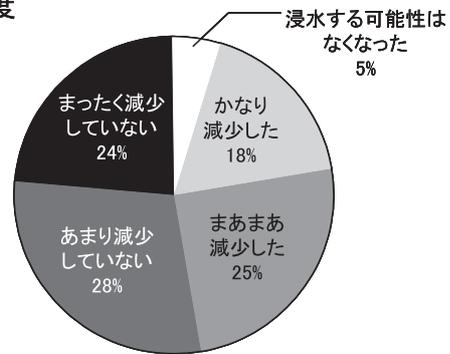
② 内水による浸水の可能性の減少度

	度数	構成比
浸水する可能性はなくなった	9	3.0
かなり減少した	49	16.3
まあまあ減少した	79	26.2
あまり減少していない	90	29.9
まったく減少していない	74	24.6
計	301	100.0
非該当	22	
無回答	14	
合計	337	



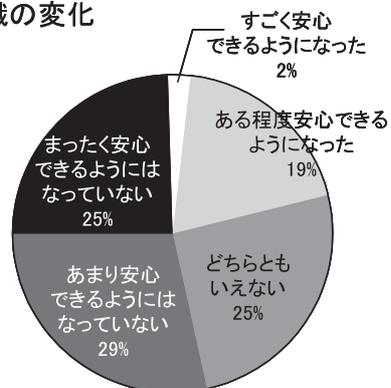
③ 自宅周辺地域における浸水の可能性の減少度

	度数	構成比
浸水する可能性はなくなった	15	4.9
かなり減少した	54	17.7
まあまあ減少した	75	24.6
あまり減少していない	88	28.9
まったく減少していない	73	23.9
計	305	100.0
非該当	22	
無回答	10	
合計	337	

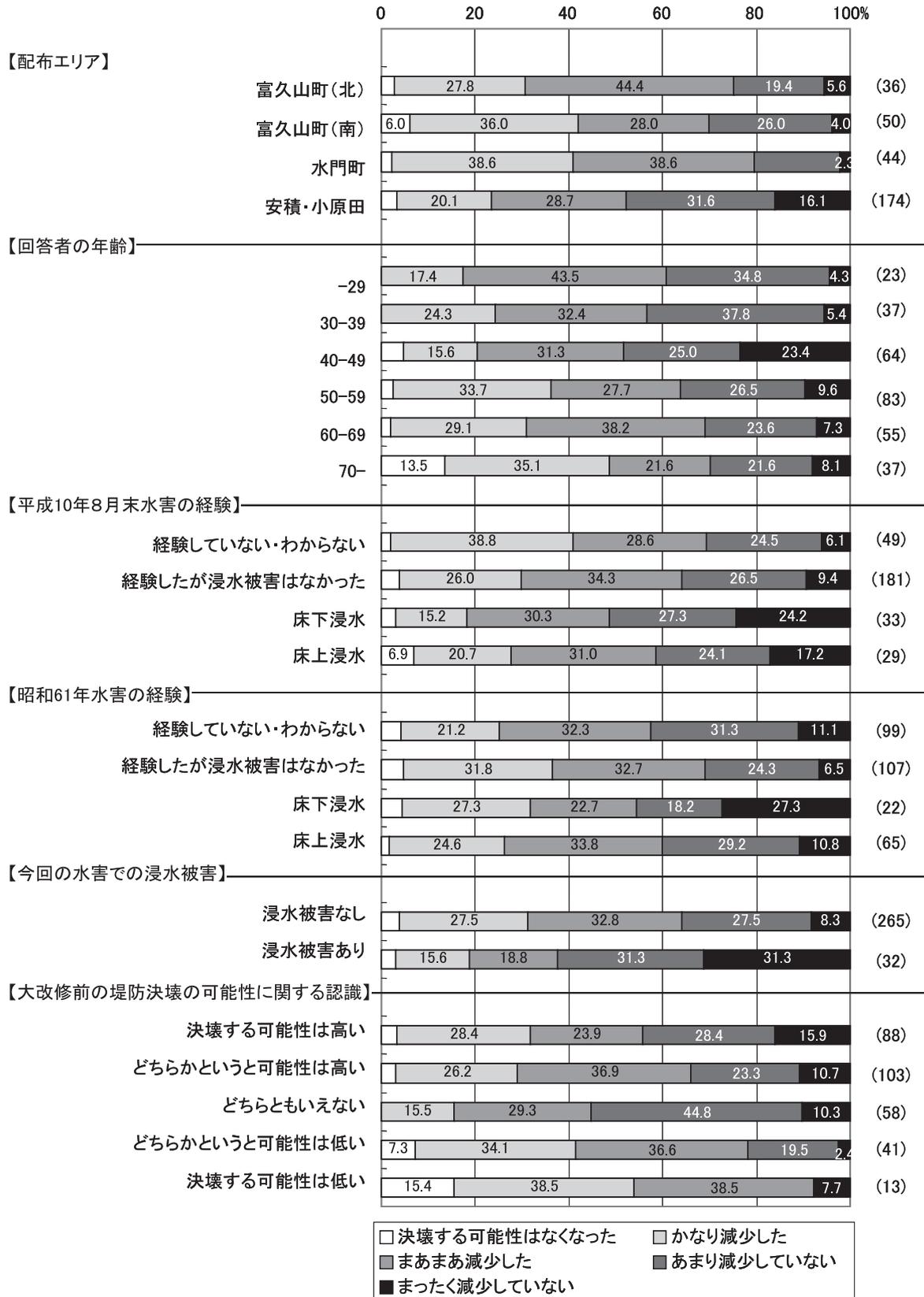


④ 自宅周辺地域の水害に対する安心－不安意識の変化

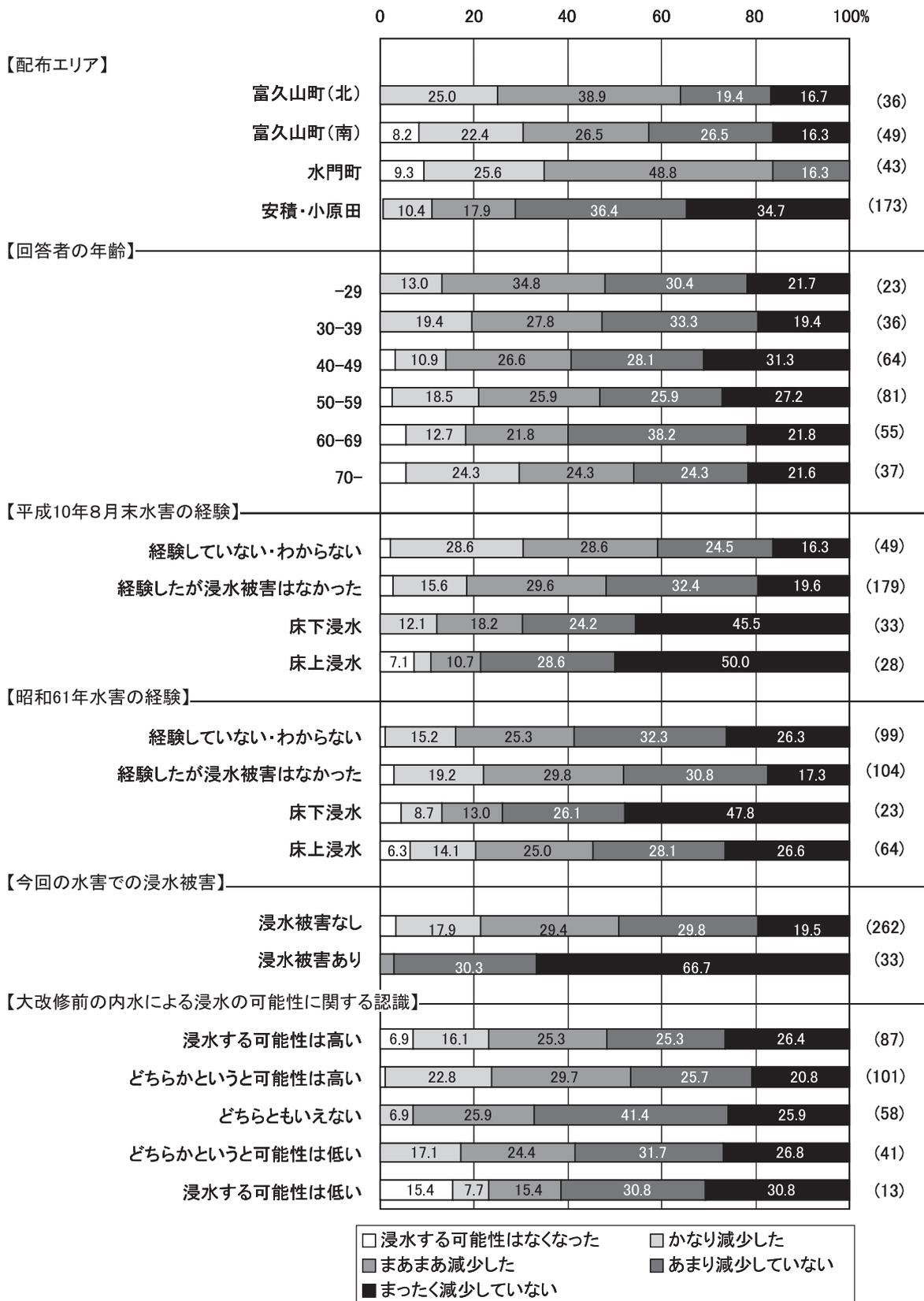
	度数	構成比
すごく安心できるようになった	7	2.3
ある程度安心できるようになった	58	19.4
どちらともいえない	75	24.7
あまり安心できるようにはなっていない	86	28.3
まったく安心できるようにはなっていない	77	25.3
計	304	100.0
非該当	22	
無回答	11	
合計	337	



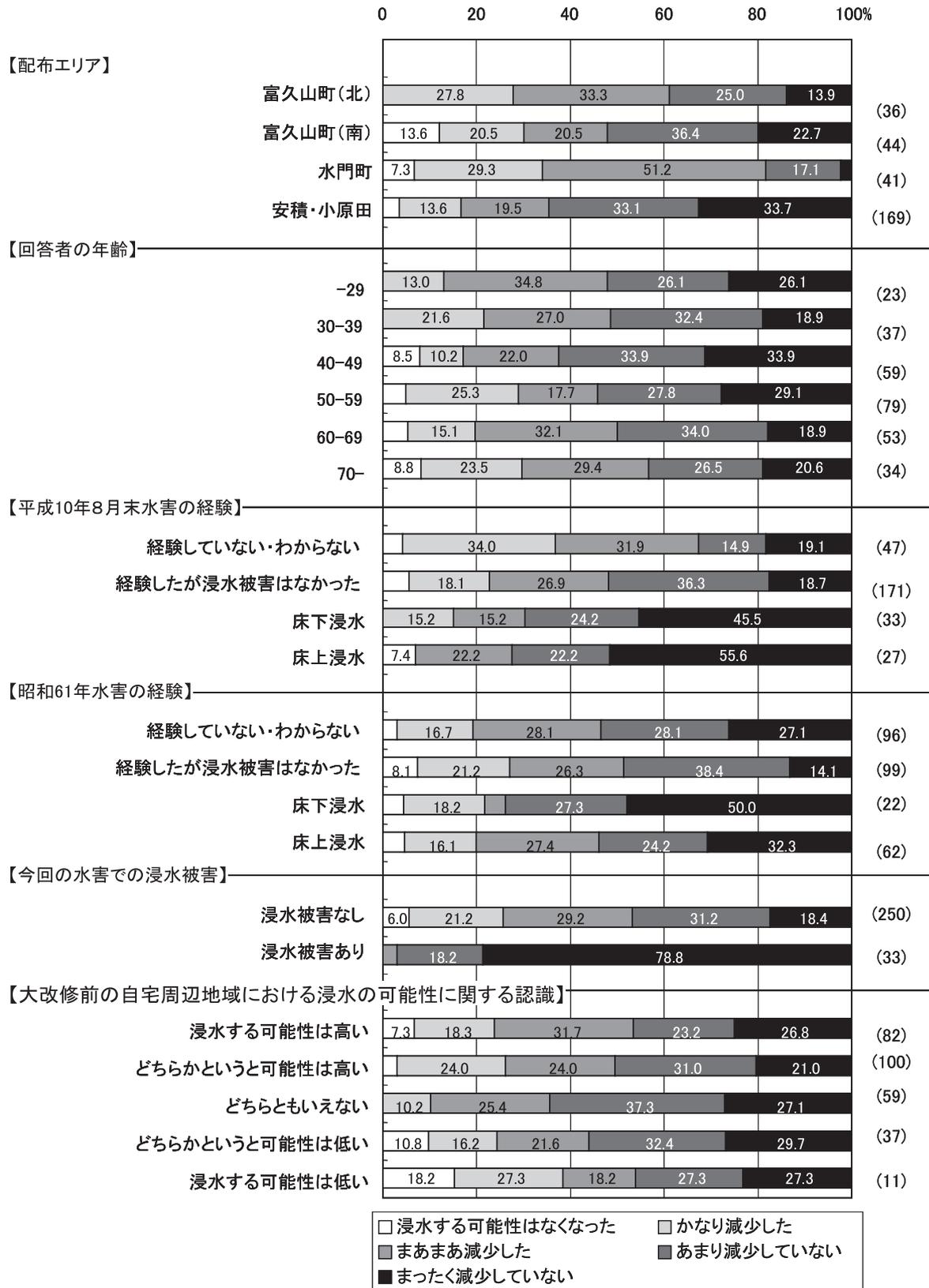
①基本属性別にみた、水害後における堤防決壊の可能性の減少度に関する認識



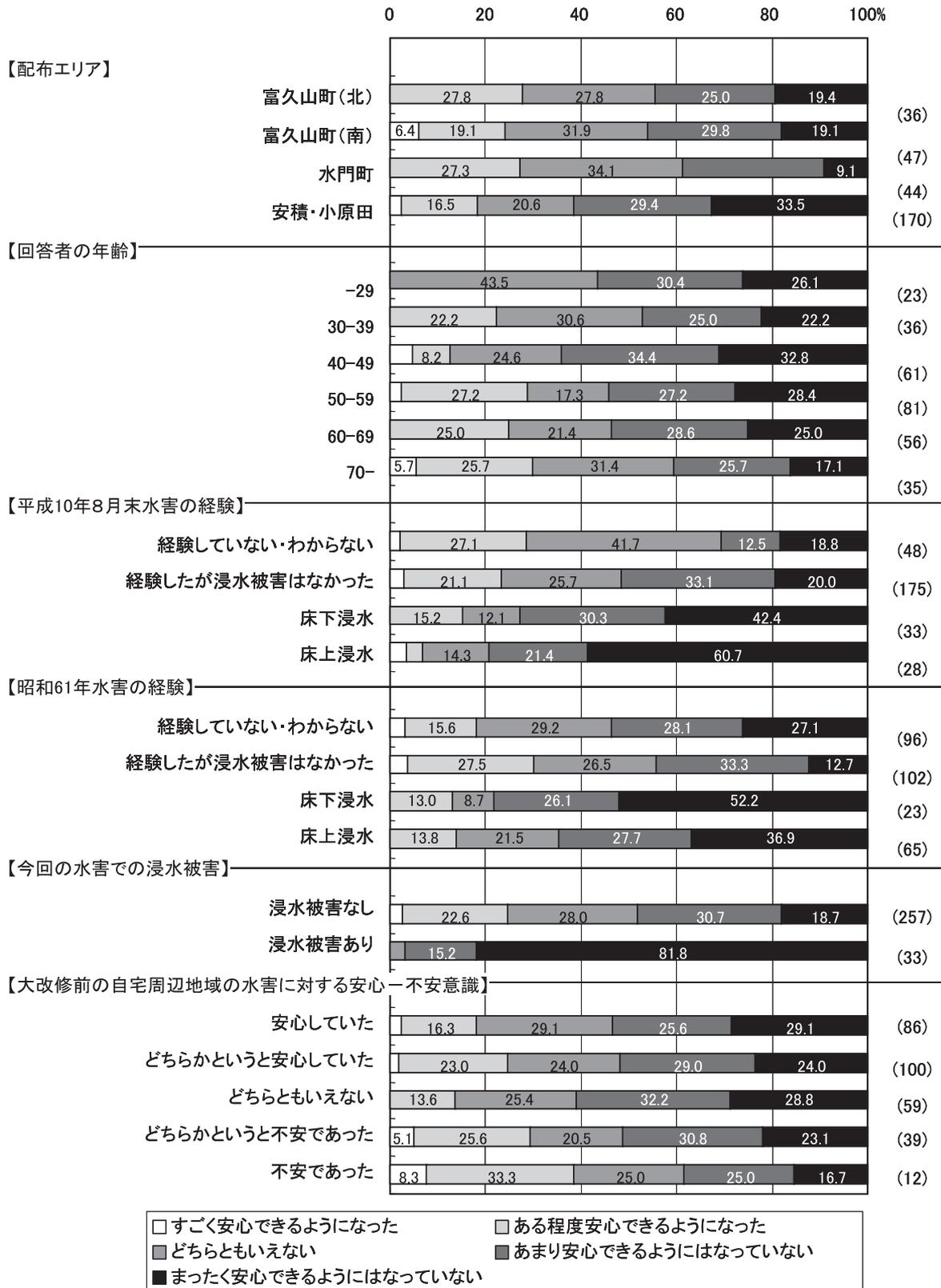
② 基本属性別にみた、水害後の内水による浸水の可能性の減少度に関する認識



③基本属性別にみた、水害後の自宅周辺地域における浸水の可能性の減少度に関する認識



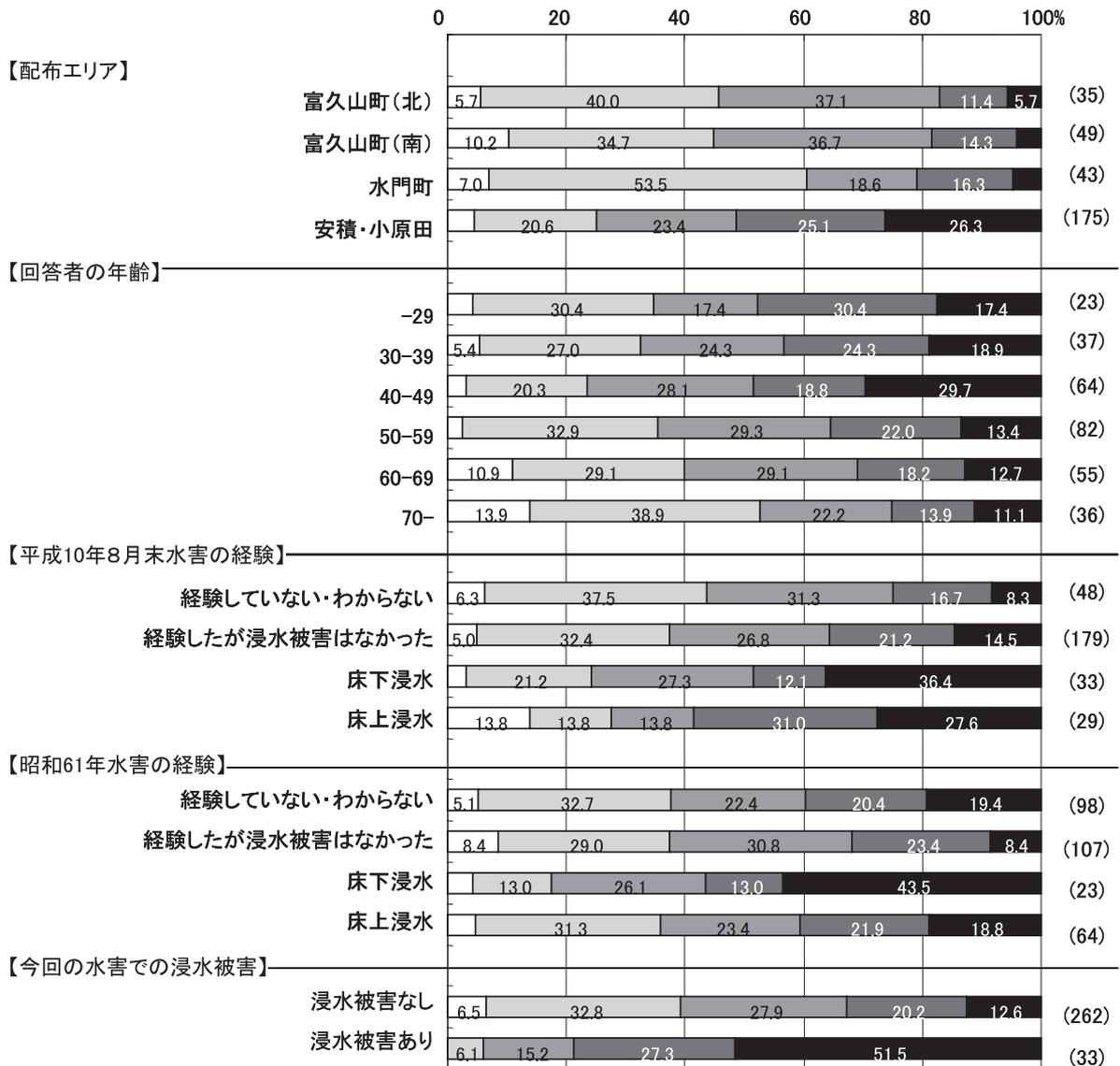
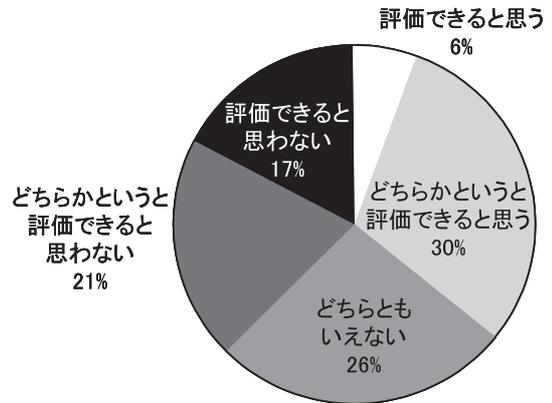
④ 基本属性別にみた、水害後の自宅周辺地域の水害に対する安心-不安意識の変化



問 11：「阿武隈川 平成の大改修」に対する総合評価

「阿武隈川 平成の大改修」は、総合的にみて評価できると思いますか。

	度数	構成比
評価できると思う	18	6.0
どちらかという人评价できると思う	90	29.8
どちらともいえない	80	26.5
どちらかという人评价できると思わない	62	20.5
評価できると思わない	52	17.2
計	302	100.0
非該当	22	
無回答	13	
合計	337	



□ 評価できると思う □ どちらかという人评价できると思う ■ どちらともいえない ■ どちらかという人评价できると思わない ■ 評価できると思わない

問12：今回の水害以前における郡山市の河川行政の取り組みに対する評価

(1)ハード対策(堤防などのような水害防止のための施設整備)の評価

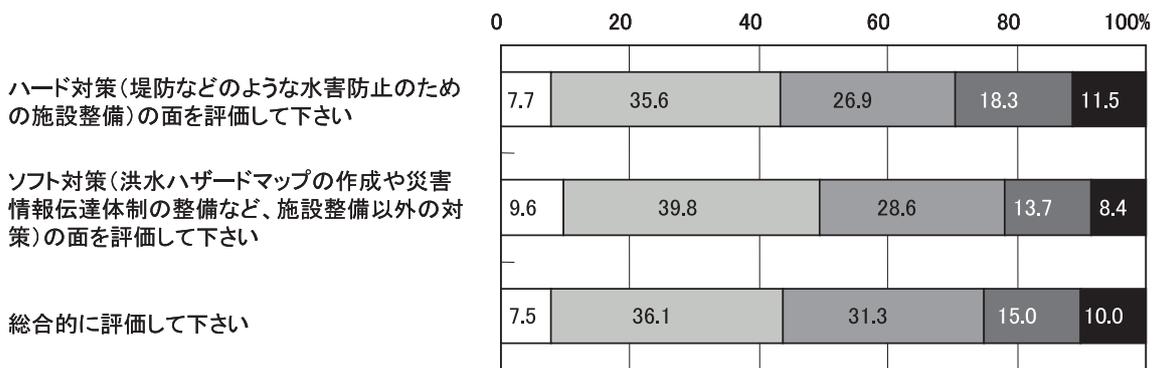
	度数	構成比
よく取り組んでいると思う	25	7.7
どちらかというよく取り組んでいると思う	115	35.6
どちらともいえない	87	26.9
どちらかというよく取り組んでいるとは思わない	59	18.3
よく取り組んでいるとは思わない	37	11.5
計	323	100.0
無回答	14	
合計	337	

(2)ソフト対策(洪水ハザードマップの作成や災害情報伝達体制の整備など、施設整備以外の対策)の評価

	度数	構成比
よく取り組んでいると思う	31	9.6
どちらかというよく取り組んでいると思う	128	39.8
どちらともいえない	92	28.6
どちらかというよく取り組んでいるとは思わない	44	13.7
よく取り組んでいるとは思わない	27	8.4
計	322	100.0
無回答	15	
合計	337	

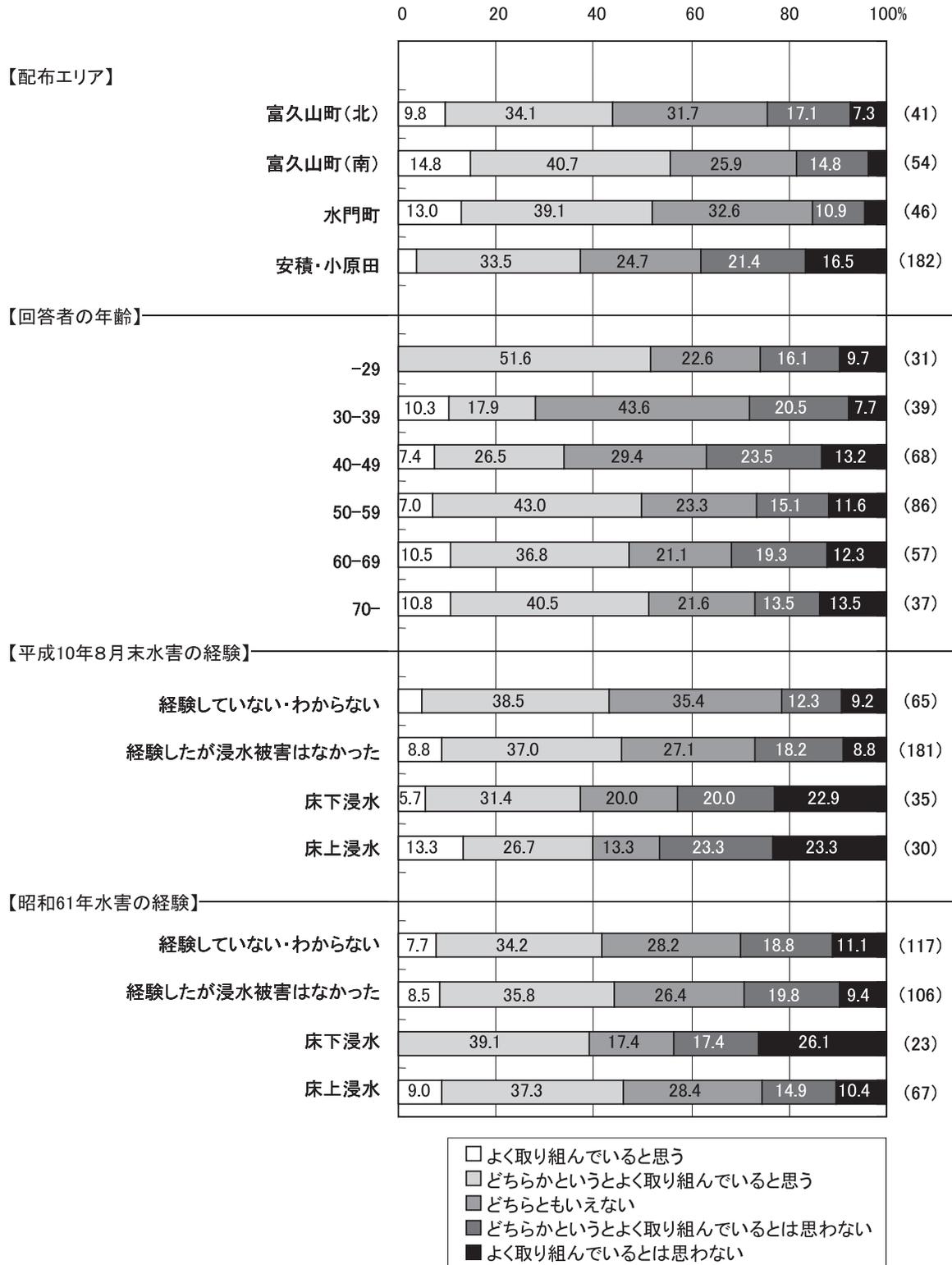
(3)総合的評価

	度数	構成比
よく取り組んでいると思う	24	7.5
どちらかというよく取り組んでいると思う	115	36.1
どちらともいえない	100	31.3
どちらかというよく取り組んでいるとは思わない	48	15.0
よく取り組んでいるとは思わない	32	10.0
計	319	100.0
無回答	18	
合計	337	

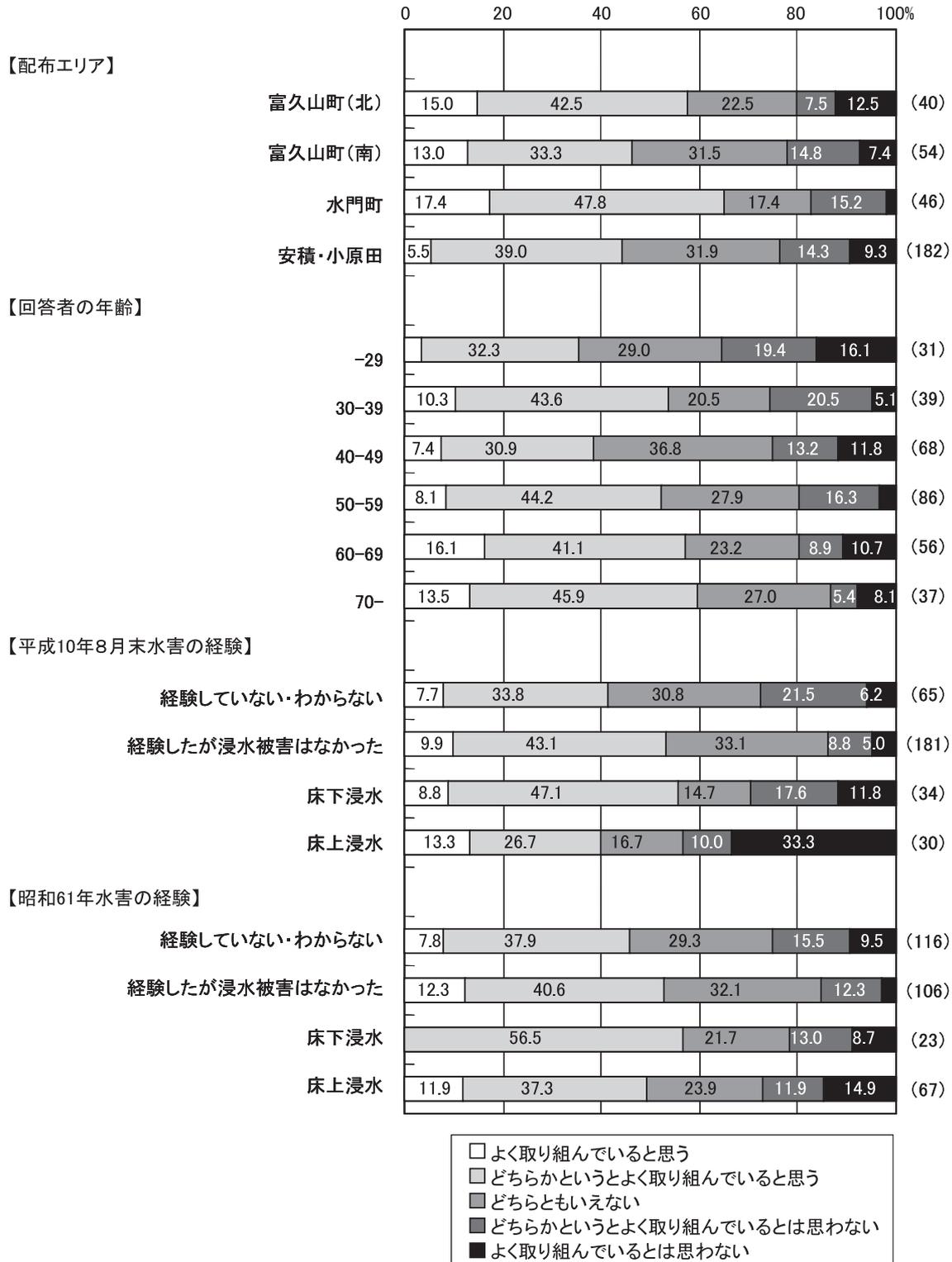


- よく取り組んでいると思う
- どちらかというよく取り組んでいると思う
- どちらともいえない
- どちらかというよく取り組んでいるとは思わない
- よく取り組んでいるとは思わない

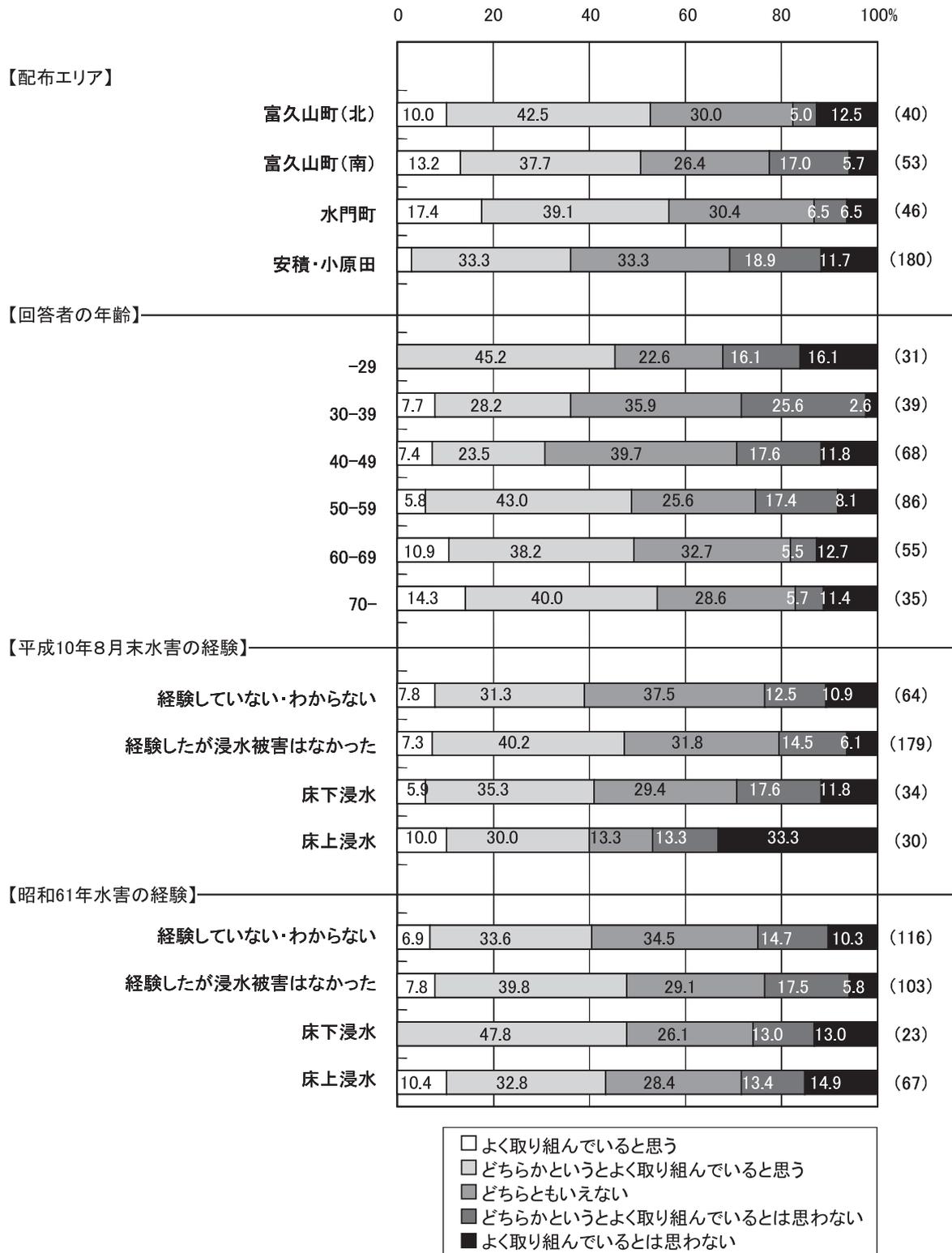
(1) 基本属性別にみた、ハード対策（堤防などのような水害防止のための施設整備）の評価



(2) 基本属性別にみた、ソフト対策（洪水ハザードマップの作成や災害情報伝達体制の整備など施設整備以外の対策）の評価



(3) 基本属性別にみた総合的評価



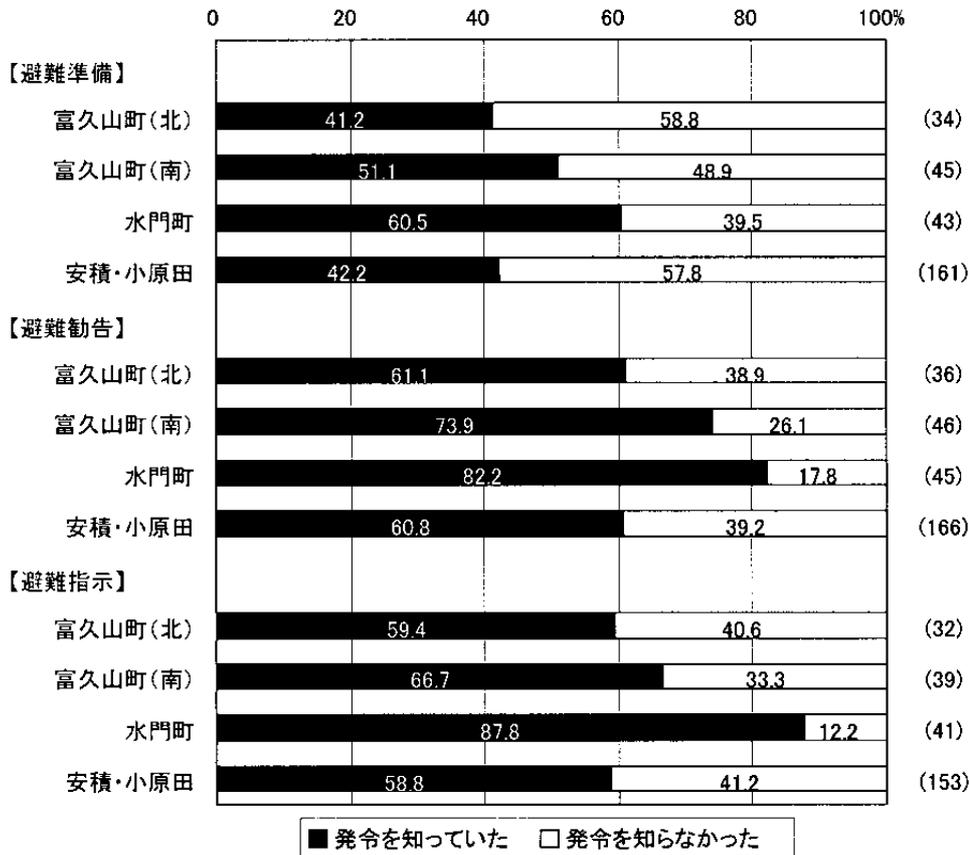
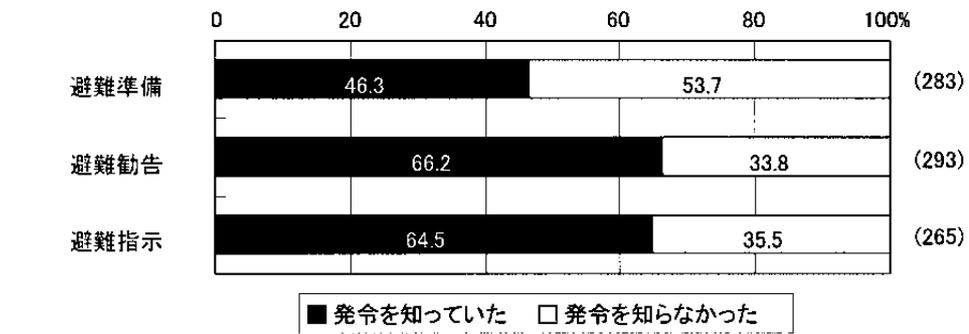
4. 水害時における住民の情報取得、危機意識、対応行動の実態

問13：避難情報の取得（避難準備・避難勧告・避難指示）

今回の水害では、11日早朝に「避難準備」、「避難勧告」、「避難指示」が発令されました。あなたはこれらの避難情報の発令を知っていましたか。知っていた場合には、初めて知った時刻とそのときの手段についてもお答え下さい。

■避難情報の取得実態

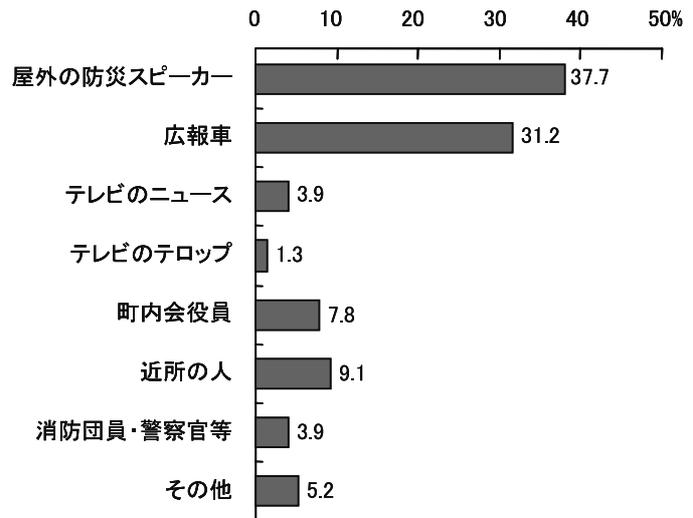
		発令を知っていた	発令を知らなかった	計	無回答	合計
避難準備	度数	131	152	283	54	337
	構成比(%)	46.3	53.7	100.0		
避難勧告	度数	194	99	293	44	337
	構成比(%)	66.2	33.8	100.0		
避難指示	度数	171	94	265	72	337
	構成比(%)	64.5	35.5	100.0		



■避難情報のはじめの取得手段

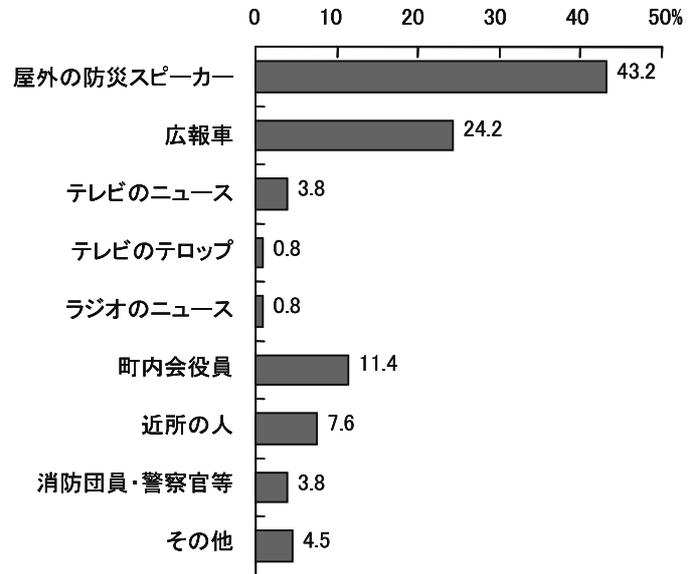
【避難準備】

	度数	構成比(%)
屋外の防災スピーカー	29	37.7
広報車	24	31.2
テレビのニュース	3	3.9
テレビのテロップ	1	1.3
町内会役員	6	7.8
近所の人	7	9.1
消防団員・警察官等	3	3.9
その他	4	5.2
計	77	100.0
非該当	152	
無回答	108	
合計	337	



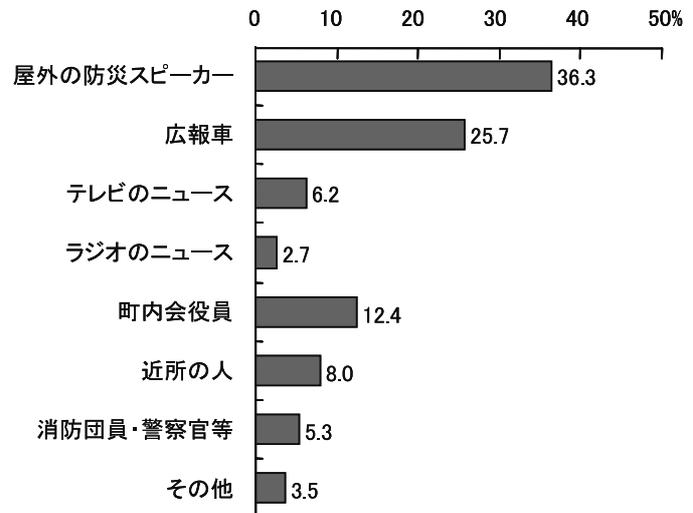
【避難勧告】

	度数	構成比(%)
屋外の防災スピーカー	57	43.2
広報車	32	24.2
テレビのニュース	5	3.8
テレビのテロップ	1	0.8
ラジオのニュース	1	0.8
町内会役員	15	11.4
近所の人	10	7.6
消防団員・警察官等	5	3.8
その他	6	4.5
計	132	100.0
非該当	99	
無回答	106	
合計	337	

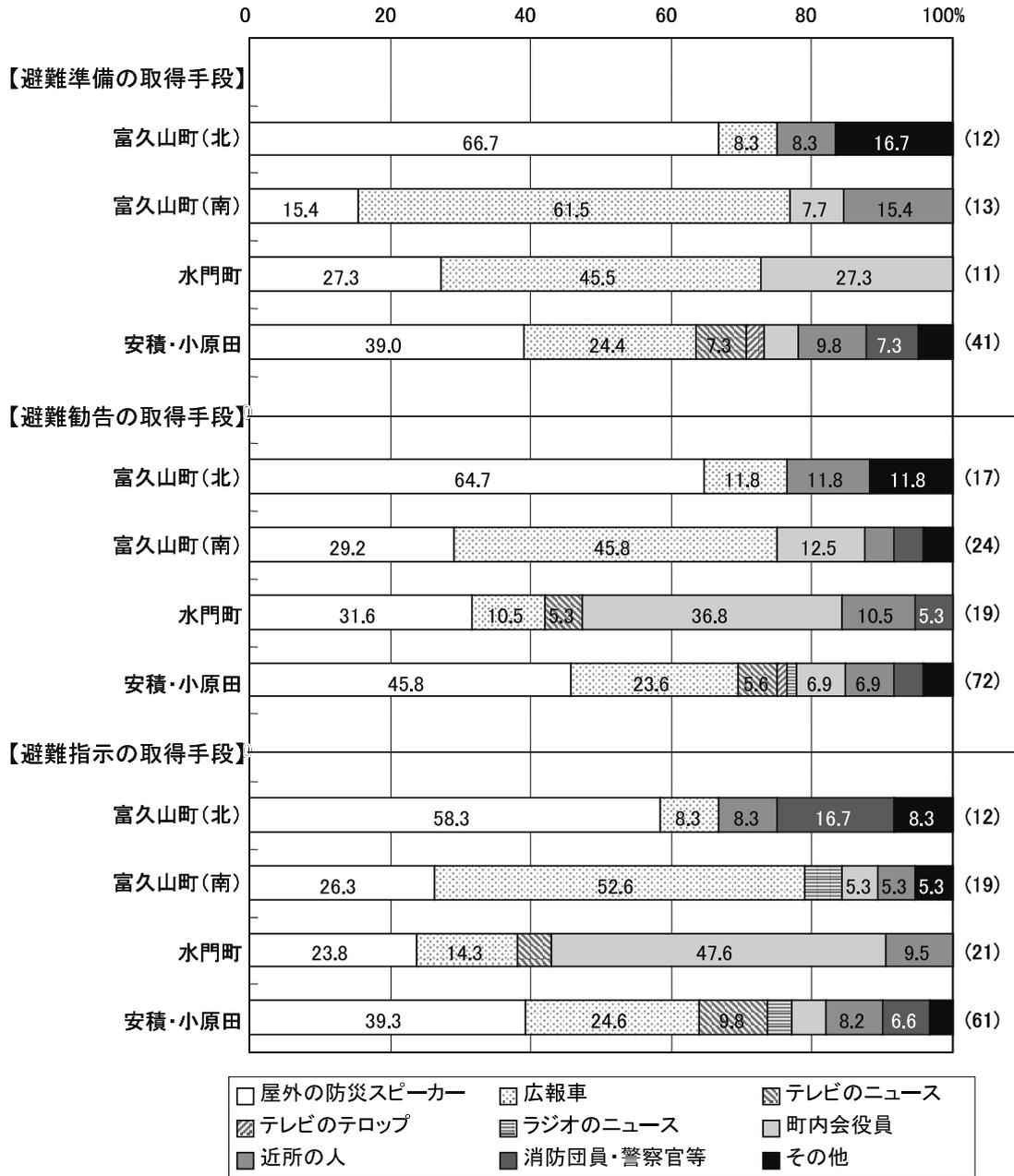


【避難指示】

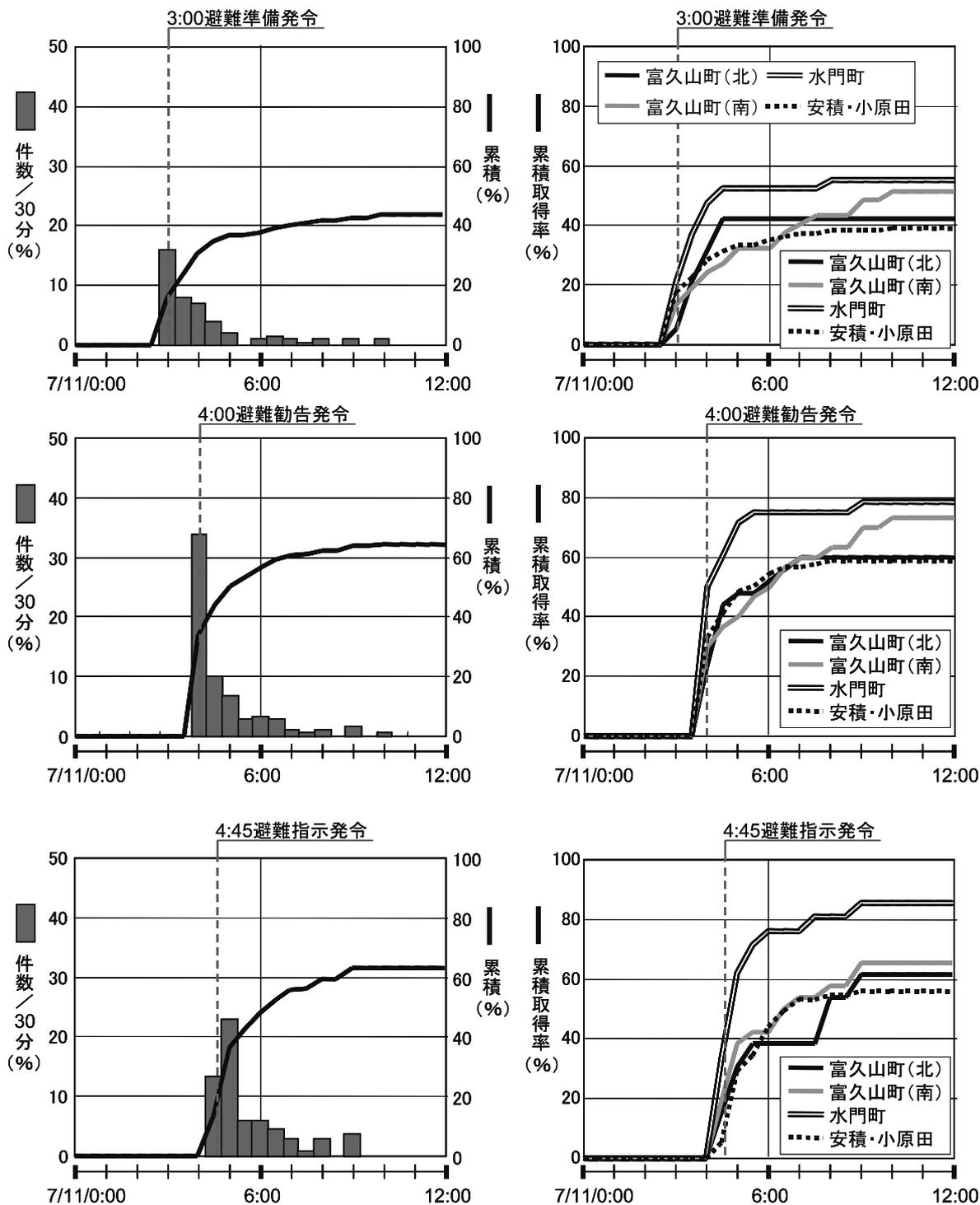
	度数	構成比(%)
屋外の防災スピーカー	41	36.3
広報車	29	25.7
テレビのニュース	7	6.2
ラジオのニュース	3	2.7
町内会役員	14	12.4
近所の人	9	8.0
消防団員・警察官等	6	5.3
その他	4	3.5
計	113	100.0
非該当	94	
システム欠損値	130	
合計	337	



■配布エリア別にみた避難情報の取得手段



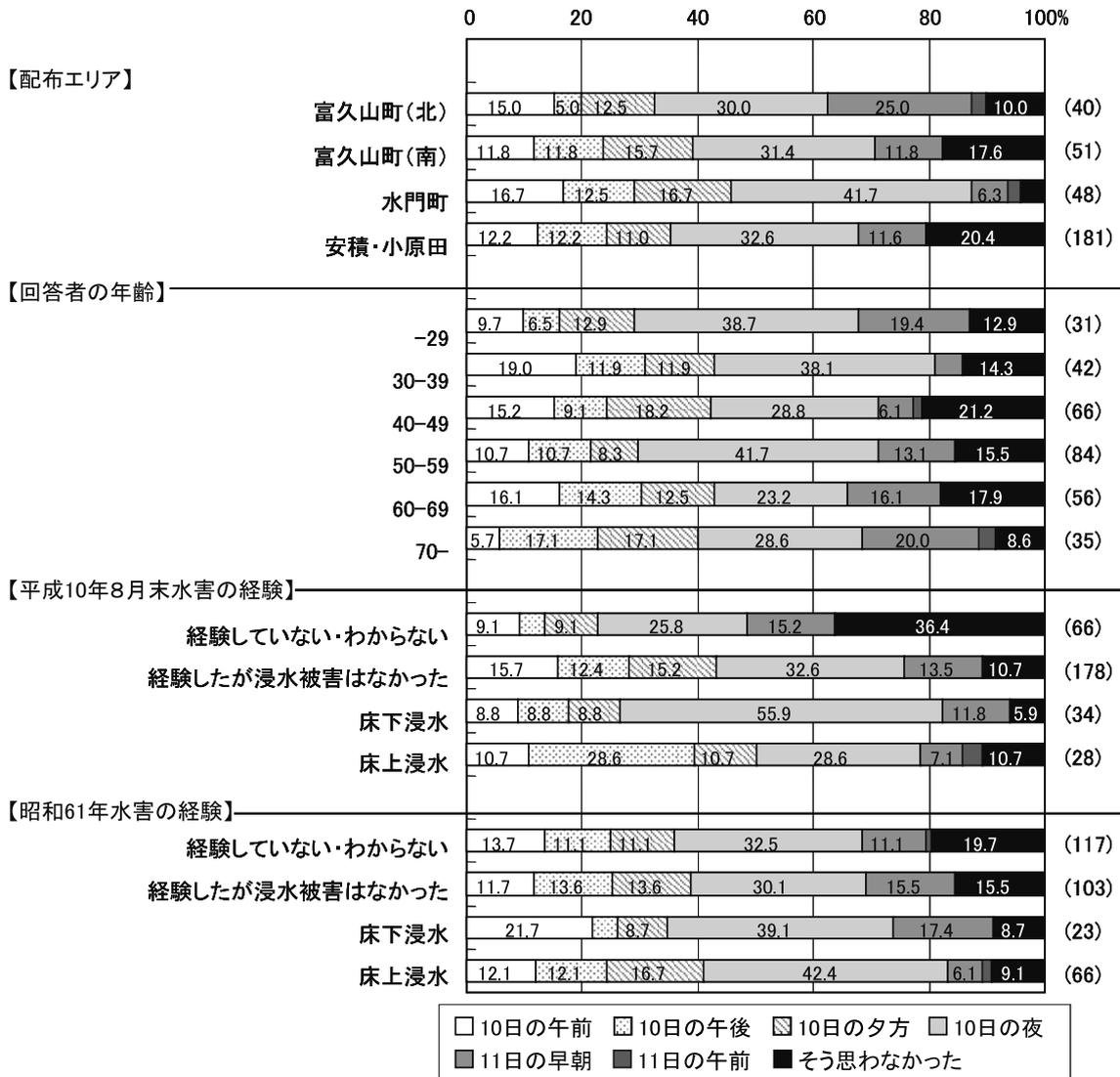
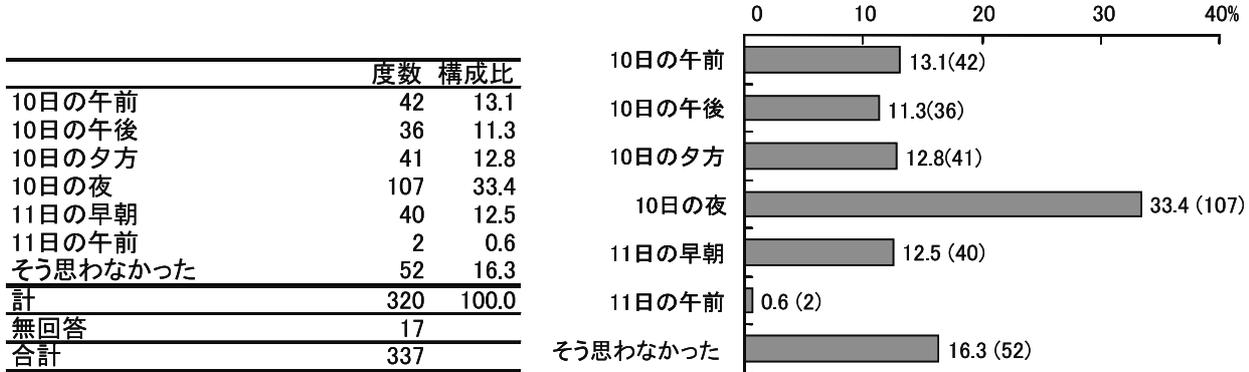
■時系列にみた避難情報の取得



問14：状況把握・情報取得・危機意識の実態

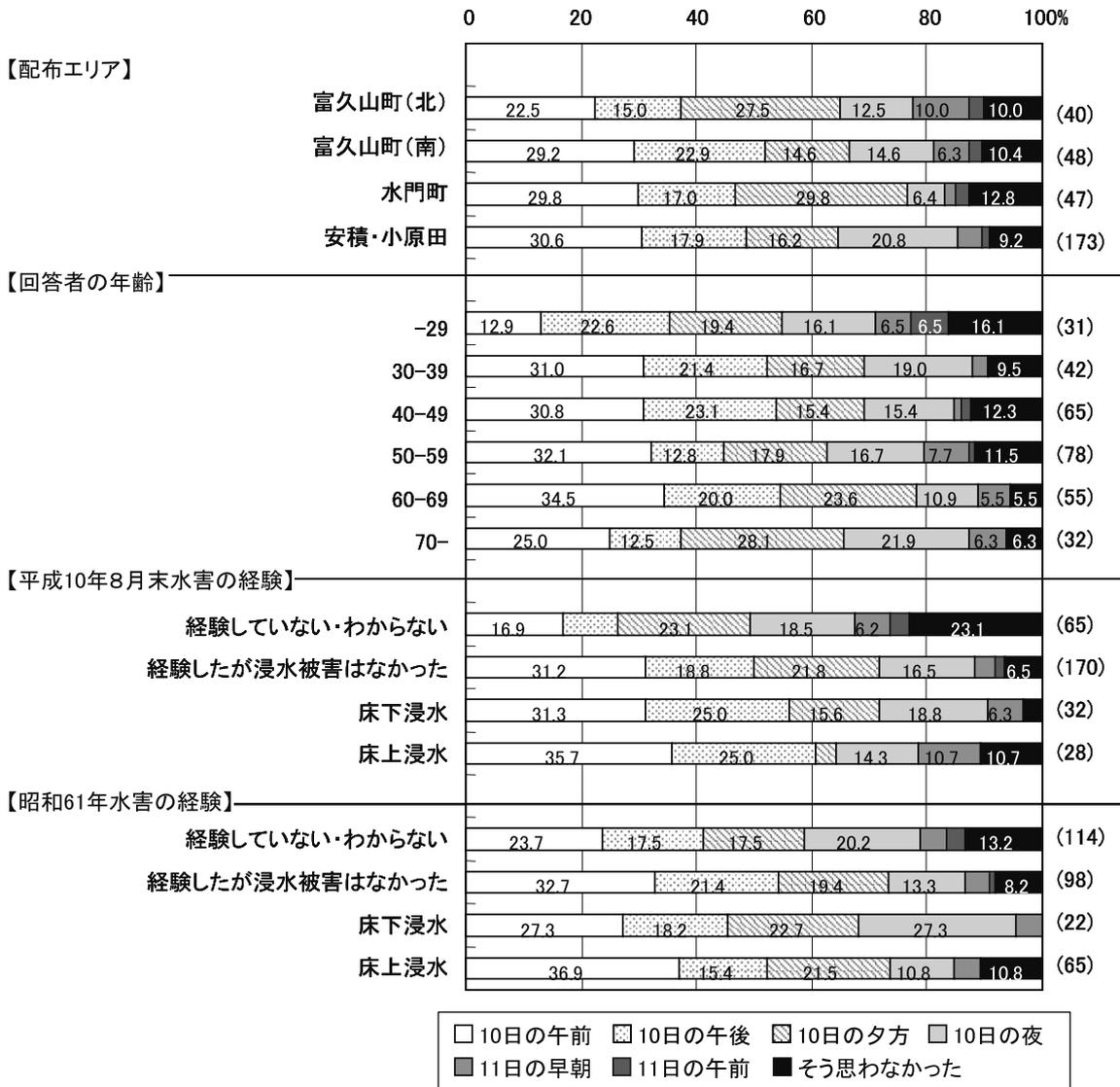
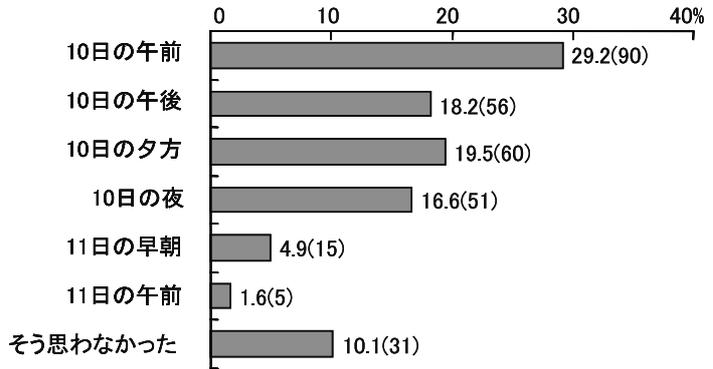
郡山市では11日の朝にかけて、阿武隈川の水位が非常に危険な状態まで上昇しました。このような状況のなかでの、あなたの気持ち（危機感など）の変化についてお聞きします。ご記憶の範囲内でできるだけお答え下さい。

(1) 郡山市に台風の影響がおよぶ



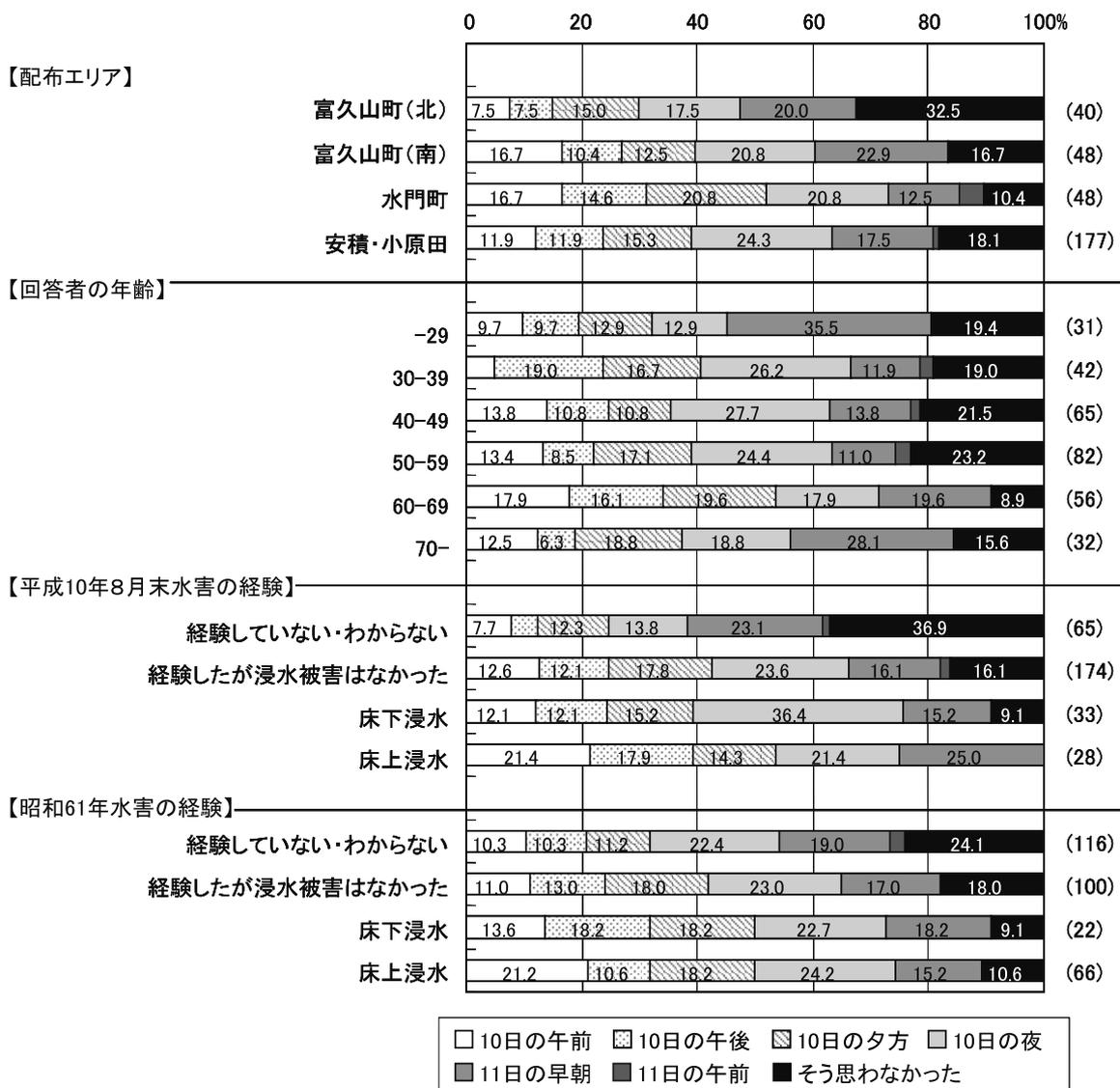
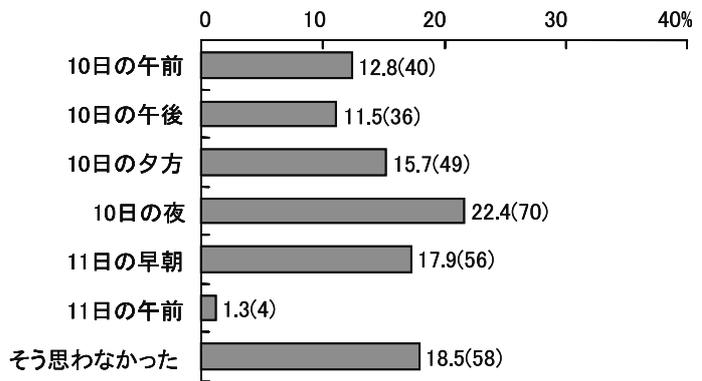
(2) 西日本での洪水被害を知る

	度数	構成比
10日の午前	90	29.2
10日の午後	56	18.2
10日の夕方	60	19.5
10日の夜	51	16.6
11日の早朝	15	4.9
11日の午前	5	1.6
知らなかった	31	10.1
計	308	100.0
無回答	29	
合計	337	



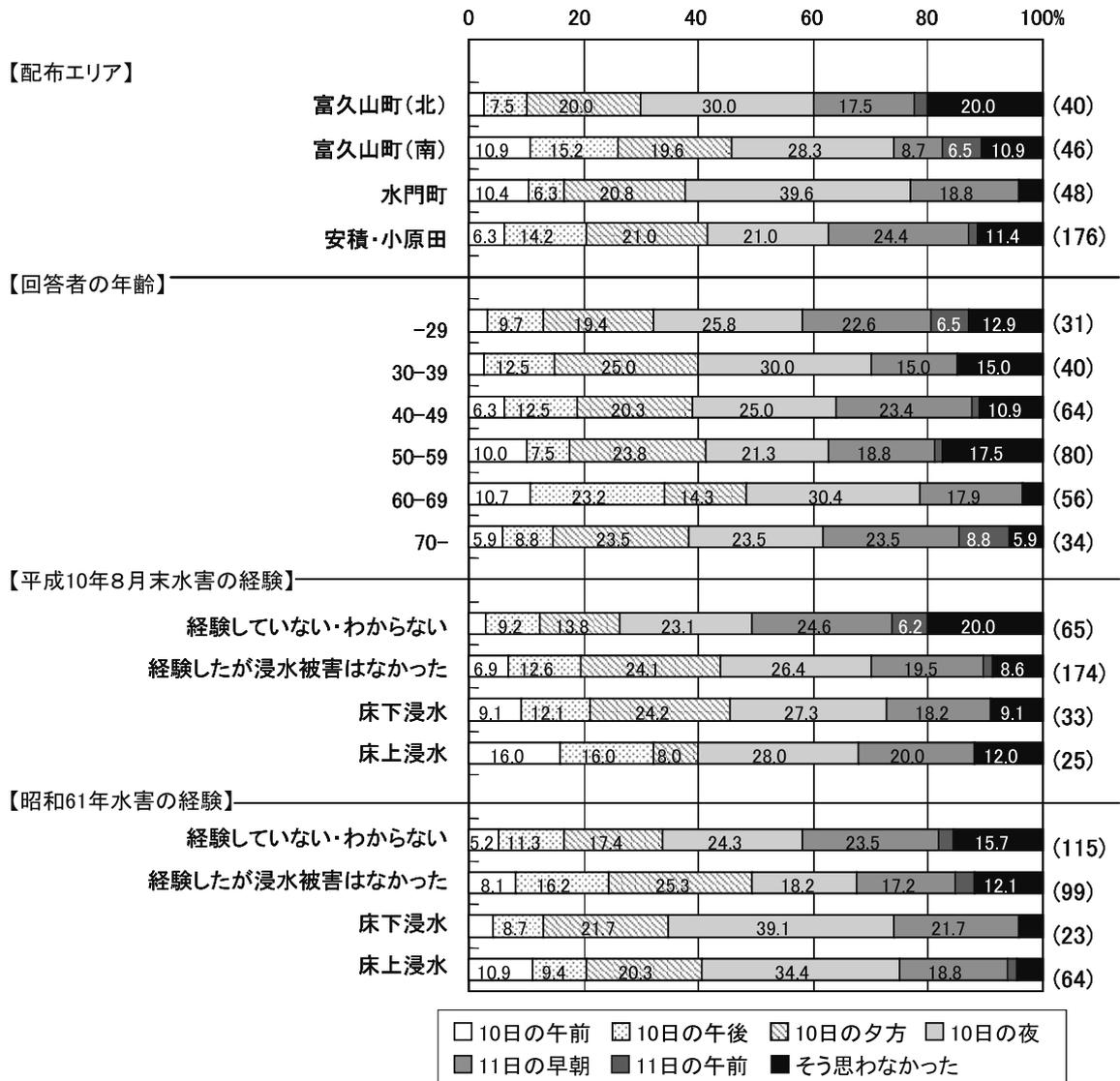
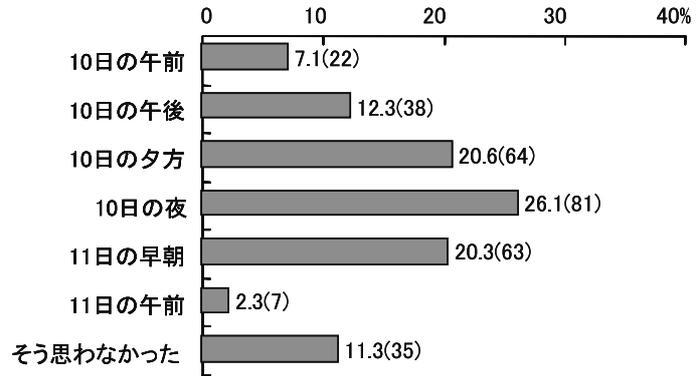
(3) 台風・災害情報を積極的に収集する

	度数	構成比
10日の午前	40	12.8
10日の午後	36	11.5
10日の夕方	49	15.7
10日の夜	70	22.4
11日の早朝	56	17.9
11日の午前	4	1.3
そのような行動をとらなかった	58	18.5
計	313	100.0
無回答	24	
合計	337	



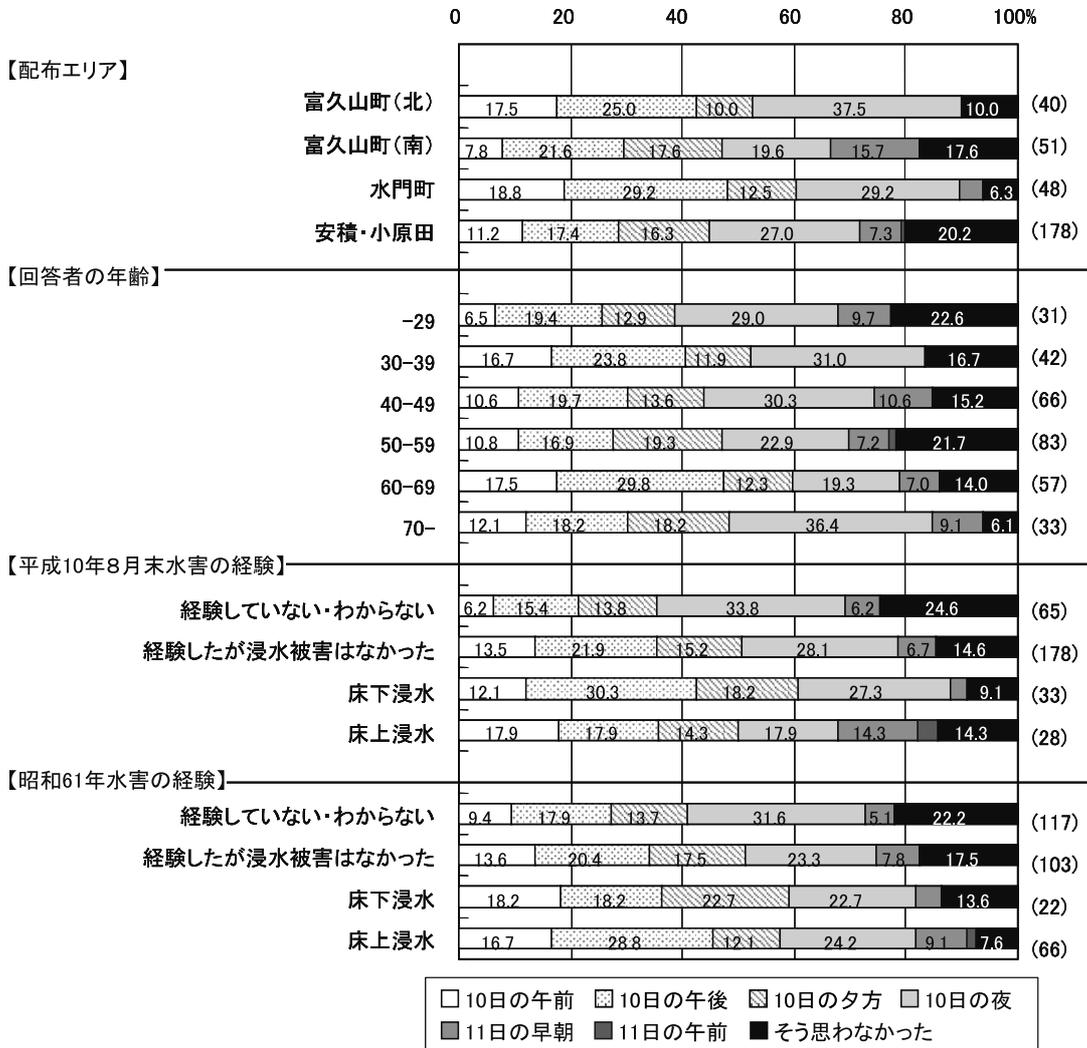
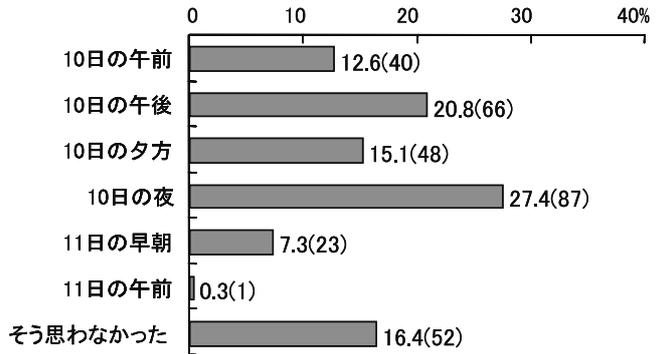
(4)大雨洪水警報の発表を知る

	度数	構成比
10日の午前	22	7.1
10日の午後	38	12.3
10日の夕方	64	20.6
10日の夜	81	26.1
11日の早朝	63	20.3
11日の午前	7	2.3
知らなかった	35	11.3
計	310	100.0
無回答	27	
合計	337	



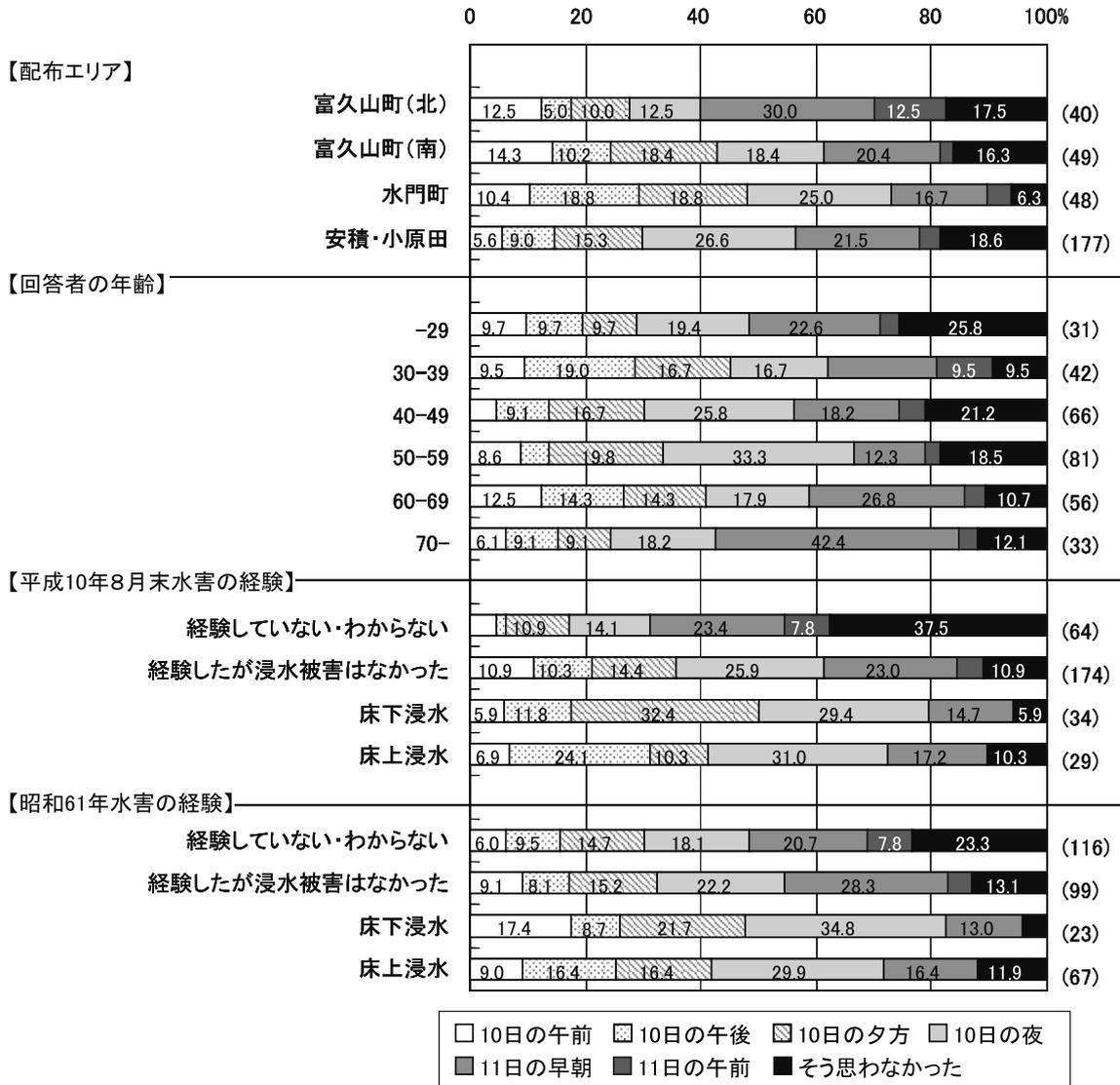
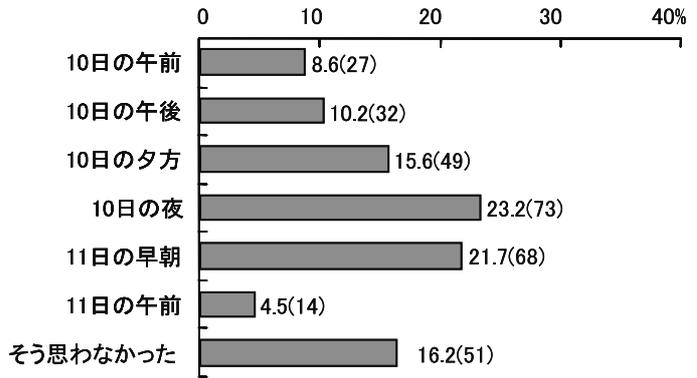
(5) 雨の降り方が異常だと思いはめる

	度数	構成比
10日の午前	40	12.6
10日の午後	66	20.8
10日の夕方	48	15.1
10日の夜	87	27.4
11日の早朝	23	7.3
11日の午前	1	0.3
そう思わなかった	52	16.4
計	317	100.0
無回答	20	
合計	337	

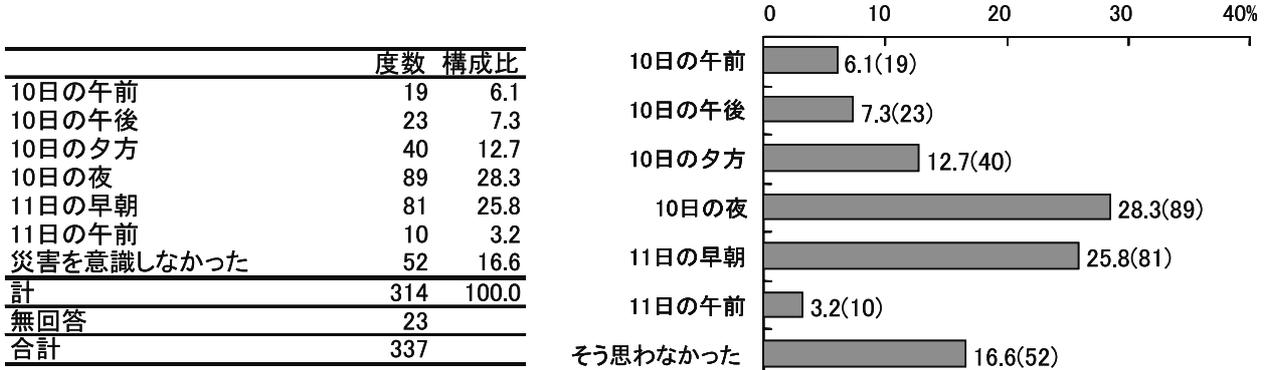


(6) 阿武隈川の水位に注目し始める

	度数	構成比
10日の午前	27	8.6
10日の午後	32	10.2
10日の夕方	49	15.6
10日の夜	73	23.2
11日の早朝	68	21.7
11日の午前	14	4.5
水位に注目しなかった	51	16.2
計	314	100.0
無回答	23	
合計	337	

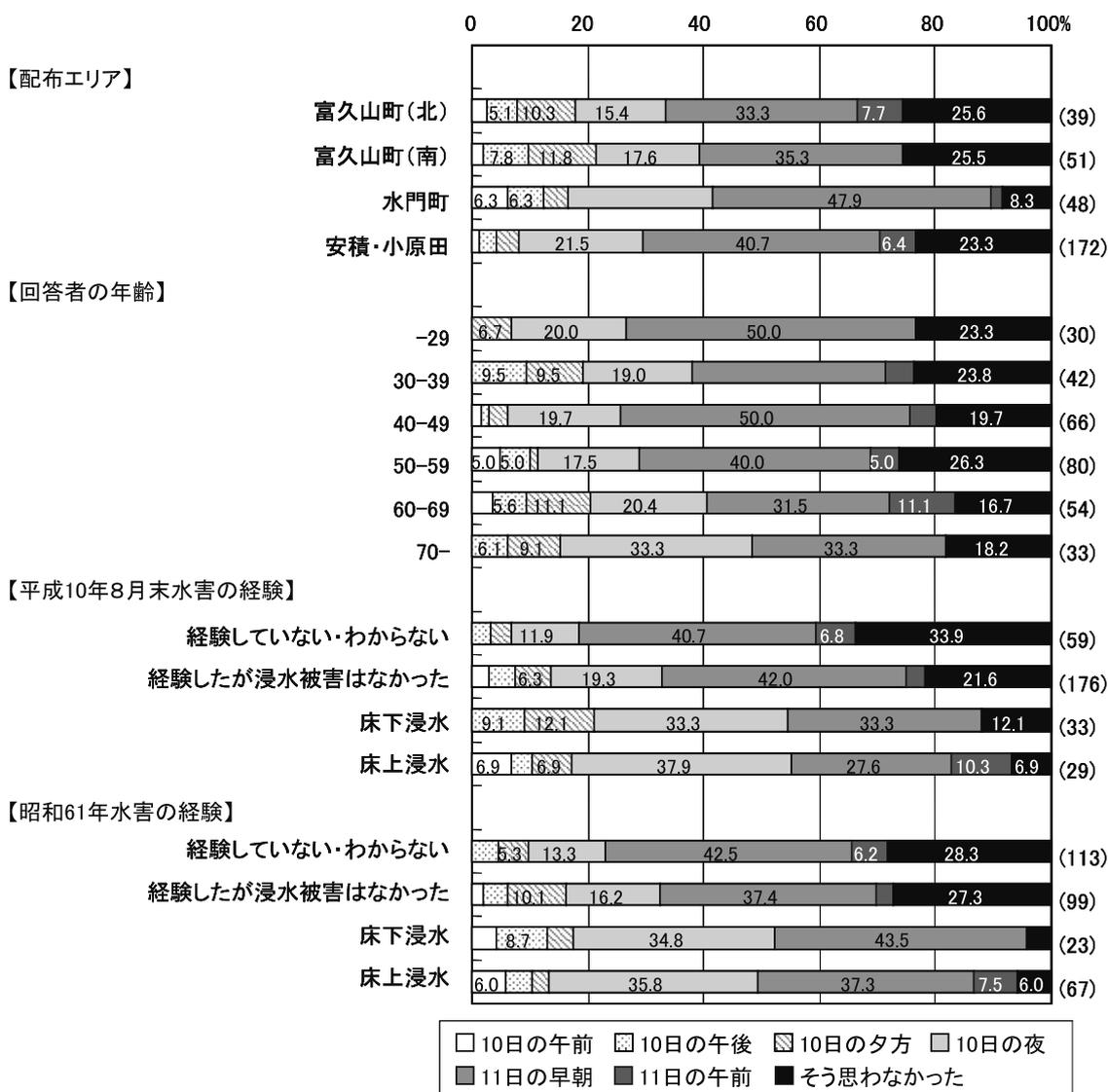
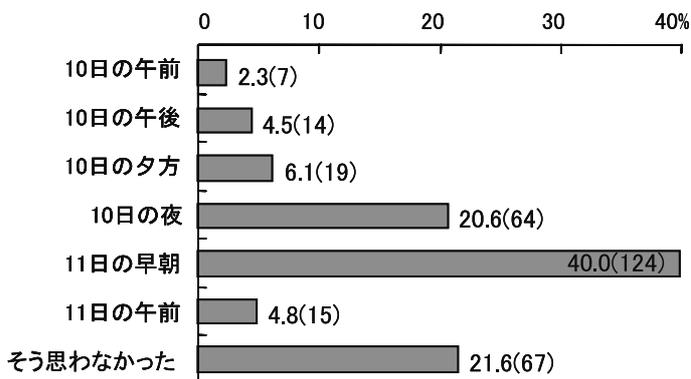


(7) 洪水が発生するかも、と意識し始める

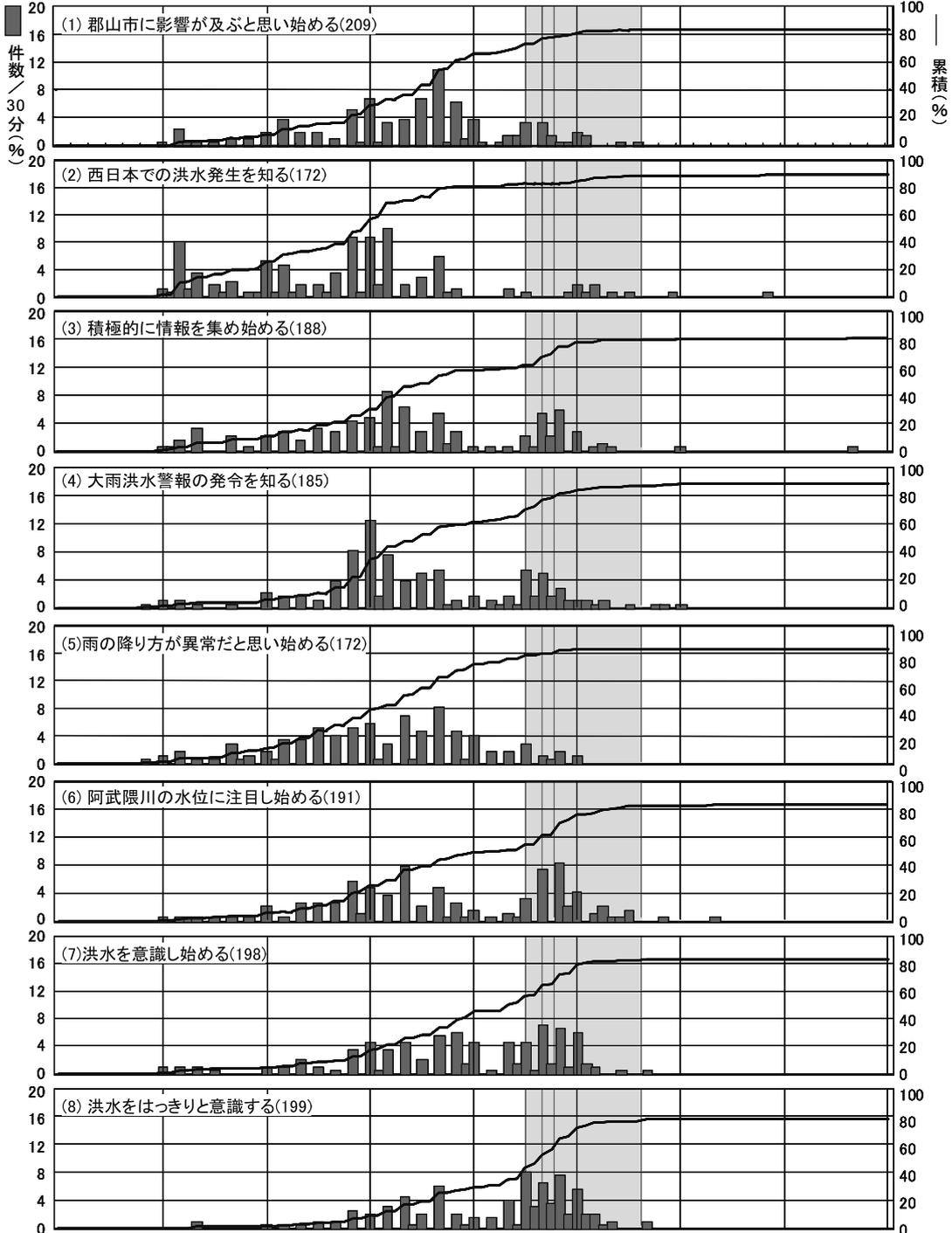
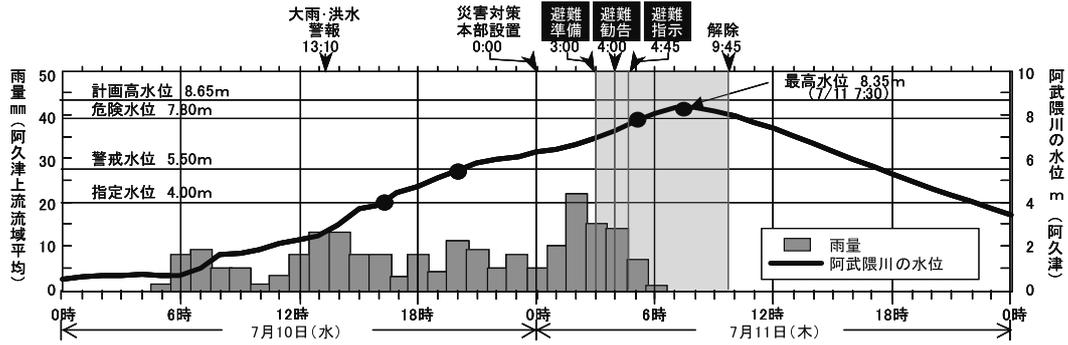


(8) 洪水の発生を明確に意識し始める

	度数	構成比
10日の午前	7	2.3
10日の午後	14	4.5
10日の夕方	19	6.1
10日の夜	64	20.6
11日の早朝	124	40.0
11日の午前	15	4.8
そのような意識状態になかった	67	21.6
計	310	100.0
無回答	27	
合計	337	



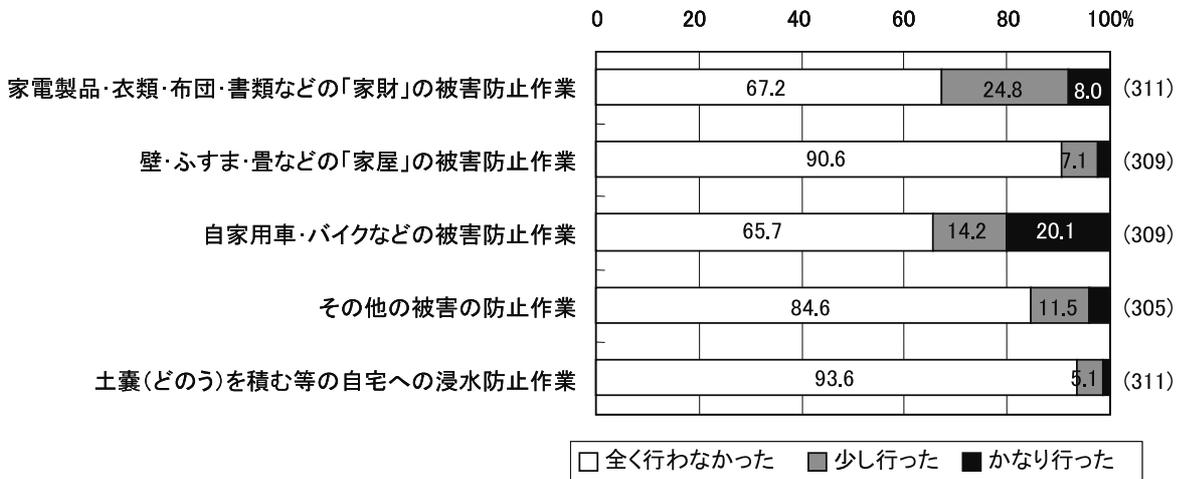
■時系列にみた住民の状況把握・情報取得・危機意識



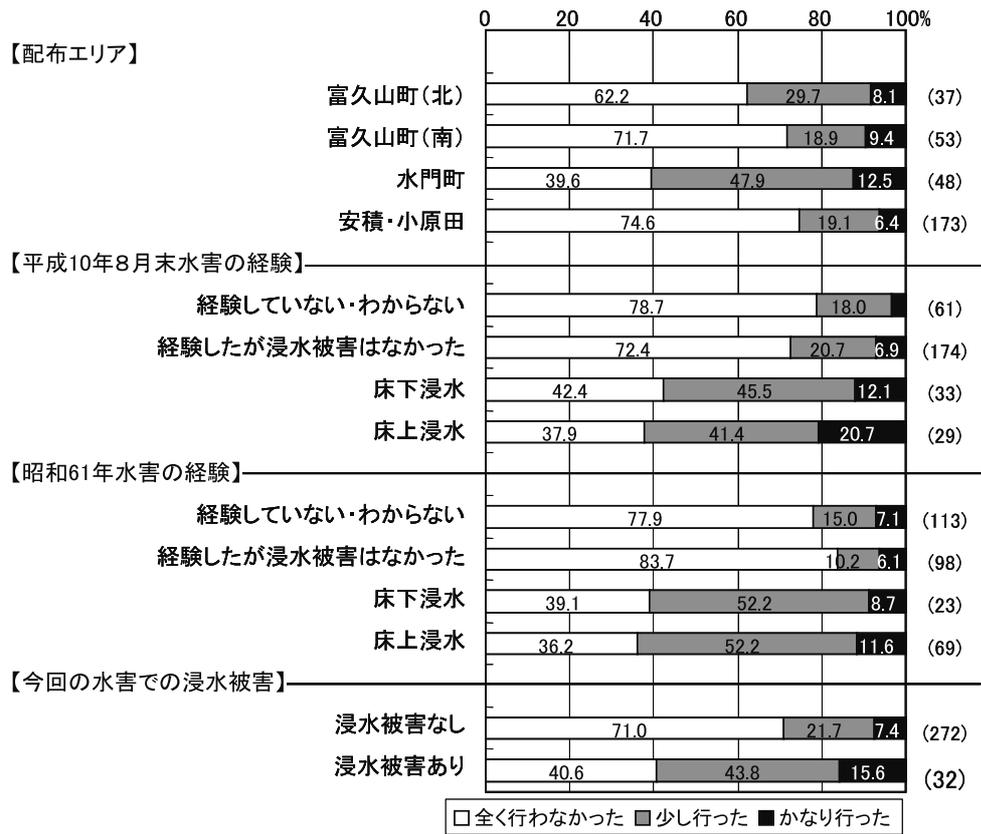
問 15：家屋・家財保全行動

あなたの世帯では、今回の水害に際してどのような行動をとりましたか。

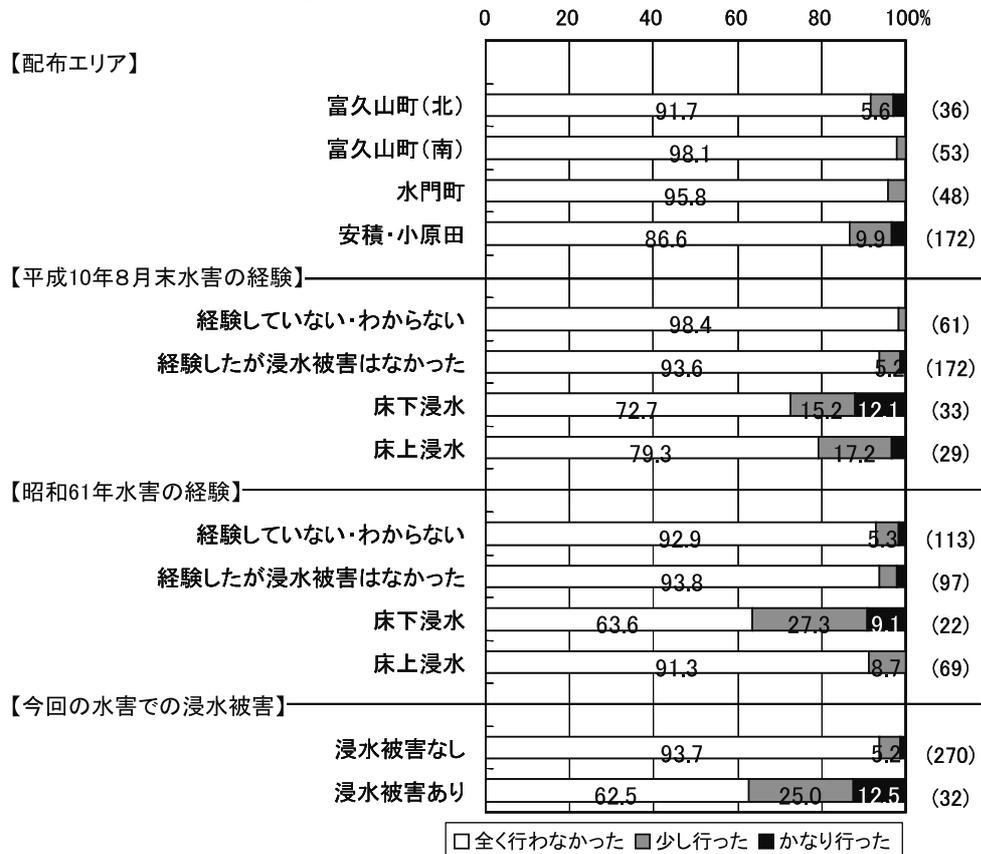
		全く行わ	少し行っ	かなり	計	無回答	合計
		なかった	た	行った			
家電製品・衣類・布団・書類などの「家財」の被害防止作業	度数	209	77	25	311	26	337
	構成比(%)	67.2	24.8	8.0	100.0		
壁・ふすま・畳などの「家屋」の被害防止作業	度数	280	22	7	309	28	337
	構成比(%)	90.6	7.1	2.3	100.0		
自家用車・バイクなどの被害防止作業	度数	203	44	62	309	28	337
	構成比(%)	65.7	14.2	20.1	100.0		
その他の被害の防止作業	度数	258	35	12	305	32	337
	構成比(%)	84.6	11.5	3.9	100.0		
土嚢(どの方)を積む等の自宅への浸水防止作業	度数	291	16	4	311	26	337
	構成比(%)	93.6	5.1	1.3	100.0		



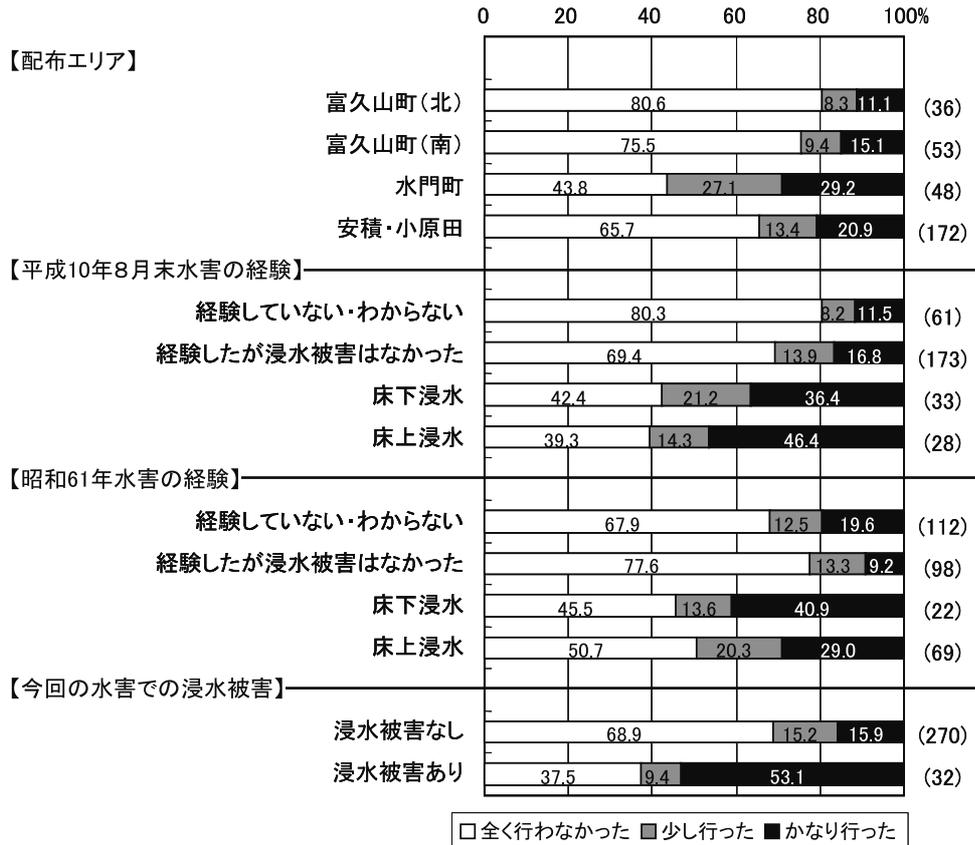
■家電製品・衣類・布団・書類などの「家財」の被害防止作業



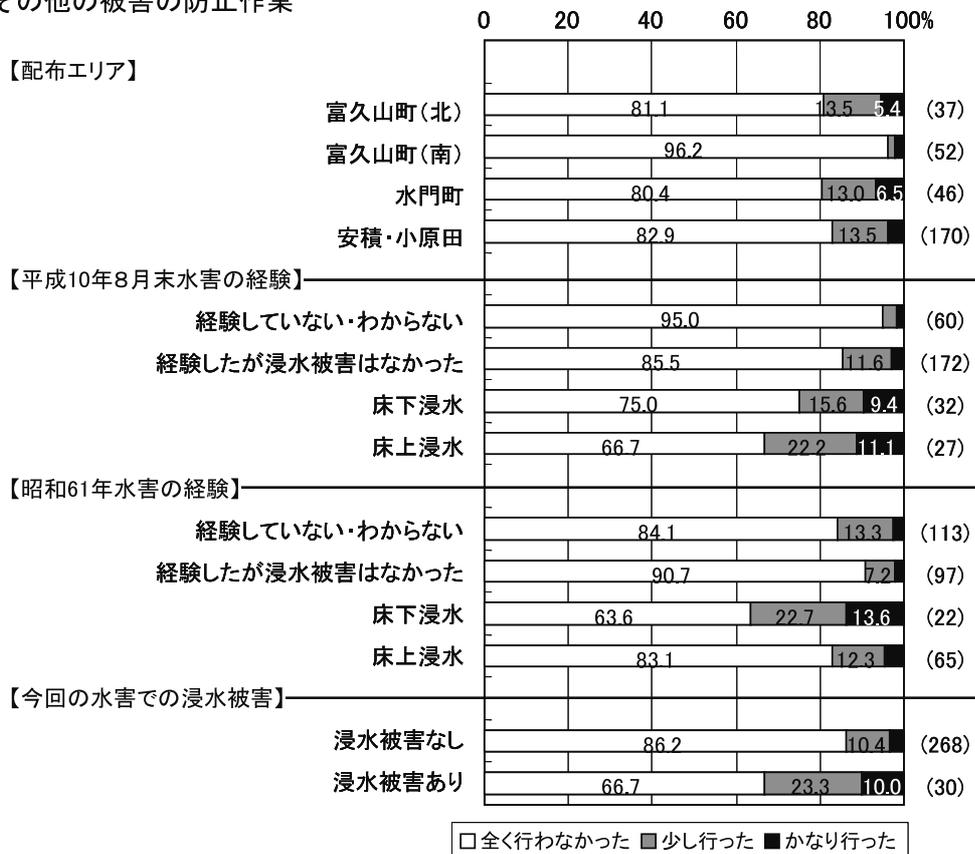
■壁・ふすま・畳などの「家屋」の被害防止作業



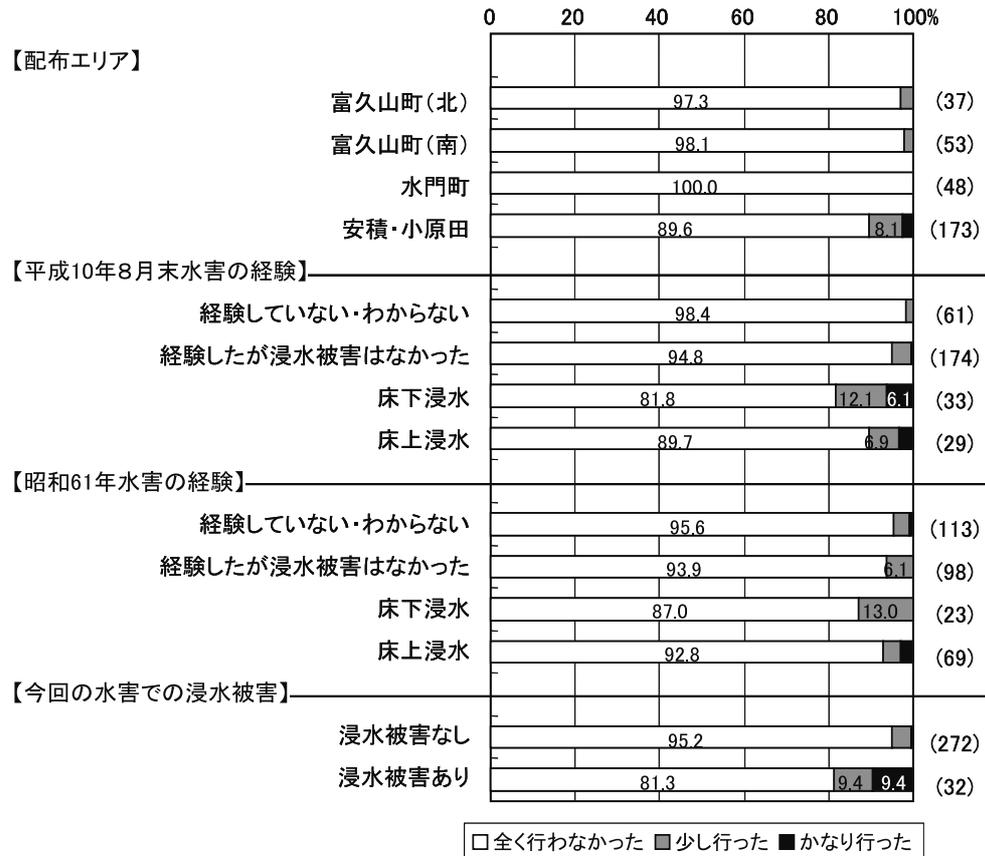
■ 自家用車・バイクなどの被害防止作業



■ その他の被害の防止作業

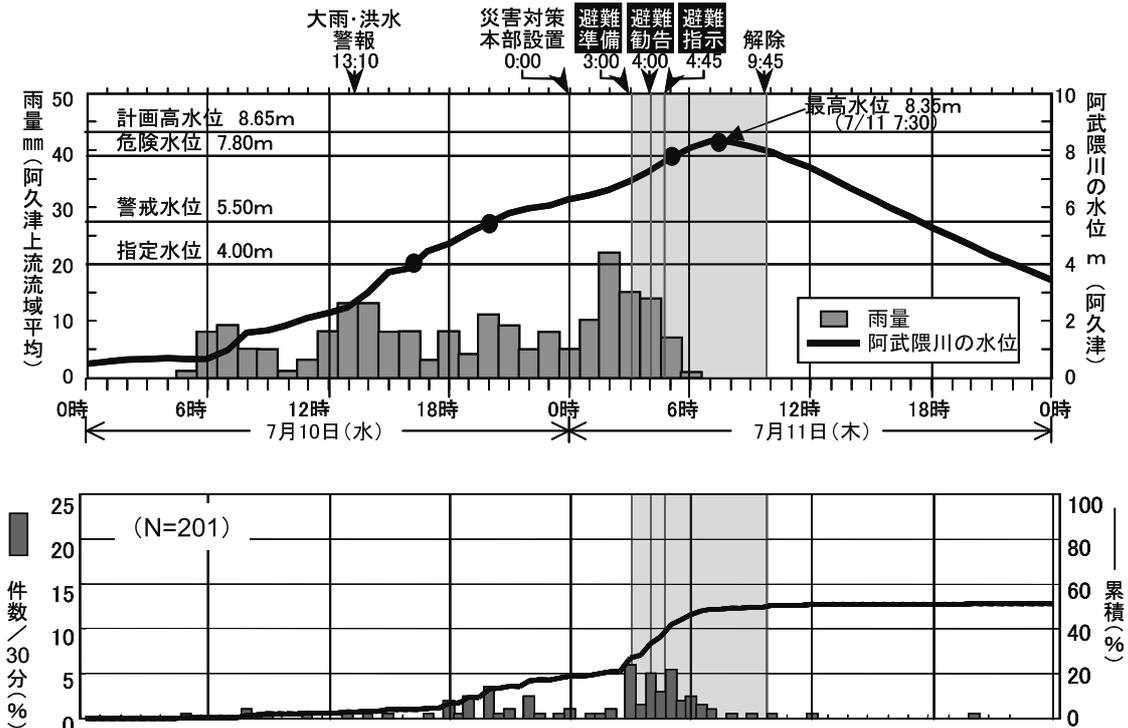


■土嚢(どのお)を積む等の自宅への浸水防止作業



問16：家屋・家財保全行動の開始時間ときっかけ

前の質問で、何らかの行動をとった方にお聞きします。それらの行動を初めて行ったのはどのような時期からでしたか。また、そのきっかけやその時の状況についても、ご記憶の範囲でお答え下さい。



■きっかけ（記述内容）

ブロック	No	記述内容	日時	
富久山町(北)	2	広報車による。	10日午後6時30分	
	4	川を何回かみにいって、近くの小川があふれてきたため。	11日午前4時50分	
	11	テレビ等で状況を知り。	10日午前5時00分	
	12	過去の8.5水害で床上1mの水害にあったから。	11日午前9時15分	
	13	TVのニュースをつけっ放しにして、雨の振り方を見つつ、貴重品・当座の衣服を1つの袋にまとめはじめていた。	11日午前6時00分	
	16	前例があったので早めに行動した様です。	11日午前6時	
	19	避難勧告の発令によって。	11日午前5時	
	21	水位が昭61年度の高さに達して来たから。	10日午後9時00分	
	23	避難勧告が出たとき。	10日午後6時00分	
	25	雨の降り方や情報(インターネットによる水位の変化)などから総合的に判断して。	11日午前6時30分	
	26	61年位だったと思う。床上浸水1mまできてたいへんな思いをしました。その時の事があって、またかと思いかたづけはじめた。	10日午後	
	29	母親や姉(前回(4年前)の洪水を経験している)からの電話があった為。	11日午前6時00分	
	30	万が一の為、大事なものだけ高い所に置いた。	10日午後6時00分	
	35	余りにも雨が強いので、又、床下浸水になるかも知れないと思った。	11日午前7時00分	
	36	水の増加。	10日午後10時00分	
	37	大きな台風なので。	10日午後8時00分	
	41	家の前が水びたしになっていたので	10日午後5時00分	
	富久山町(南)	1	雨の降り方が強くなったので。	11日午前6時00分
		14	道路や側溝からの水が駐車場までせまってきたので、車を比較的高いところに避難させた。	回答なし
15		降雨の激しさや、自宅前の支流、逢瀬川の増水量。	11日午前4時	
18		平成10年の床上浸水の際被害防止を忘れたものを、その時の水位よりも出来る限り高いところへ置くようにした。下げられるものは下げて極力。	10日午後8時00分	
21		避難指示を聞いてから、	11日午前3時00分	
23		工場内の工具など高い所に、	11日午前	
26		防災スピーカーの避難指示。	10日午前11時00分	
27		今春完成オープンした建設省の防災ステーションに、町内会長らと行って所長や市の担当者と情報を取り確認をしてきた。	10日午前8時00分	
28		もしかしたら水害になるかもしれないと思い、そこから早めに避難した。	11日午前4時00分	
29		避難勧告のスピーカー。	11日午前4時00分	
31		以前から、雨の勢いが強くなると、家が低い所にあるせいか玄関に水が入って来る事が多い。	10日午後7時	
32		避難指示が繰り返しアナウンスされたため。	10日午後2時00分	
38		避難指示と水位の状態を見て。	10日午後10時00分	
39		雨の降る量が激しく…不安。	11日午前3時30分	
44		前回は被害を受けているから。	8日午前9時	
46	川を見て水位が高くなり。	10日午後8時30分		
47	避難勧告のスピーカーを聞いて。	10日午前7時		
52	市の広報で注意を呼びかけ始めてから。	11日午前4時00分		
56	避難勧告が出てから来るまで親戚へ避難した。	11日午後8時00分		
57	逢瀬川の水位を見てから堤防決壊の恐れが出た。	10日午後11時		
水門町	1	老人がいるので重要書類と衣類を少々もって車で出た。	11日午前5時00分	
	2	・広報車が避難勧告を告げたので家族を起し一階の家具を二階にあげから避難した(自家用車で)。	11日午前5時00分	
	6	テレビのニュースで郡山市に台風が来ると見た時。	10日午後8時00分	
	7	8.5水害で浸水したので雨の降り方が同じ。建物、家財は被害から守りたかった。	10日午後7時00分	
	9	避難勧告による。	10日午前8時00分	
	10	避難勧告にあわせて。	10日午後10時30分	
	11	貴重品等の格納。	11日午前3時	
	13	ニュース等で各地の被害等を見て、また、雨の降り方を異常と感じ、降り止まないで落ち着かなくなった。	11日午前4時00分	
15	持ち出すものをリストアップした。(最終的に避難指示が出た時点で持ち出した。)	11日午前3時00分		

ブロック	No	記述内容	日時	
水門町	16	初めての水害行動でしたので。	10日午後10時	
	18	二階に上げた。	11日午前4時50分	
	19	8.5水害を思い出し。	11日午前3時00分	
	20	テレビを見て。	10日午前8時	
	21	広報車の呼びかけがあったから。	11日午前5時00分	
	24	雨の状況。	11日午前4時00分	
	29	前回、8.5体験から。	11日午前3時	
	30	会社の車、自家用を全部移動しました。	11日午前5時00分	
	31	少しだけ2階に運んだ。また、車に入れた。	11日午前4時30分	
	32	家の外で風にとぼされるもの。	11日午前4時	
	34	川の水がふえたので。	10日午後	
	35	前回自動車の浸水被害にあったから。	10日午後4時	
	36	水量計測所に行く度に増水危険ハードルを越していた。	11日午前12時00分	
	40	昭和63年のような事はないだろうと思いきのまわりのものだけ整理した。	11日午前5時00分	
	45	前の道路が水で川になっていたから。	11日午前3時00分	
	46	降雨が激しく止みそうになかったから。	11日午前5時00分	
	47	現地を見て、	10日午後7時00分	
	49	車を移動する必要があった。	11日午前5時30分	
	50	河の水位を見てきて、大切なものだけ(書類とか衣類)二階へ。	11日午前3時00分	
	安積・小原田	1	前の浸水で又かと、物置の米や、野菜なども高い所へ上げた。	回答なし
		8	阿武隈川の水位を見てから。	11日午前3時
		14	車を移動させた。道路が冠水し始めていたので。	10日午後6時00分
		17	3時に目が覚めたら家の前が川になっていた。旧道歩いて1分の団員のおかしやさんに水害を知らせた。長男も団員なので10日の夜10時に出勤していた。	11日午前10時
		22	物置の農産物の取片付け。	11日午前3時
		27	避難勧告。	11日午前8時00分
		28	避難勧告の連絡を町内会役員さんより、連絡を受けたから。	11日午前6時30分
34		台風が遅く心配が長く続いた。	11日午前2時	
35		自宅の前の道路が水をかぶっていた。	11日午前2時00分	
36		自宅わきの川の水位がなのでこれはもしかしたらと思い自家用車を移動した。	11日午前1時00分	
37		広報車に起こされた。	11日午前4時	
44		測溝排水ポンプ操作作業員に聞く。排水ポンプがオーバーロードにて。	10日午後7時00分	
45		避難指示が出された。	11日午前6時00分	
53		前にも床上浸水を経験しているから。	11日午前4時00分	
54		前回の洪水で土のうを積んで浸水が防げた。	11日午前7時00分	
55		自宅の回りが浸水始めた。	11日午前4時00分	
58		てっぽう水でどうしようもなかった。	10日午後8時00分	
63		道路の水位を見て、自動車の移動。	11日午前7時	
66		ニュース、インターネット。	10日午後9時	
67		水位の上昇、路面かん水。	11日午前3時00分	
71		避難準備。	10日午後12時00分	
75		避難勧告やテレビで台風情報を聞き行動した。	10日午後7時	
76		・自宅前の川が阿武隈川に流れているので ・水位が最高位だったので	回答なし	
80		サイレン、避難勧告がうるさくなってきた為。	11日午前5時30分	
81		道路に水がたまってきて歩道より高くなってきたのをみた。	11日午前6時30分	
87		ポンプ車や消防車が周囲に集まってきたのを見て。	11日午前3時00分	
89		道路に水が溢れてきた。	11日午前5時30分	
91		南川の水位上昇及び大雨情報。	11日午前5時	
92		床下浸水に備えて土のうを積んで換気こうをふさぐ作業をした。	10日午後7時00分	
94	川の水位を見て。	11日午前2時00分		
95	内水の水位がどんどん増してきた。	10日午後10時00分		

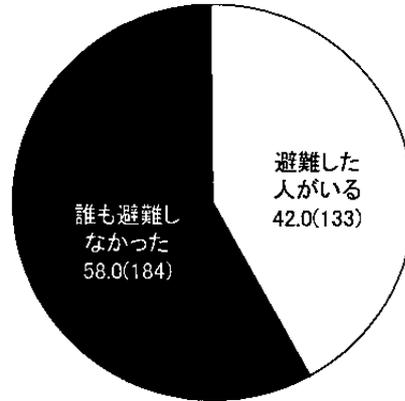
2002年7月郡山市における水害のアンケート調査報告書

ブロック	No	記述内容	日時
安積・小原田	98	避難指示が出てから。	11日午前4時00分
	100	市役所よりの情報FAXが入った。私は町内会長だったので	10日午後9時00分
	101	駐車場が少し低くなっているので車の移動をした。	11日午前1時30分
	108	近くの奥さんが以前、水が上がった時、自動車が水に浸かり、使用不可になったと言い、車だけでも水のこない所に避難しないと大変と言われた。	11日午前10時00分
	109	自宅前の道路がにるみる冠水し始めた。	10日午後11時30分
	113	畳を上げた。本、衣類、その他をまとめた。	11日午前3時40分
	114	川の水位が上がった。雨が止まない。	10日午後10時00分
	115	まわりの消防団がやっていた。	10日午後10時00分
	118	あふれた内水が家の前まで来ていた。	5日
	121	水が家の前まで上って来た時。	11日午前3時00分
	123	前2回の水害を経験しており今回は大丈夫と思ったが、念のためと思い、畳をはがし、階下のものを重要度により二階に上げた。	10日午後10時
	125	友人からの電話。	11日午前4時30分
	129	水路から水が溢れだした。	10日午後8時
	130	ニュースや川の水位を見て、家族と話し合って行動した。	11日午前3時00分
	134	サイレンや、消防車の巡回の際の放送などで。	11日午前5時
	135	雨の量、川の水量、テレビのニュースから。	11日午前5時00分
	136	道路の水位が15cm程度になっていたため。	11日午前3時
	140	雨風が強くと感じて。	11日午前5時
	141	長年のカンと、雨の降り方、水位の上がり方を見て判断し、被害にそなえました。	10日午後8時00分
	142	ポンプが1ヶしか作動していないと知らされてから。	11日午前5時00分
	143	家の前の道路が1時的に冠水しはじめたので車を安全な場所に移動した。	11日午前5時30分
	152	まず衣類などをまとめ準備し、外に出たが、もうすでに足首が水に入ってしまうほど水がたまっていた。	11日午前3時00分
	155	阿武隈川に水位を見に行き行って危ない思ったので、避難の準備(着替え、身の回りの物)いつでもできるようにしておいた。	10日午後7時00分
	158	ニュースによる。	10日午後10時00分
	162	前の家の道路が川になり、車が通るとその水が畑の上を流す(雷雨、台風に備えて)。	10日午後8時00分
	166	消防団の人が来てくれておしえてもらった。	10日午前
	168	風を警戒。	10日午後1時00分
	171	避難命令のため。	10日午前
	172	子供が小さいため、衣類や食べ物を準備した。	11日午前5時00分
	176	消防団の広報。	11日午前7時
	177	1日で増水したので、今回は特に異常だと感じた。しかし、対策といっても限度があるので余りしなかった。	11日午前5時00分
178	作内川より水が流れ出した時。	10日午後8時00分	
182	阿武隈川に注ぐ川をせき止め、道路に水があふれてきたとき。	11日午前4時	
183	避難の放送が出たため。	11日午前3時00分	
185	最小限家具の移動をおこなった。	11日午前6時00分	
190	窓から外を見たところ、自分の車の周りか、水でうもっていた為、移動しないと車が完全に浸水すると思ったから。	11日午前3時00分	
191	親戚からの電話、駐車場が浸水していた。	10日午後12時00分	
194	午前3:00消防による南川水門を閉めるとスピーカーにより。	10日午前9時00分	

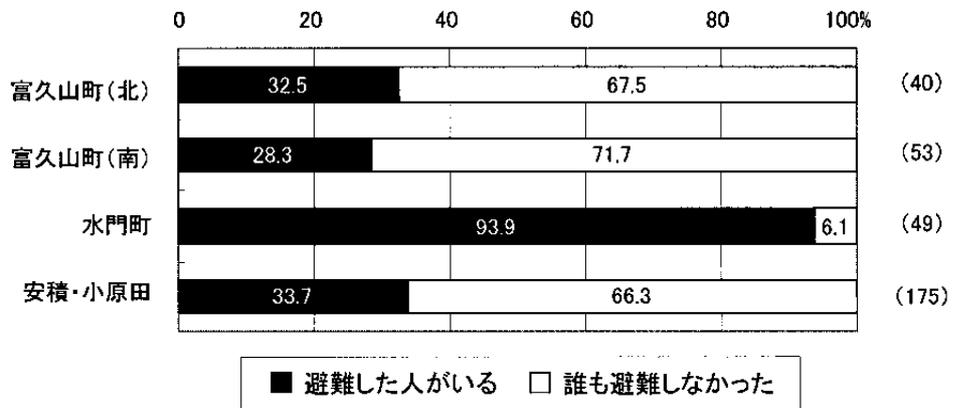
問17：世帯における避難行動

このたびの水害で、あなたの世帯で避難した人はいますか。

	度数	構成比
避難した人がいる	133	42.0
誰も避難しなかった	184	58.0
計	317	100.0
無回答	20	
合計	337	

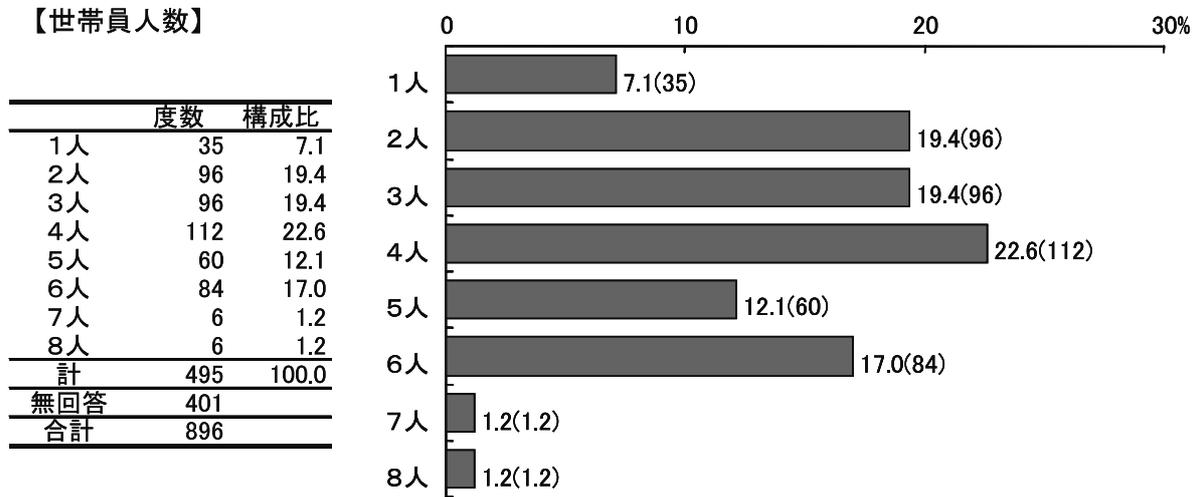


■配布エリア別にみた世帯内における避難者の有無



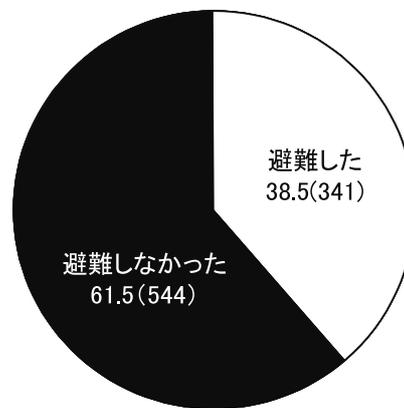
問 18：個人単位でみた避難行動

あなたの世帯では、どのような避難行動をとりましたか。同居している世帯員全員についてお答え下さい。なお、回答者ご本人は、1番目の回答欄にご記入下さい。



【個人の避難実態】

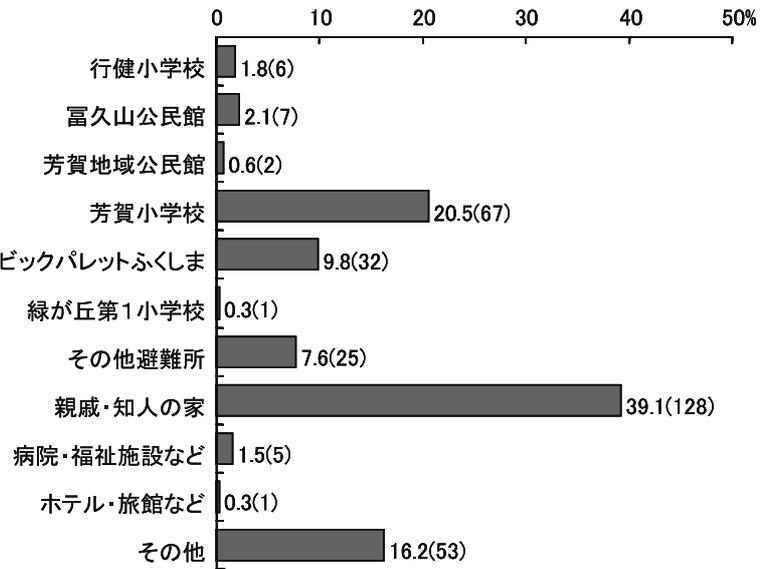
	度数	構成比
避難した	341	38.5
避難しなかった	544	61.5
計	885	100
無回答	11	
合計	896	



※回答者世帯の世帯員一人一人を集計の対象としている。

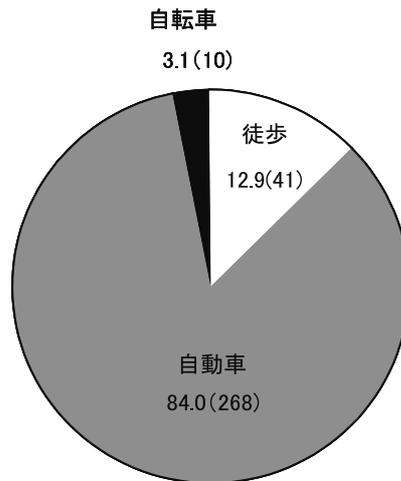
【避難先】

	度数	構成比
行健小学校	6	1.8
富久山公民館	7	2.1
芳賀地域公民館	2	0.6
芳賀小学校	67	20.5
ビックパレットふくしま	32	9.8
緑が丘第1小学校	1	0.3
その他避難所	25	7.6
親戚・知人の家	128	39.1
病院・福祉施設など	5	1.5
ホテル・旅館など	1	0.3
その他	53	16.2
計	327	100.0
非該当	140	
無回答	429	
合計	896	

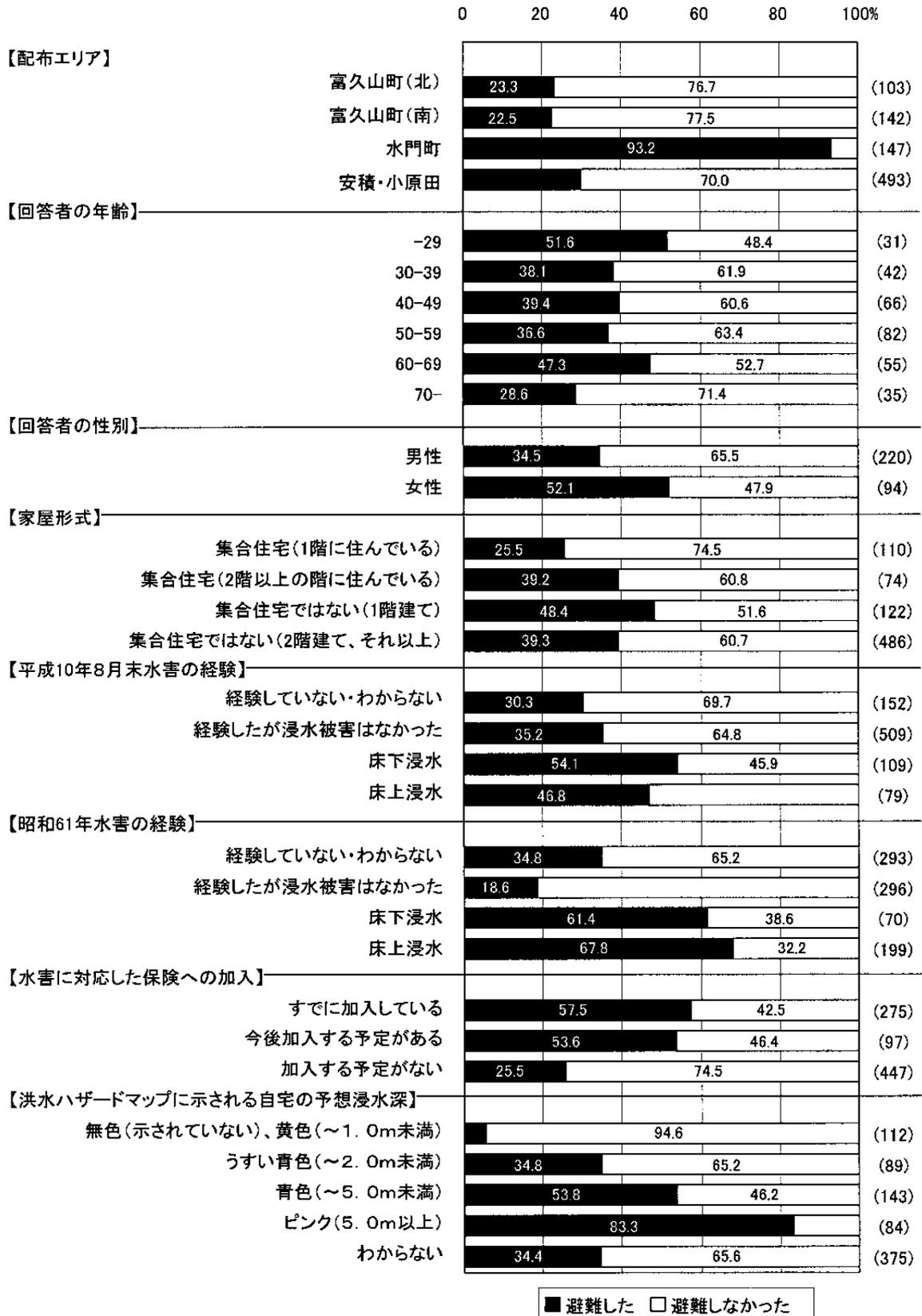


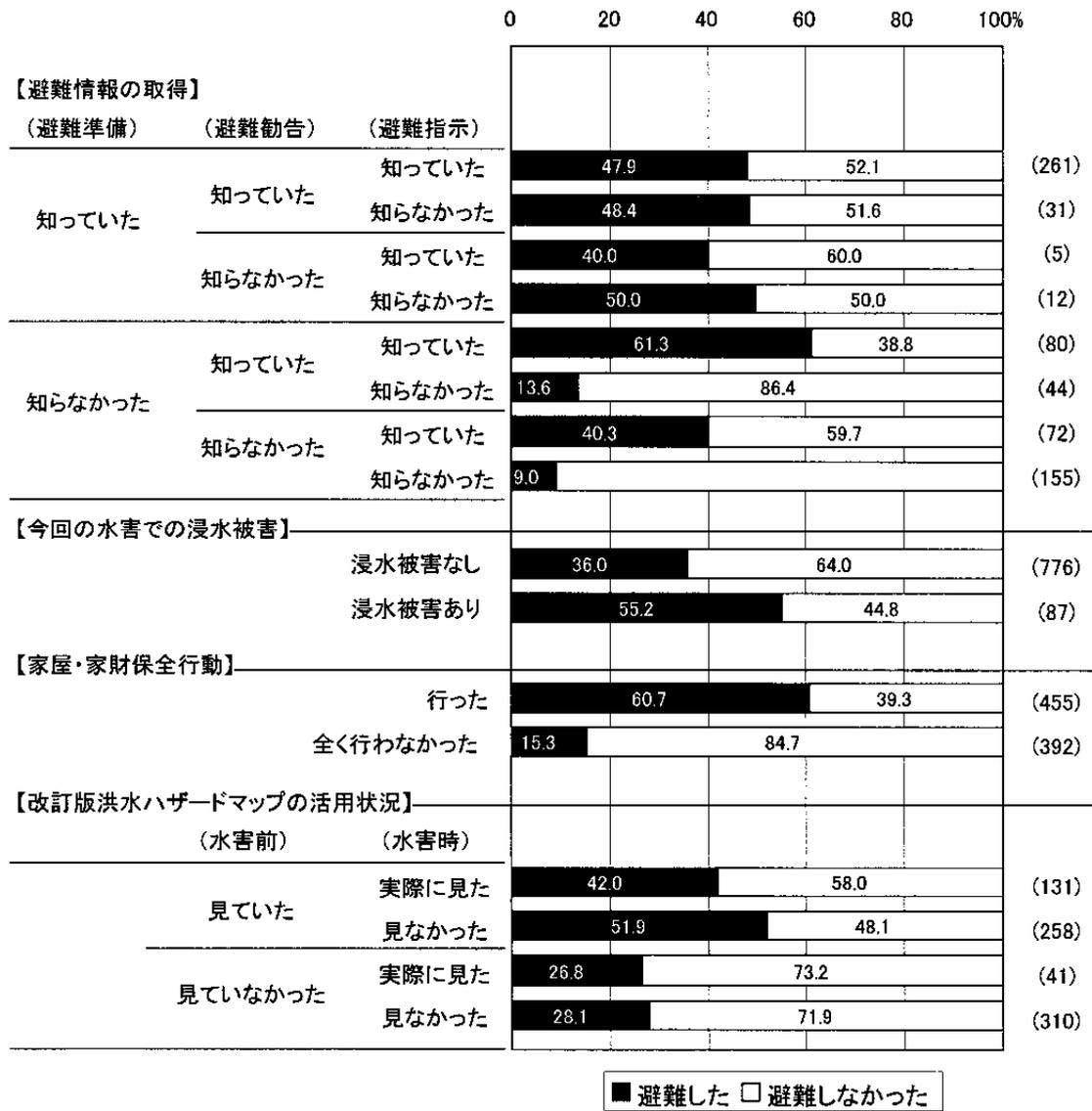
【避難手段】

	度数	構成比
徒歩	41	12.9
車	268	84.0
自転車	10	3.1
計	319	100.0
非該当	140	
無回答	437	
合計	896	

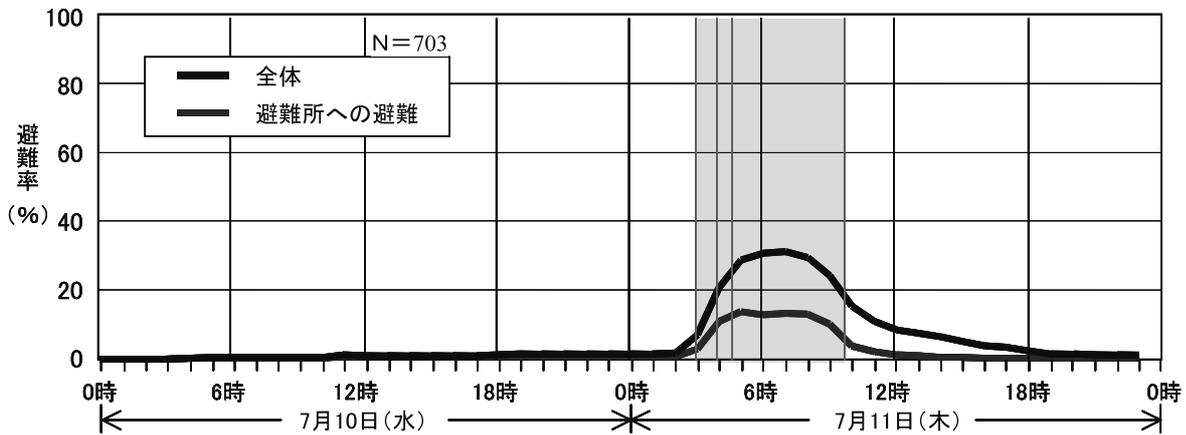
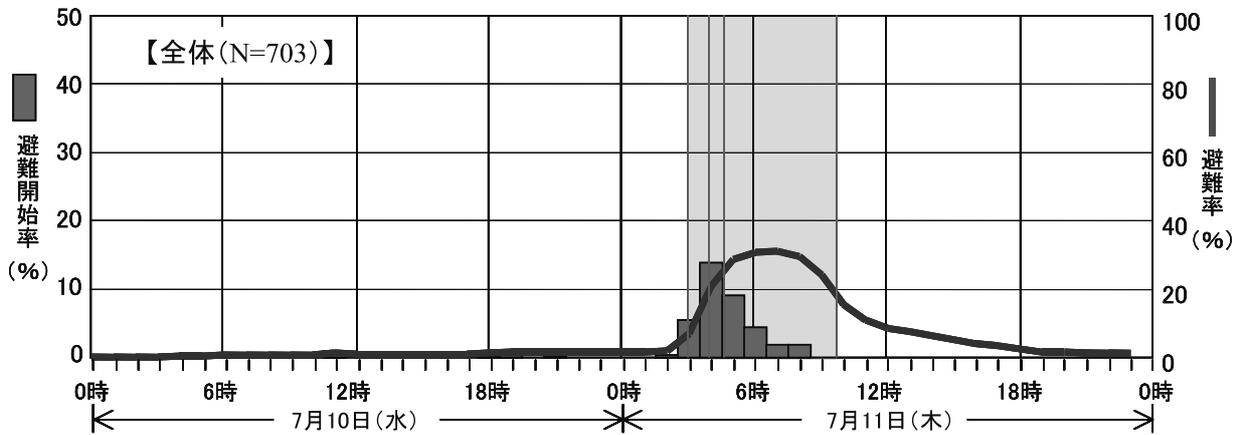
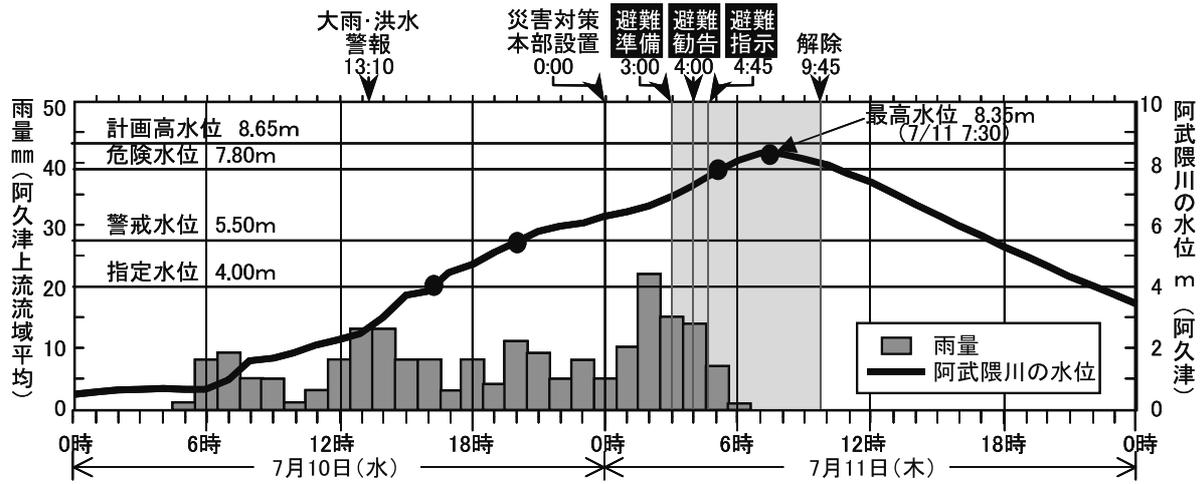


■避難行動の実態

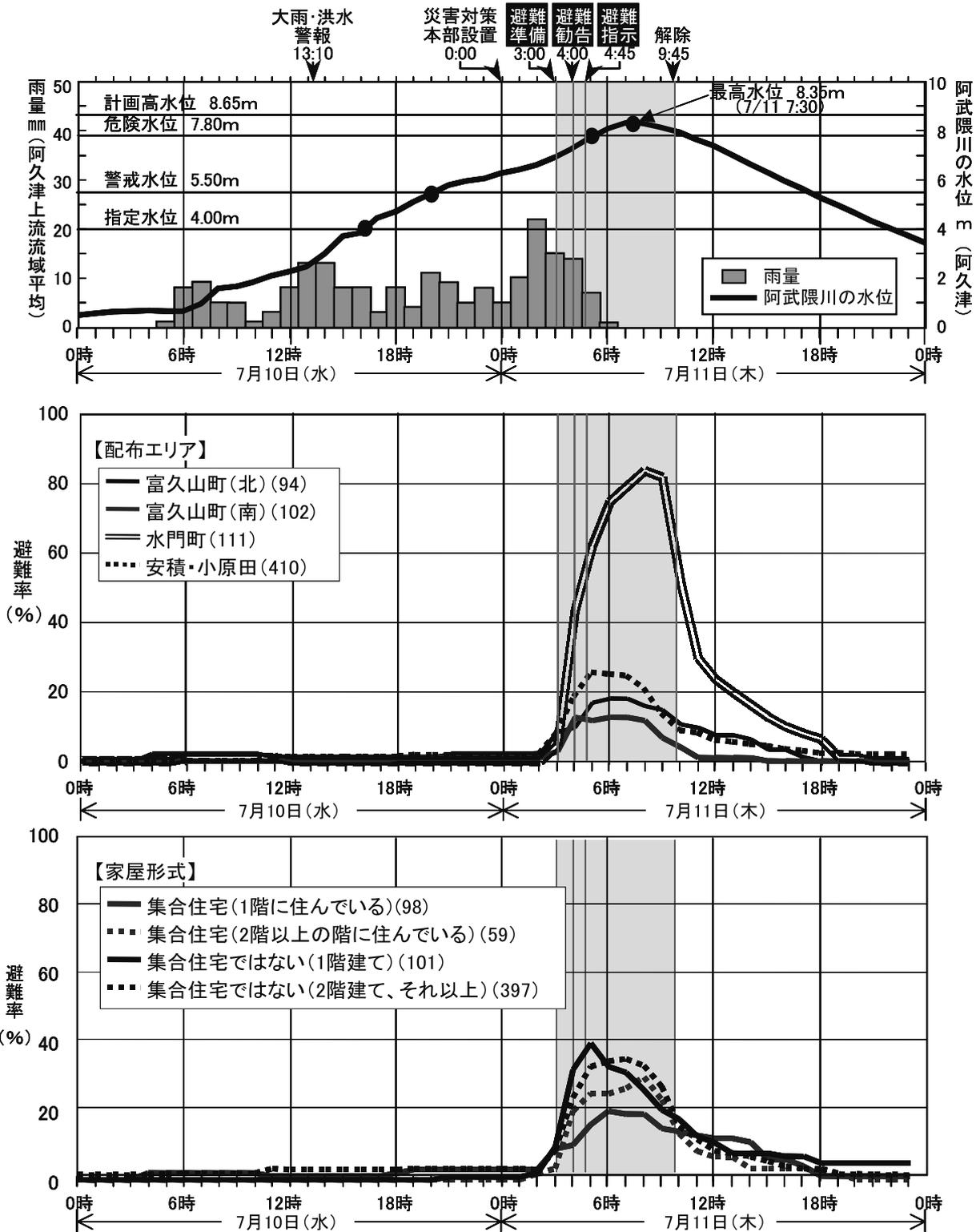




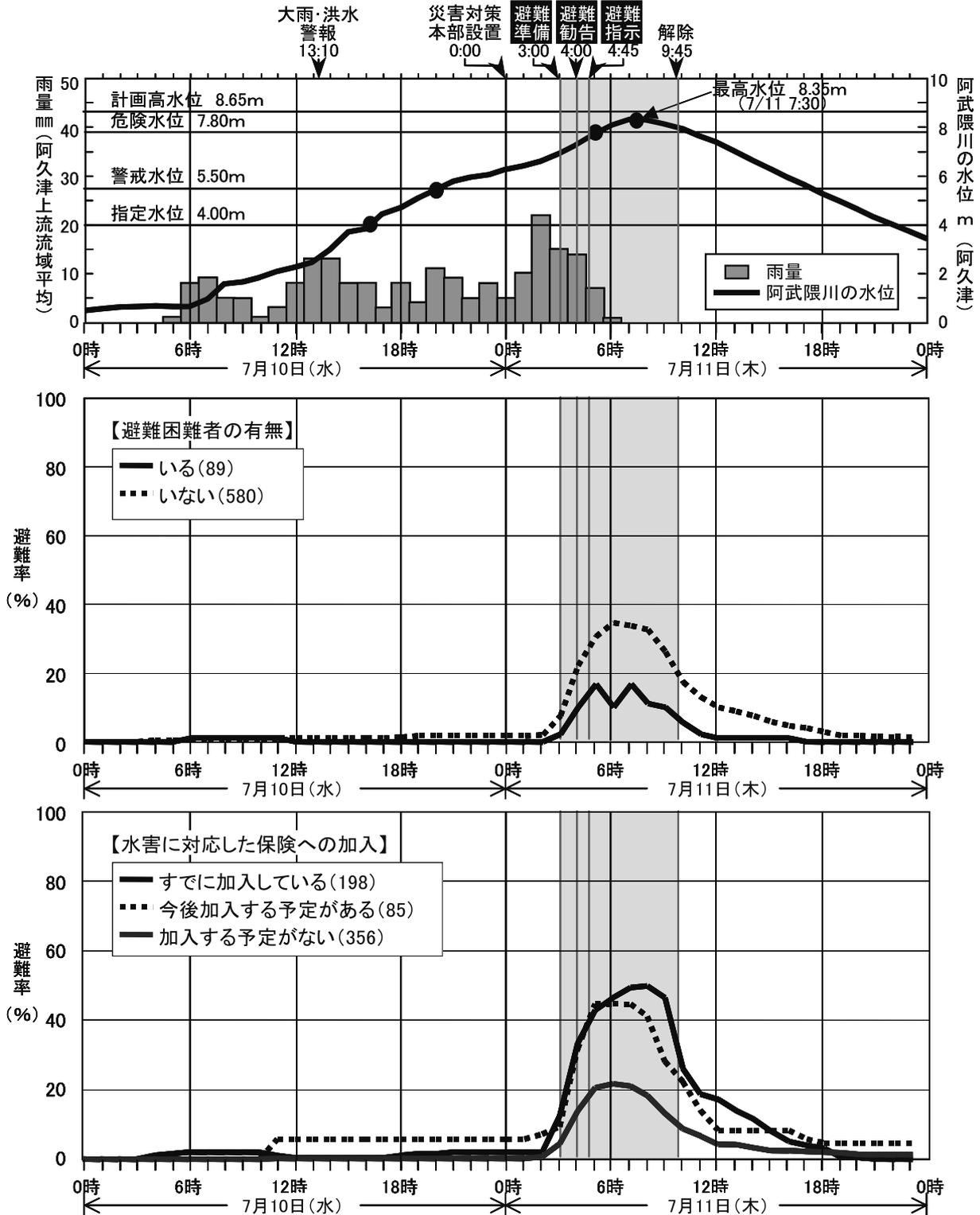
■時系列でみた避難



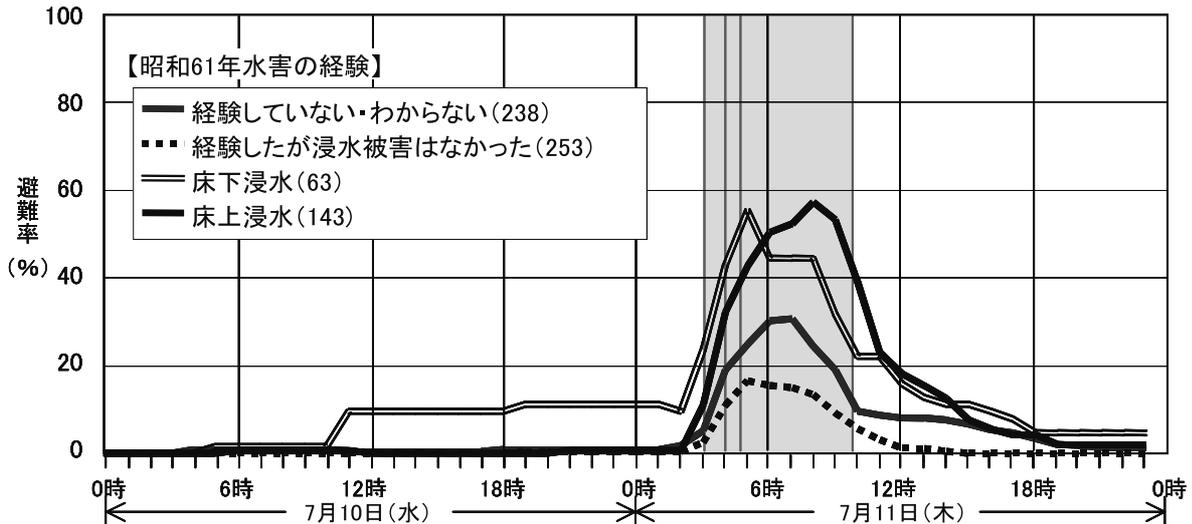
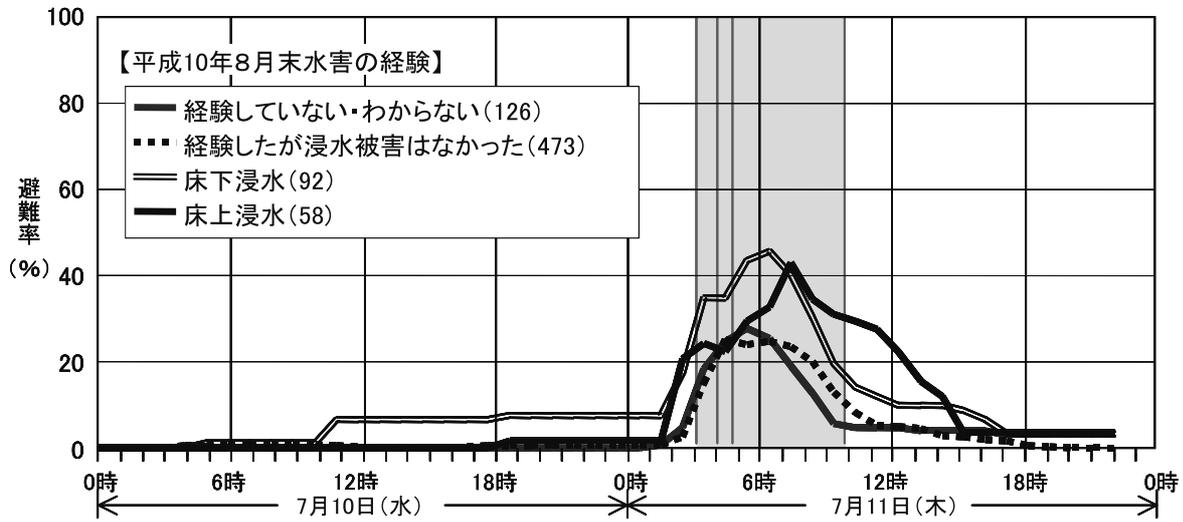
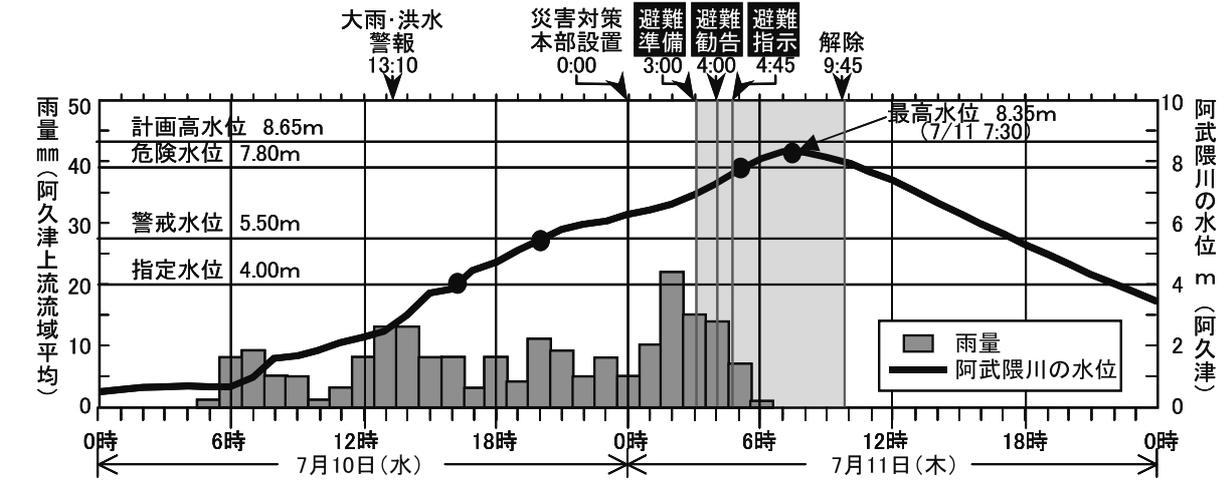
■配布エリア・家屋形式との関係



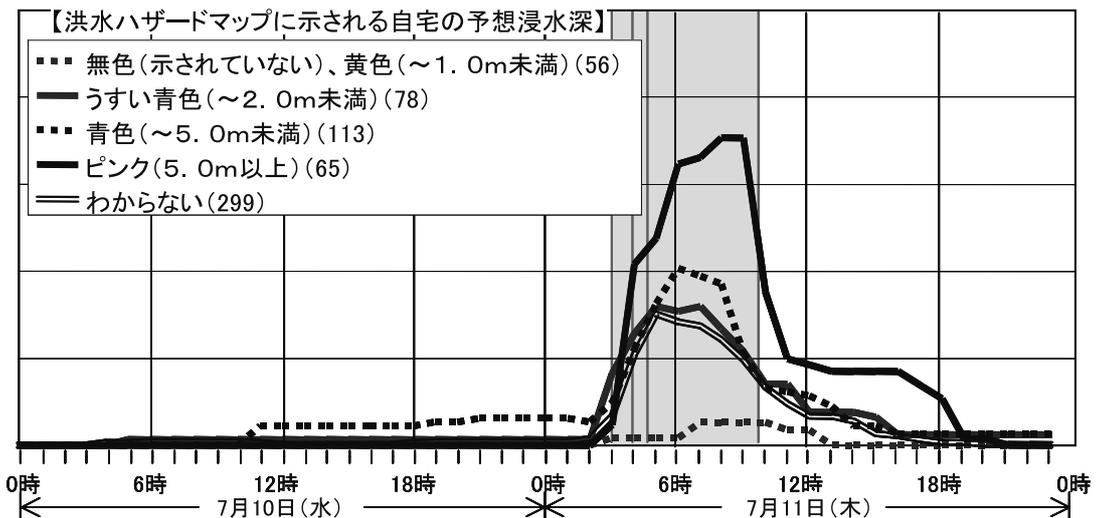
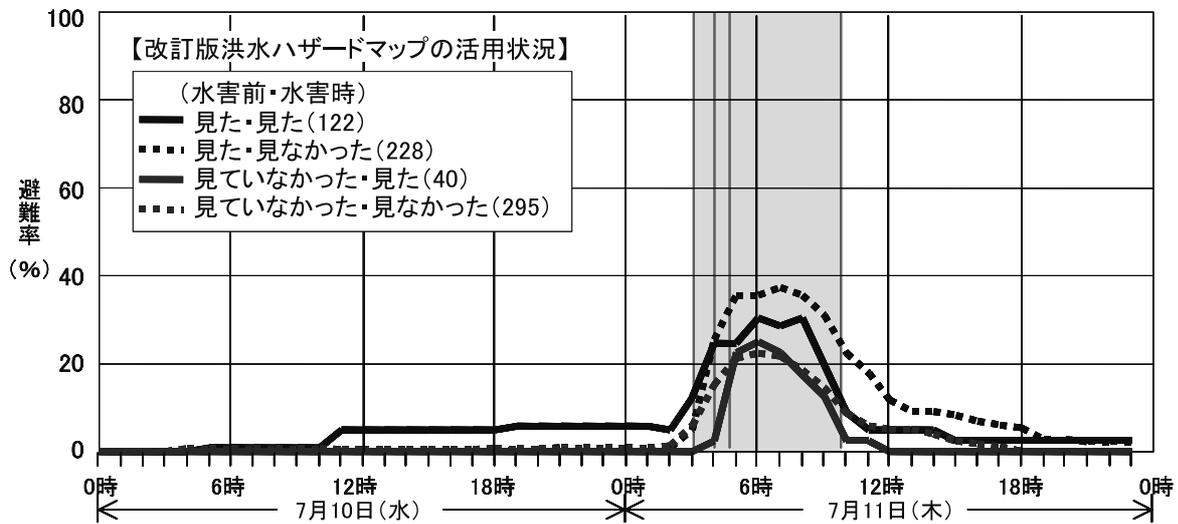
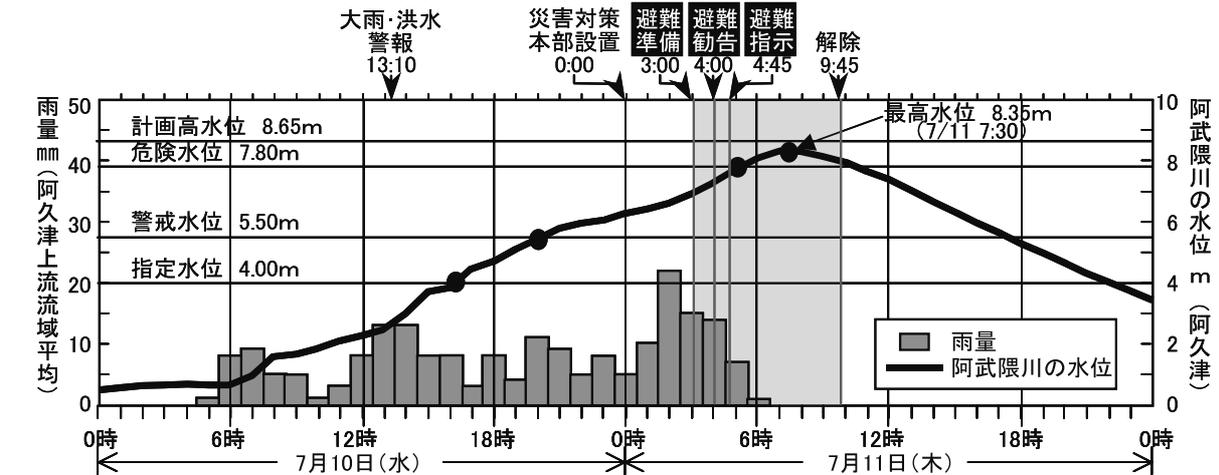
■避難困難者の有無・保険への加入との関係



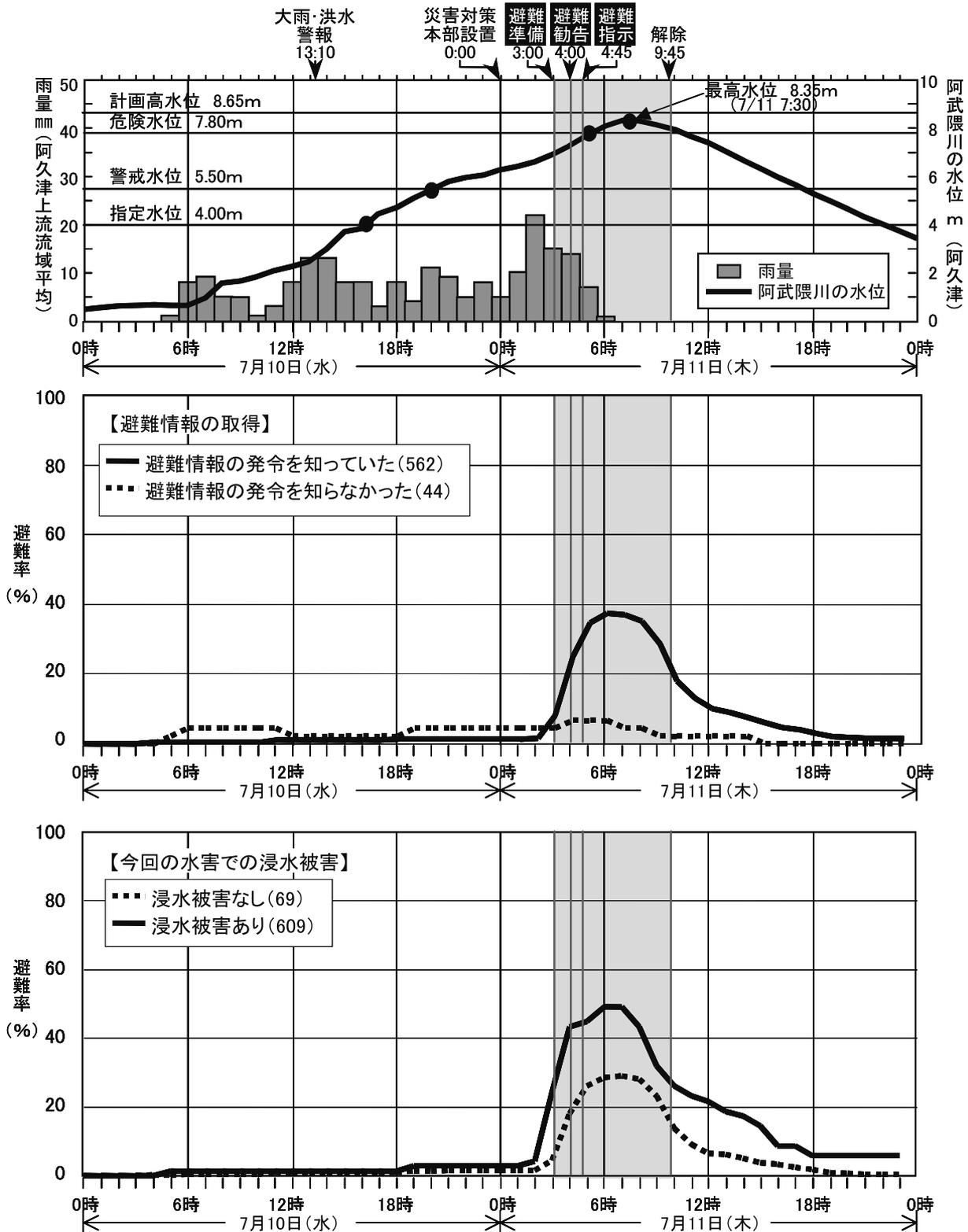
■過去の洪水経験との関係



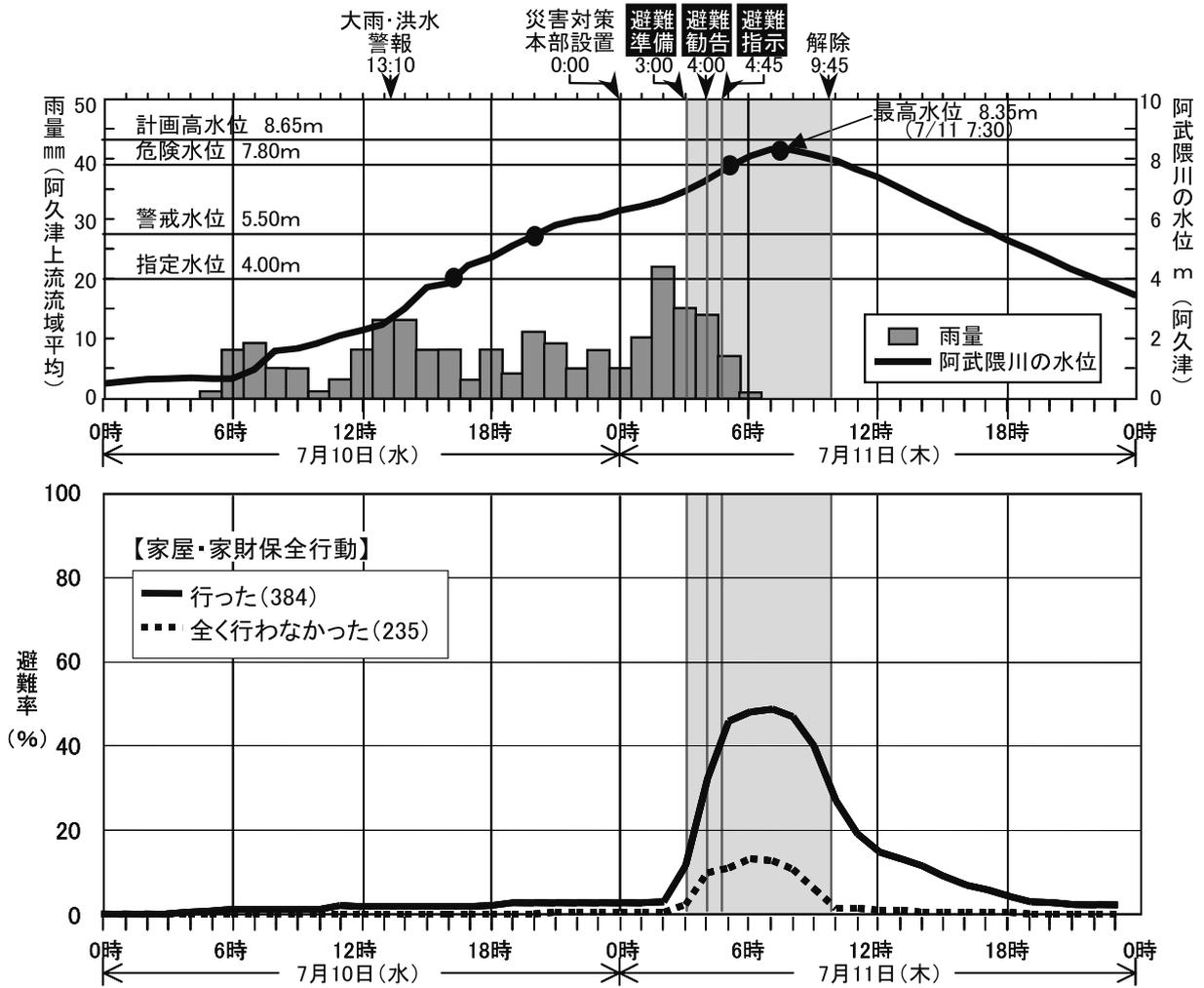
■改訂版洪水ハザードマップの閲覧との関係



■避難情報の取得・浸水被害実態との関係

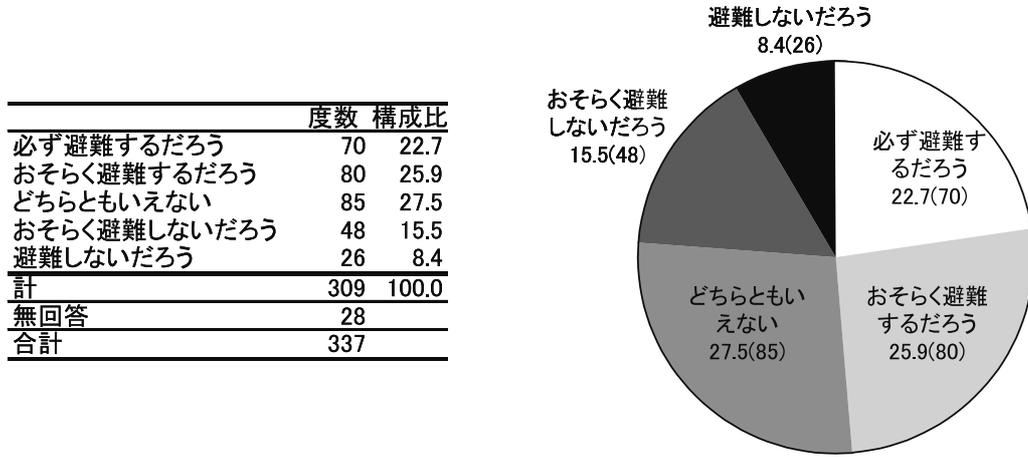


■家屋・家財保全行動との関係

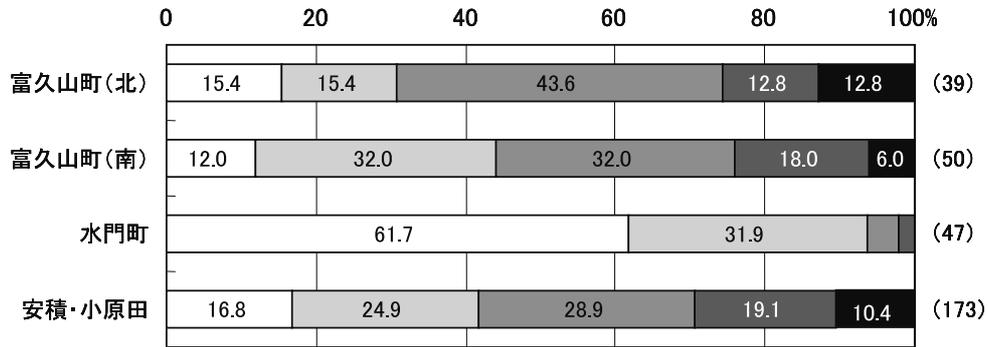


問19；今後の水害発生時における避難意向

今後において、仮に、今回の水害と同様のパターンの雨の降り方や阿武隈川の水位の上昇があった場合を想定してください。このとき、同様に早朝の避難勧告の発表を知った場合、あなたは避難すると思いますか。



■配布エリア別にみた世帯内における避難者の有無

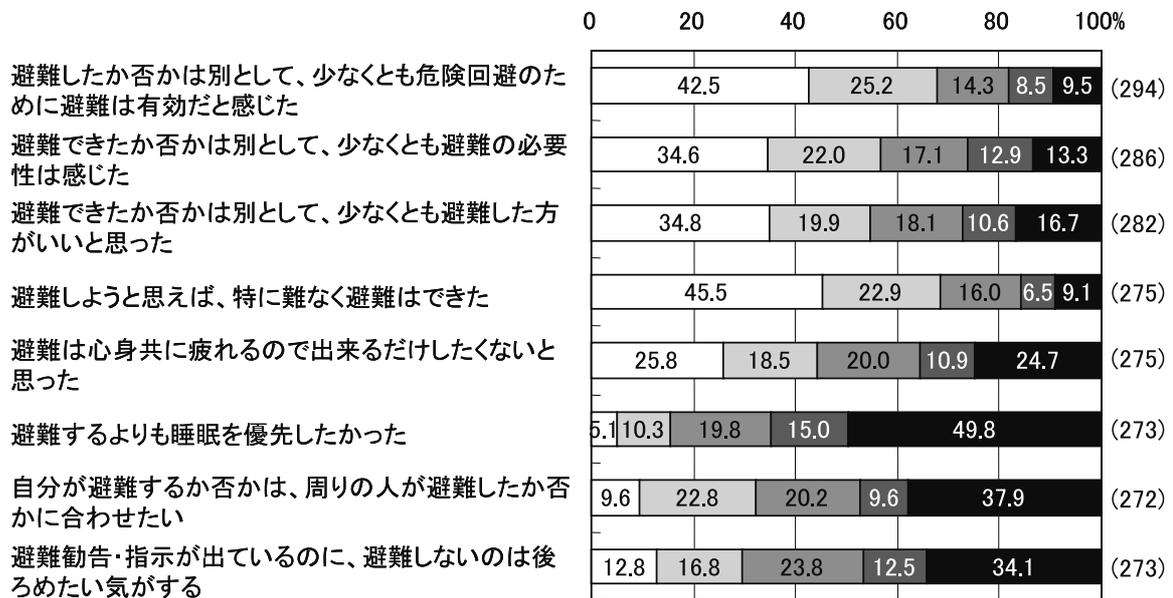


必ず避難するだろう
 おそらく避難するだろう
 どちらともいえない
 おそらく避難しないだろう
 避難しないだろう

問 20：避難に関する意識，評価

今回の水害当時のあなたのお気持ちを思い起こし、以下の質問にお答え下さい。

	そう思った	どちらかという うとそう思っ た	どちらともい えない	どちらかとい うとそう思わ なかった	そう思わな かった	計	無回答	合計
避難したか否かは別として、少なくとも危険回避のために避難は有効だと感じた	度数 125	74	42	25	28	294	43	337
	構成比(%) 42.5	25.2	14.3	8.5	9.5	100.0		
避難できたか否かは別として、少なくとも避難の必要性は感じた	度数 99	63	49	37	38	286	51	337
	構成比(%) 34.6	22.0	17.1	12.9	13.3	100.0		
避難できたか否かは別として、少なくとも避難した方がいいと思った	度数 98	56	51	30	47	282	55	337
	構成比(%) 34.8	19.9	18.1	10.6	16.7	100.0		
避難しようと思えば、特に難しく避難はできた	度数 125	63	44	18	25	275	62	337
	構成比(%) 45.5	22.9	16.0	6.5	9.1	100.0		
避難は心身共に疲れるので出来るだけしたくないと思った	度数 71	51	55	30	68	275	62	337
	構成比(%) 25.8	18.5	20.0	10.9	24.7	100.0		
避難するよりも睡眠を優先したかった	度数 14	28	54	41	136	273	64	337
	構成比(%) 5.1	10.3	19.8	15.0	49.8	100.0		
自分が避難するか否かは、周りの人が避難したか否かに合わせたい	度数 26	62	55	26	103	272	65	337
	構成比(%) 9.6	22.8	20.2	9.6	37.9	100.0		
避難勧告・指示が出ているのに、避難しないのは後ろめたい気がする	度数 35	46	65	34	93	273	64	337
	構成比(%) 12.8	16.8	23.8	12.5	34.1	100.0		



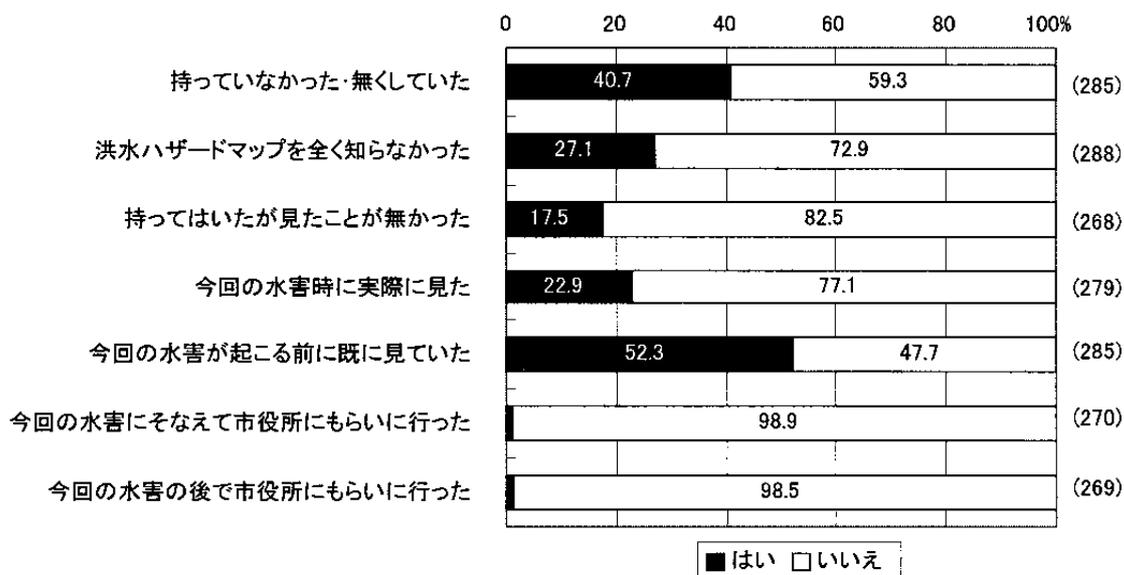
そう思った
 どちらかといううとそう思った
 どちらともいえない
 どちらかといううとそう思わなかった
 そう思わなかった

5. 改訂版洪水ハザードマップについて

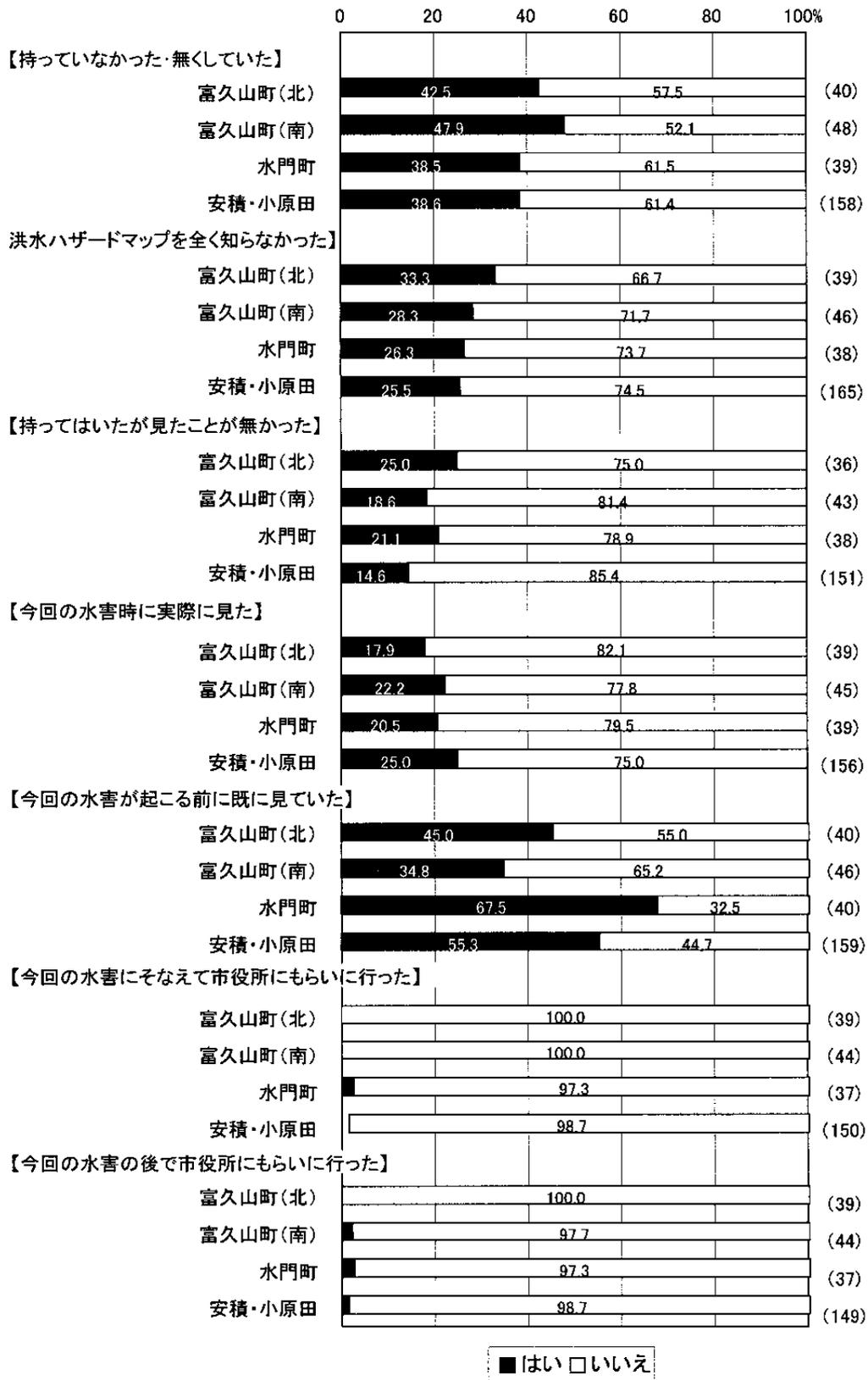
問21：改訂版洪水ハザードマップの使用状況

このたびの水害時での、改訂版郡山市洪水ハザードマップの使用状況についてお答え下さい。

		はい	いいえ	計	無回答	合計
持っていなかった・無くしていた	度数	116	169	285	52	337
	構成比(%)	40.7	59.3	100.0		
洪水ハザードマップを全く知らなかった	度数	78	210	288	49	337
	構成比(%)	27.1	72.9	100.0		
持っはいたが見たことが無かった	度数	47	221	268	69	337
	構成比(%)	17.5	82.5	100.0		
今回の水害時に実際に見た	度数	64	215	279	58	337
	構成比(%)	22.9	77.1	100.0		
今回の水害が起こる前に既に見ていた	度数	149	136	285	52	337
	構成比(%)	52.3	47.7	100.0		
今回の水害にそなえて市役所にもらいに行った	度数	3	267	270	67	337
	構成比(%)	1.1	98.9	100.0		
今回の水害の後に市役所にもらいに行った	度数	4	265	269	68	337
	構成比(%)	1.5	98.5	100.0		



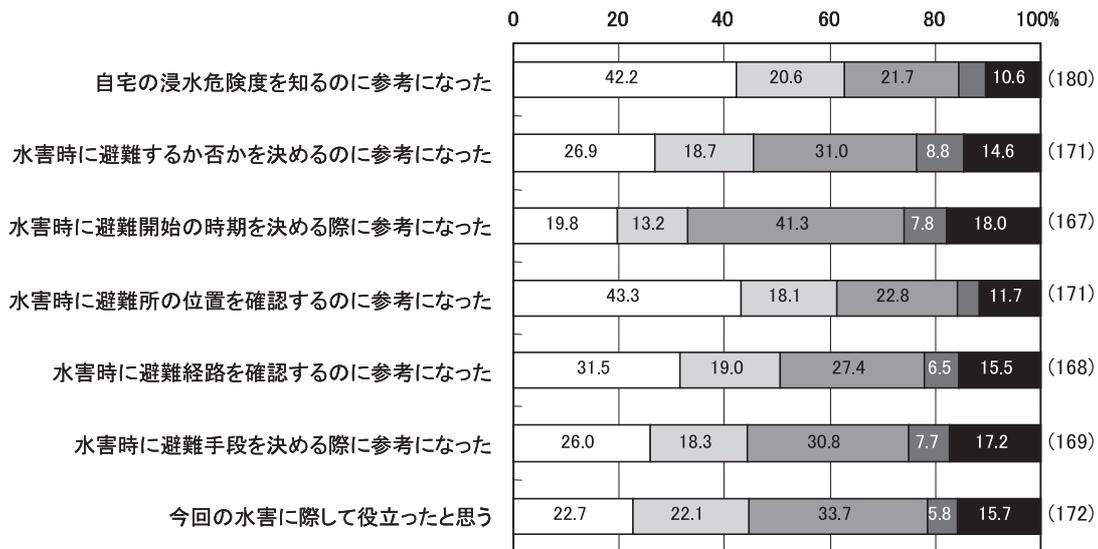
■配布エリア別にみた改訂版洪水ハザードマップの使用状況



問22：水害時における改訂版洪水ハザードマップの利用状況

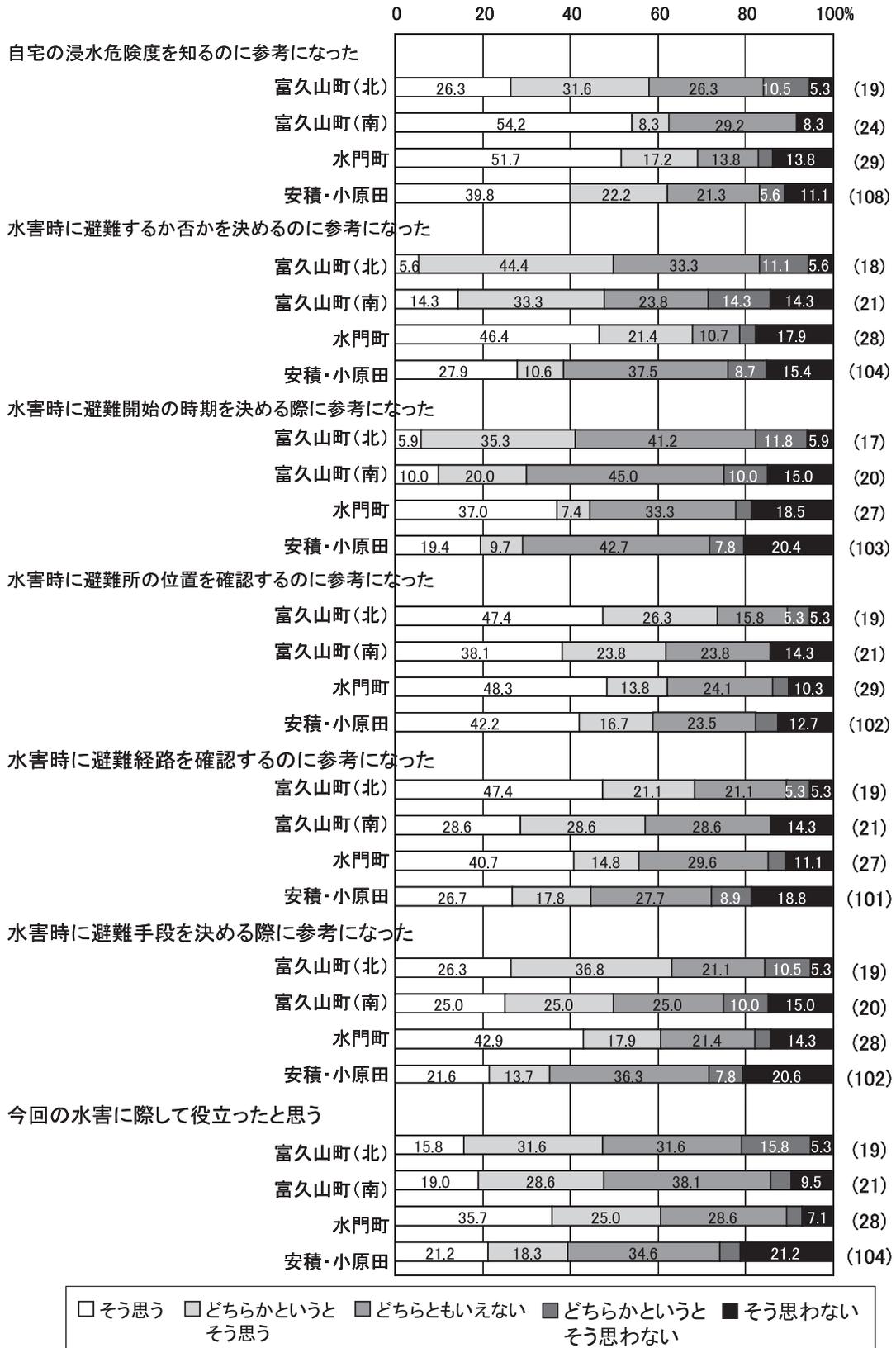
今回の水害で改訂版洪水ハザードマップをご覧になった方にお聞きします。今回の水害での、改訂版洪水ハザードマップの活用状況について、以下の質問にお答え下さい。

	度数	構成比(%)	計	無回答	合計								
	76	42.2	37	20.6	39	21.7	9	5.0	19	10.6	180	157	337
自宅の浸水危険度を知るのに参考になった	76	42.2	37	20.6	39	21.7	9	5.0	19	10.6	180	157	337
水害時に避難するか否かを決めるのに参考になった	46	26.9	32	18.7	53	31.0	15	8.8	25	14.6	171	166	337
水害時に避難開始の時期を決める際に参考になった	33	19.8	22	13.2	69	41.3	13	7.8	30	18.0	167	170	337
水害時に避難所の位置を確認するのに参考になった	74	43.3	31	18.1	39	22.8	7	4.1	20	11.7	171	166	337
水害時に避難経路を確認するのに参考になった	53	31.5	32	19.0	46	27.4	11	6.5	26	15.5	168	169	337
水害時に避難手段を決める際に参考になった	44	26.0	31	18.3	52	30.8	13	7.7	29	17.2	169	168	337
今回の水害に際して役立つと思う	39	22.7	38	22.1	58	33.7	10	5.8	27	15.7	172	165	337



- そう思う
- どちらかというと思う
- どちらともいえない
- どちらかというと思わない
- そう思わない

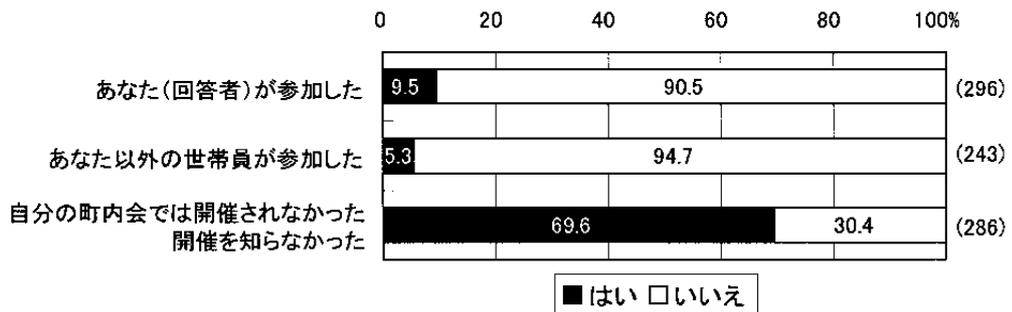
■配布エリア別にみた今回の水害での改訂版洪水ハザードマップの活用実態



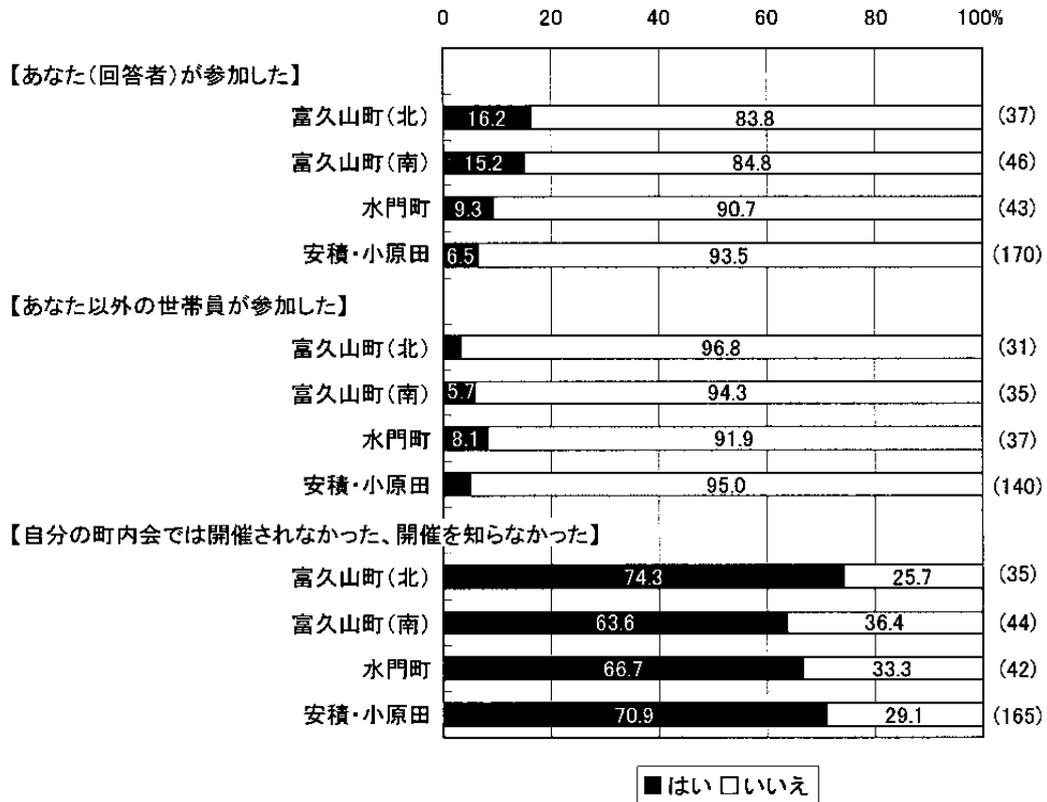
問23：住民説明会への参加実態

昨年度までに各町内会で開催（希望のあった町内会のみ開催）してきた改訂版郡山市洪水ハザードマップの住民説明会に参加しましたか。

		はい	いいえ	計	無回答	合計
あなた(回答者)が参加した	度数	28	268	296	41	337
	構成比(%)	9.5	90.5	100.0		
あなた以外の世帯員が参加した	度数	13	230	243	94	337
	構成比(%)	5.3	94.7	100.0		
自分の町内会では開催されなかった、開催を知らなかった	度数	199	87	286	51	337
	構成比(%)	69.6	30.4	100.0		

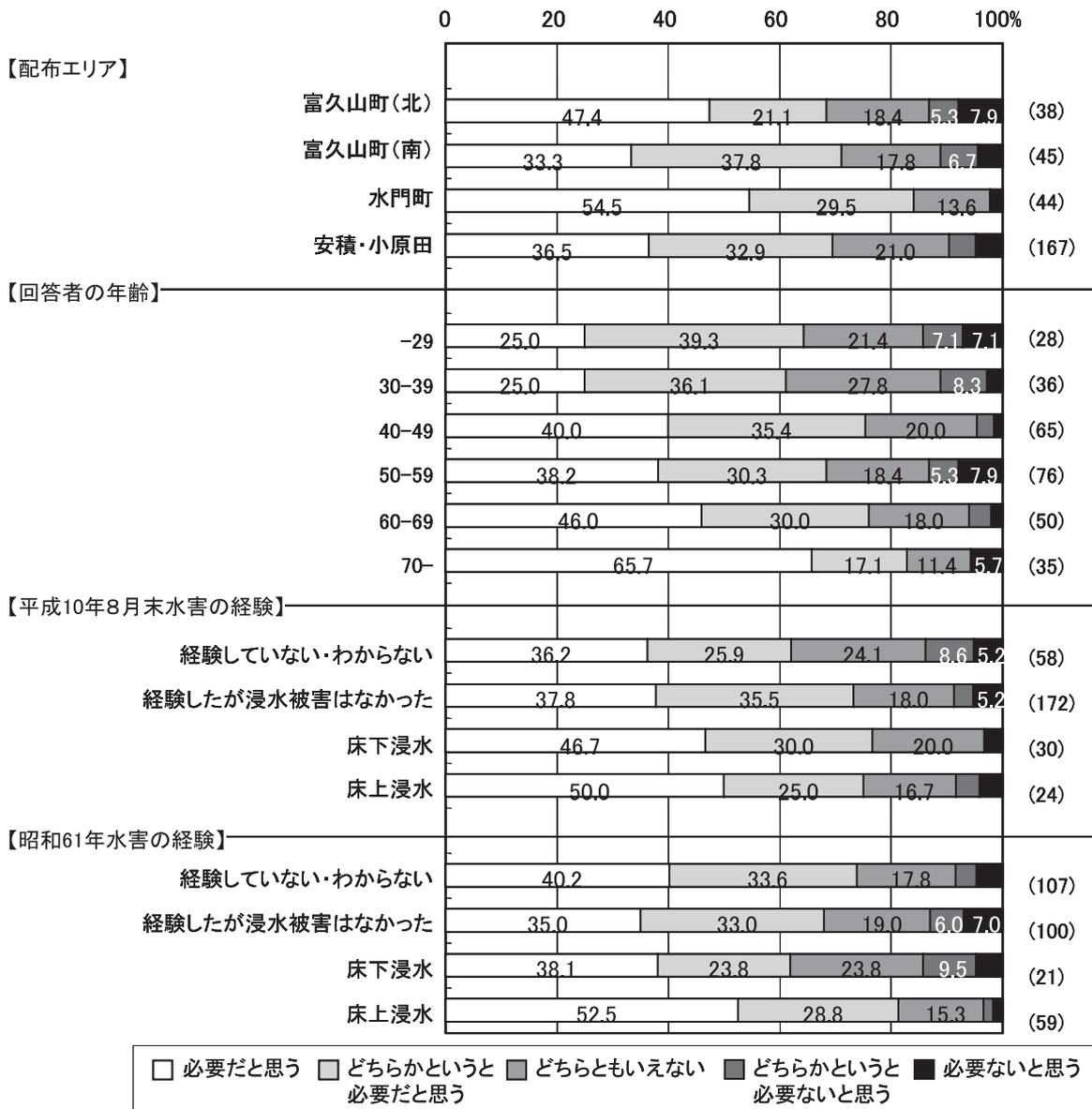
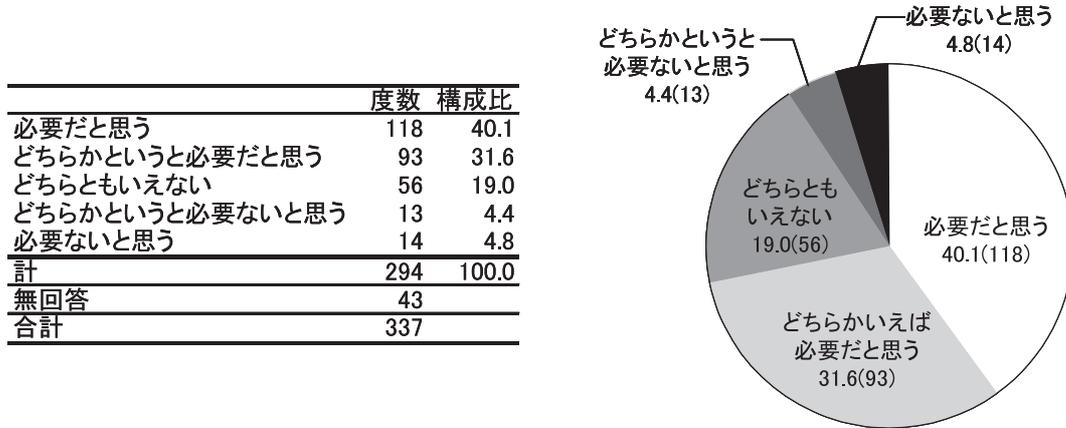


■配布エリア別にみた住民説明会の参加状況



問 24：住民説明会の必要性に関する認識

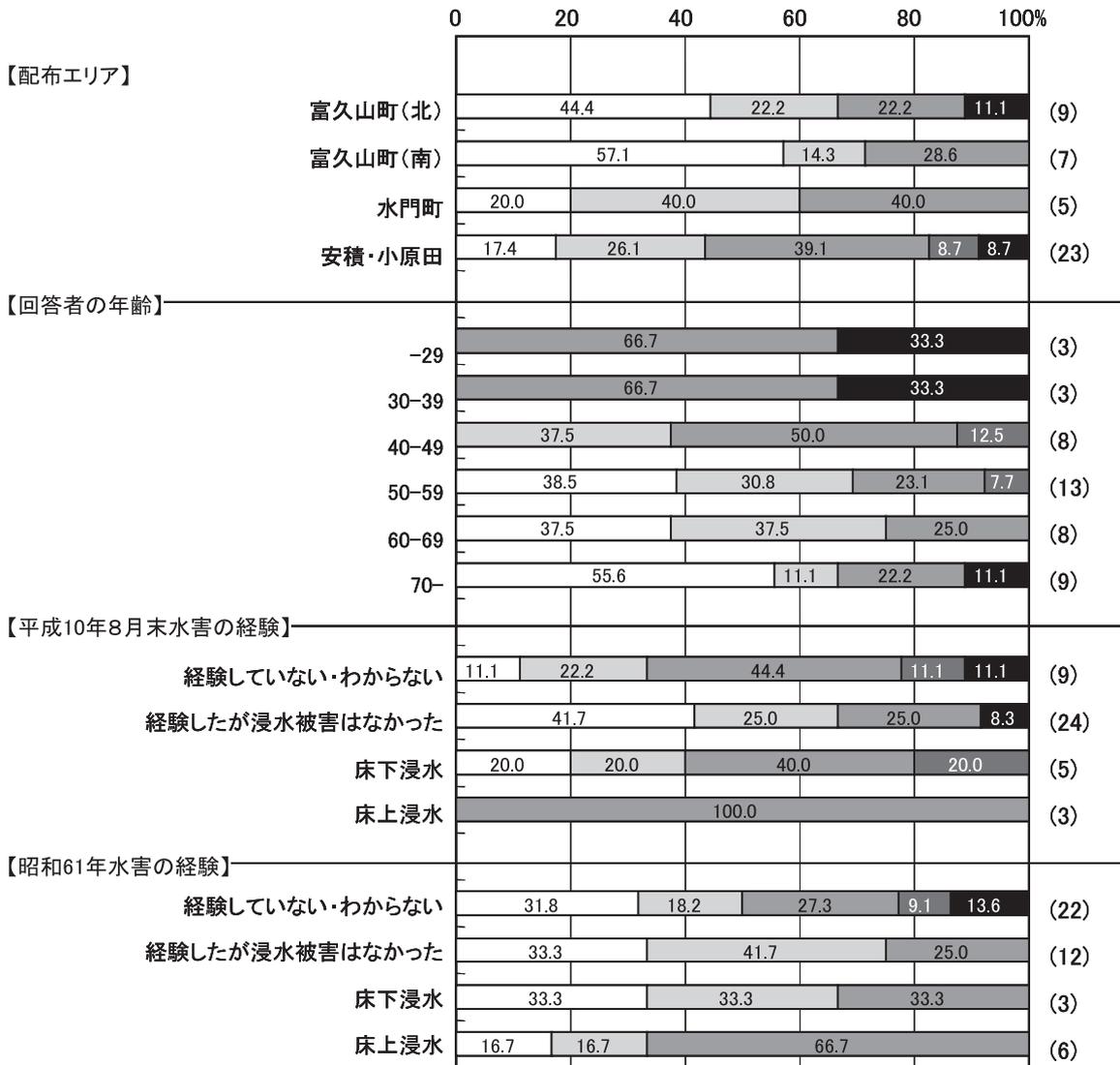
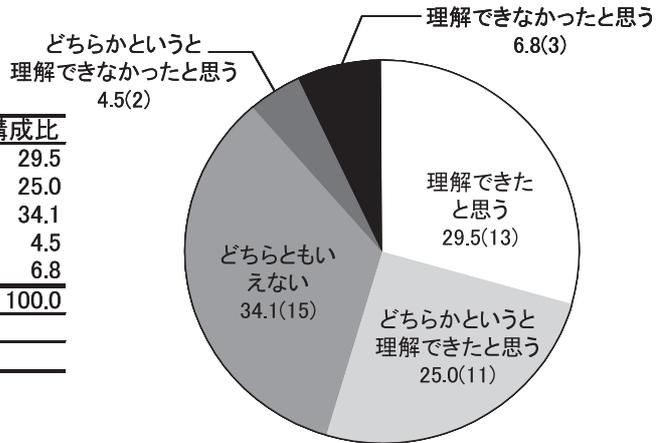
あなたは、改訂版郡山市洪水ハザードマップの住民説明会について、どのようにお考えになりますか。



問25：住民説明会の内容の理解度

住民説明会に参加された方にお聞きします。住民説明会での内容は理解できましたか。

	度数	構成比
理解できたと思う	13	29.5
どちらかという理解できたと思う	11	25.0
どちらともいえない	15	34.1
どちらかという理解できなかったと思う	2	4.5
理解できなかったと思う	3	6.8
計	44	100.0
無回答	293	
合計	337	

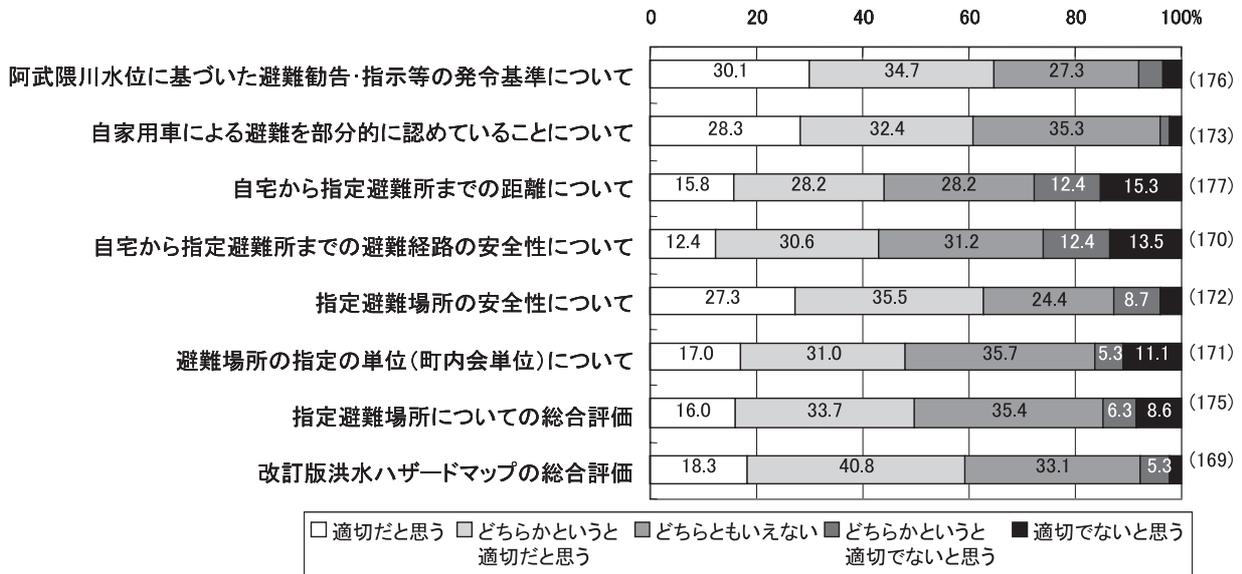


□理解できたと思う □どちらかという理解できたと思う ■どちらともいえない ■どちらかという理解できなかったと思う ■理解できなかったと思う

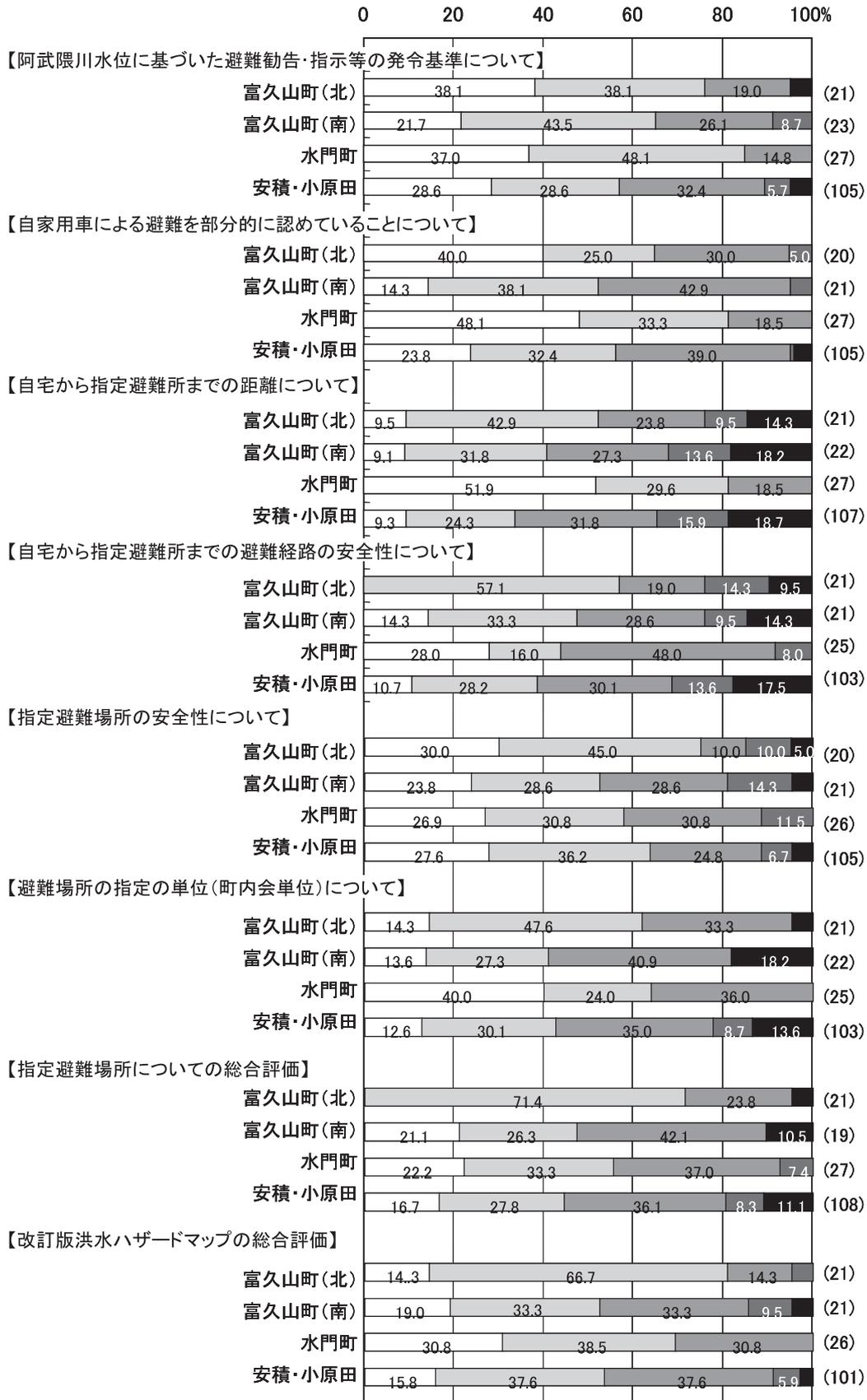
問 26：改訂版洪水ハザードマップの内容の評価

改訂版郡山市洪水ハザードマップをご覧になったことがある方にお聞きします。
改訂版郡山市洪水ハザードマップの記載内容について、このたびの水害の状況等も踏まえて評価するとするならば、あなたはどのように評価しますか。各質問について、最も当てはまると思う数字に○を付けて下さい。

		適切だと思う	どちらかという と適切 だと思う	どちらともい えない	どちらかとい うと適切 でないと思う	適切でない と思う	計	無回答	合計
阿武隈川水位に基づいた避難勧告・指示等の発令基準について	度数	53	61	48	8	6	176	161	337
	構成比(%)	30.1	34.7	27.3	4.5	3.4	100.0		
自家用車による避難を部分的に認めていることについて	度数	49	56	61	3	4	173	164	337
	構成比(%)	28.3	32.4	35.3	1.7	2.3	100.0		
自宅から指定避難所までの距離について	度数	28	50	50	22	27	177	160	337
	構成比(%)	15.8	28.2	28.2	12.4	15.3	100.0		
自宅から指定避難所までの避難経路の安全性について	度数	21	52	53	21	23	170	167	337
	構成比(%)	12.4	30.6	31.2	12.4	13.5	100.0		
指定避難場所の安全性について	度数	47	61	42	15	7	172	165	337
	構成比(%)	27.3	35.5	24.4	8.7	4.1	100.0		
避難場所の指定の単位(町内会単位)について	度数	29	53	61	9	19	171	166	337
	構成比(%)	17.0	31.0	35.7	5.3	11.1	100.0		
指定避難場所についての総合評価	度数	28	59	62	11	15	175	162	337
	構成比(%)	16.0	33.7	35.4	6.3	8.6	100.0		
改訂版洪水ハザードマップの総合評価	度数	31	69	56	9	4	169	168	337
	構成比(%)	18.3	40.8	33.1	5.3	2.4	100.0		



■配布エリア別にみた今回の水害での改訂版洪水ハザードマップの内容の評価

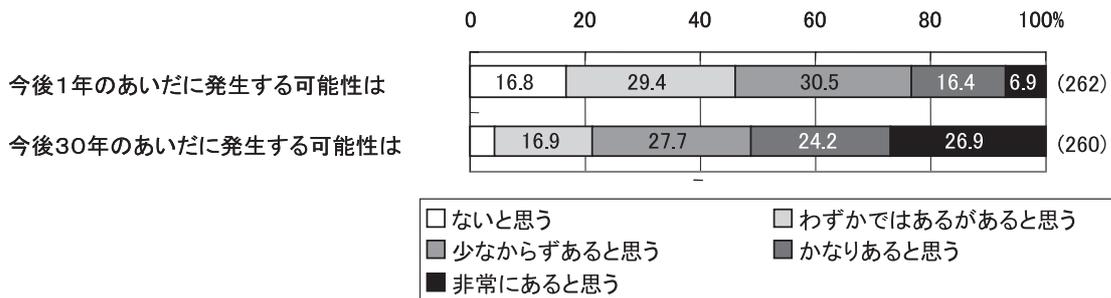


□ 適切だと思う □ どちらかという適切だと思う ■ どちらともいえない ■ どちらかという適切でないと思う ■ 適切でないと思う

問 27：改訂版洪水ハザードマップに示されるような洪水災害の発生可能性意識

あなたのご自宅で、改訂版郡山市洪水ハザードマップに記載されているような浸水被害が実際に発生する可能性は、どの程度あると思いますか。

	ないと思う	わずかではあるが あると思う	少なからずあると思 う	かなりある と思う	非常にあ ると思う	計	無回答	合計
今後1年のあいだに 発生する可能性は	44	77	80	43	18	262	75	337
構成比(%)	16.8	29.4	30.5	16.4	6.9	100.0		
今後30年のあいだ に発生する可能性	11	44	72	63	70	260	77	337
構成比(%)	4.2	16.9	27.7	24.2	26.9	100.0		

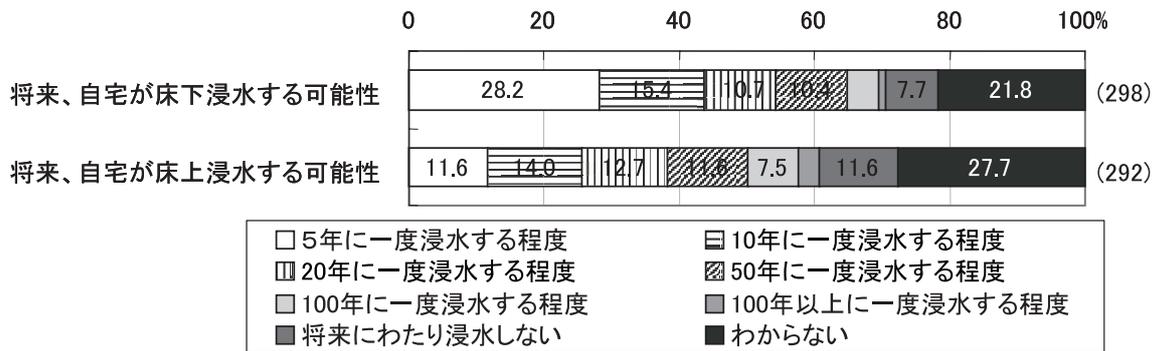


6. 水害に対する考え

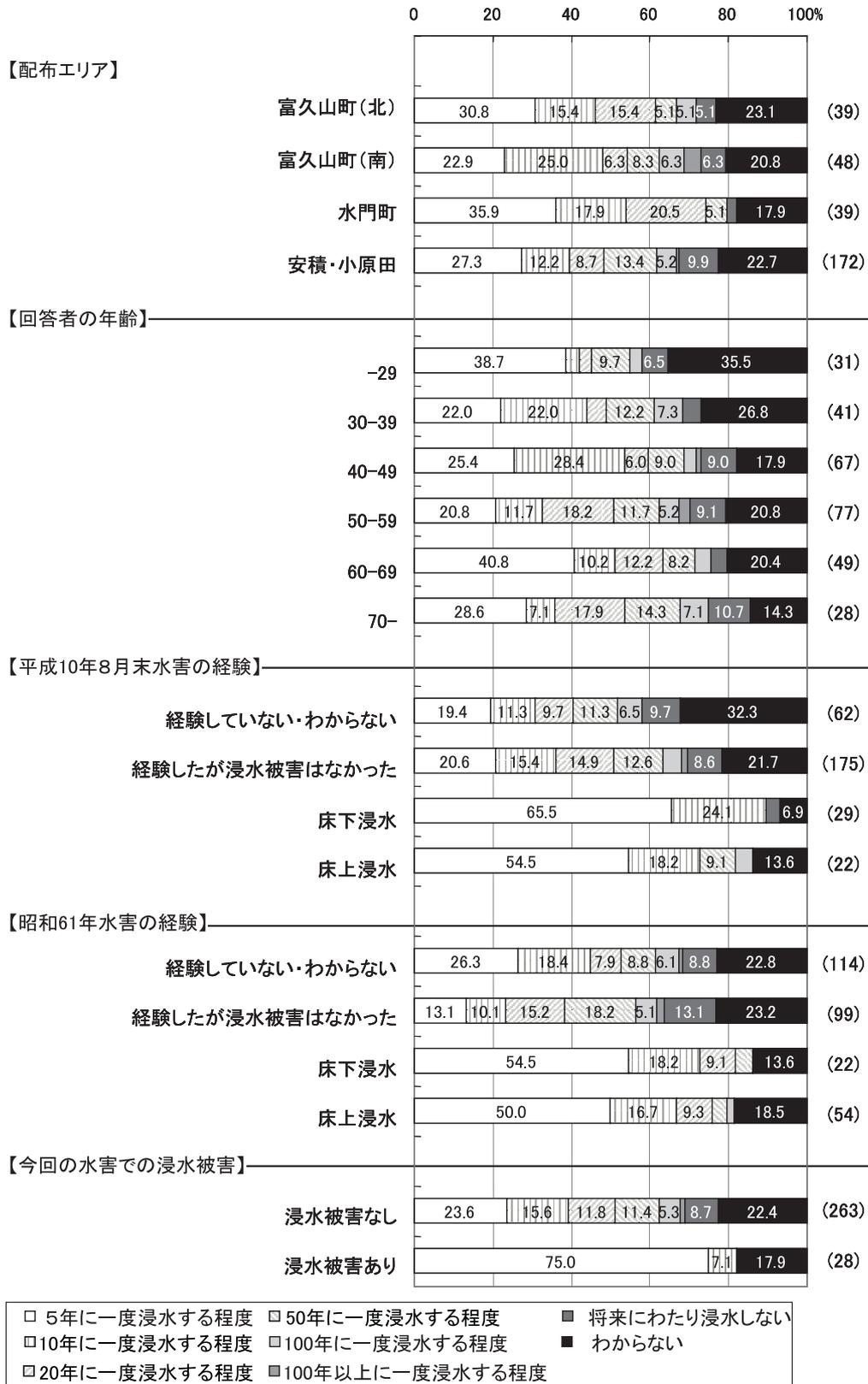
問28：自宅の浸水可能性意識

自宅が将来、浸水する可能性はどのくらいあると思いますか。()に凡例から1つ数字を選んで記入して下さい。

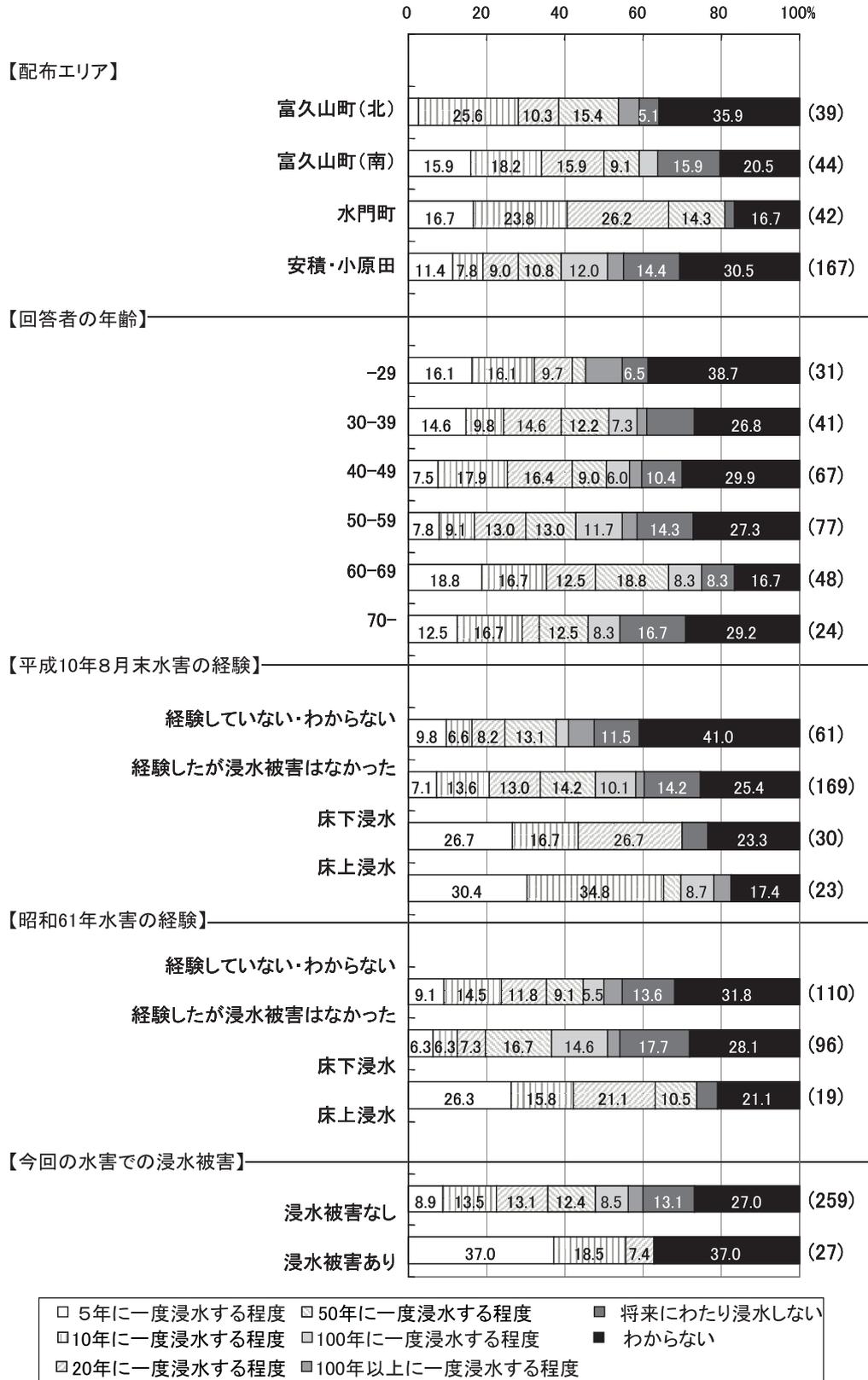
		5年に一度浸水する程度	10年に一度浸水する程度	20年に一度浸水する程度	50年に一度浸水する程度	100年に一度浸水する程度	100年以上に一度浸水する程度	将来にわたり浸水しない	わからない	計	無回答	合計
将来、自宅が床下浸水する可能	度数	84	46	32	31	14	3	23	65	298	39	337
	構成比(%)	28.2	15.4	10.7	10.4	4.7	1.0	7.7	21.8	100.0		
将来、自宅が床上浸水する可能	度数	34	41	37	34	22	9	34	81	292	45	337
	構成比(%)	11.6	14.0	12.7	11.6	7.5	3.1	11.6	27.7	100.0		



■基本属性別にみた、床下浸水の発生頻度に関する認識



■基本属性別にみた、床上浸水の発生頻度に関する認識



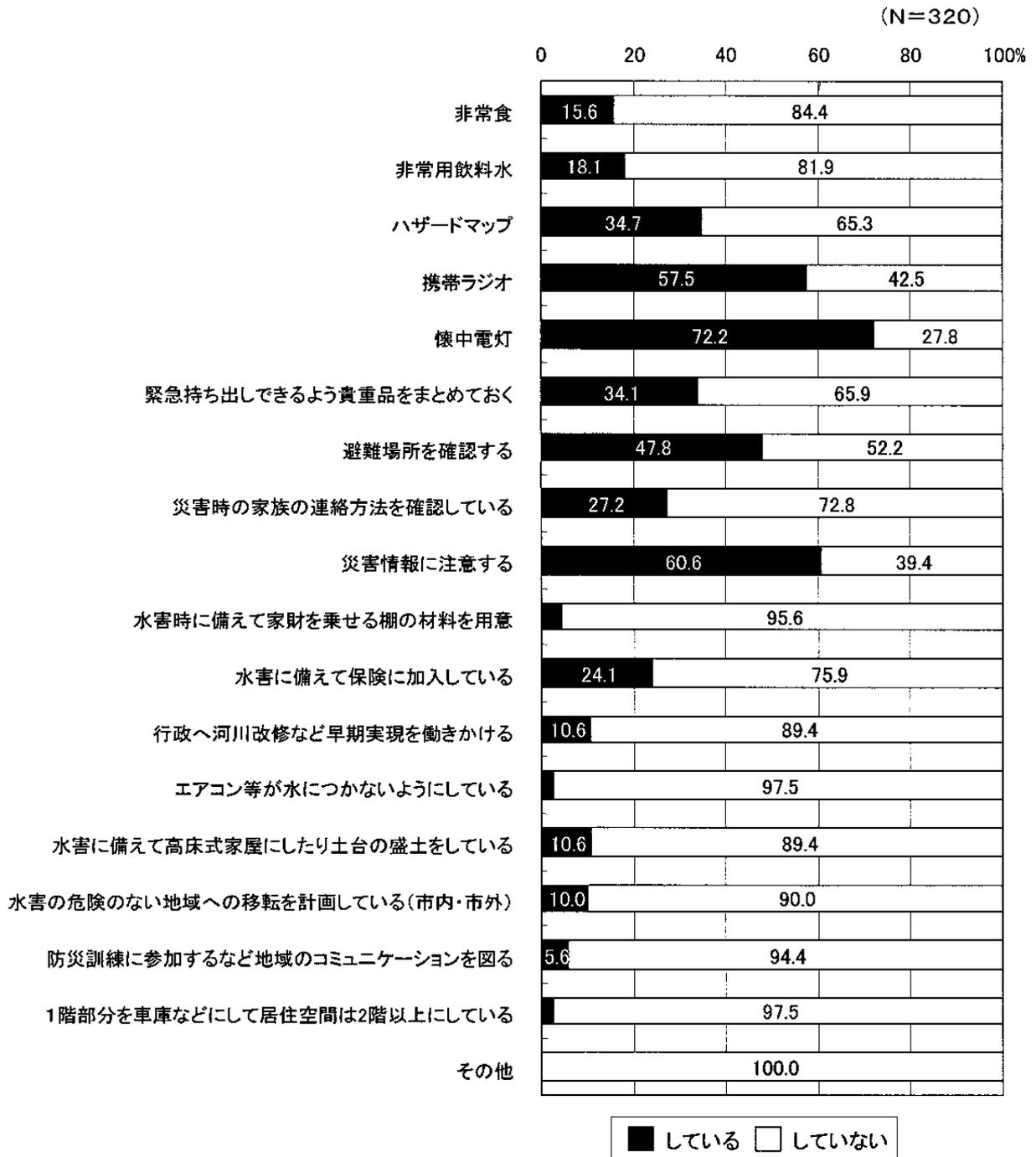
問29：平時の災害に対する備え

あなたの世帯では、現在、水害に対してどのような備えをしていますか？

		していない している 計			無回答	合計
		度数	度数	度数		
非常食	度数	270	50	320	17	337
	構成比(%)	84.4	15.6	100.0		
非常用飲料水	度数	262	58	320	17	337
	構成比(%)	81.9	18.1	100.0		
ハザードマップ	度数	209	111	320	17	337
	構成比(%)	65.3	34.7	100.0		
携帯ラジオ	度数	136	184	320	17	337
	構成比(%)	42.5	57.5	100		
懐中電灯	度数	89	231	320	17	337
	構成比(%)	27.8	72.2	100.0		
緊急持ち出しできるよう貴重 品をまとめておく	度数	211	109	320	17	337
	構成比(%)	65.9	34.1	100.0		
避難場所を確認する	度数	167	153	320	17	337
	構成比(%)	52.2	47.8	100.0		
災害時の家族の連絡方法を 確認している	度数	233	87	320	17	337
	構成比(%)	72.8	27.2	100.0		
災害情報に注意する	度数	126	194	320	17	337
	構成比(%)	39.4	60.6	100.0		
水害時に備えて家財を乗せ る棚の材料を用意	度数	306	14	320	17	337
	構成比(%)	95.6	4.4	100.0		
水害に備えて保険に加入し ている	度数	243	77	320	17	337
	構成比(%)	75.9	24.1	100.0		
行政へ河川改修など早期実 現を働きかける	度数	286	34	320	17	337
	構成比(%)	89.4	10.6	100.0		
エアコン等が水につかないよ うにしている	度数	312	8	320	17	337
	構成比(%)	97.5	2.5	100.0		
水害に備えて高床式家屋に したり土台の盛土をしている	度数	286	34	320	17	337
	構成比(%)	89.4	10.6	100.0		
水害の危険のない地域への 移転を計画している(市内・	度数	288	32	320	17	337
	構成比(%)	90.0	10.0	100.0		
防災訓練に参加するなど地 域のコミュニケーションを図る	度数	302	18	320	17	337
	構成比(%)	94.4	5.6	100.0		
1階部分を車庫などにして居 住空間は2階以上にしている	度数	312	8	320	17	337
	構成比(%)	97.5	2.5	100.0		
その他	度数	320	0	320	17	337
	構成比(%)	100.0	0	100.0		

【「その他」記述回答】

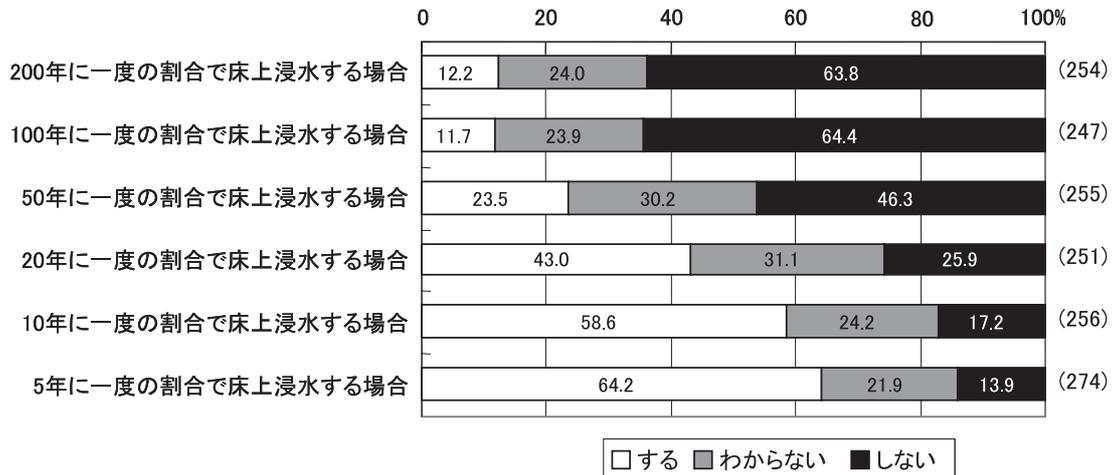
ブロック	No	記述内容
a	16	確かな情報が必要である。
a	20	何もしていない。
a	29	家を建て引っ越しをする計画をしている。
b	30	何もしていない。
b	57	引っ越ししたいけど経済的に無理。
c	8	アパートの3階なので水害に対してはあまり気にしていない。
c	41	アパートに住んでいます。
d	15	なにもしていない。
d	17	車の中にいつでも長靴、かっぱ、コンロなどつんであります。
d	57	二階建てに住む。
d	62	携帯の電池充電機は必ず備えてある。電池も多めに・・・。
d	123	14,15,17,対策として考えたが現実の問題として難しい。
d	161	特にしていない。
d	173	ナシ。



問 30：床上浸水の発生頻度とそれに対する家屋対策実施に関する認識

もし、仮に、「あなたの家が床上浸水する頻度」がわかった場合、あなたは、高床式家屋にしたり土台の盛土をするなど、水害を受けにくい家屋づくりをしたいと思いますか。

		する	わからない	しない	計	無回答	合計
200年に一度の割合で床上浸水する場合	度数	31	61	162	254	83	337
	構成比(%)	12.2	24.0	63.8	100.0		
100年に一度の割合で床上浸水する場合	度数	29	59	159	247	90	337
	構成比(%)	11.7	23.9	64.4	100.0		
50年に一度の割合で床上浸水する場合	度数	60	77	118	255	82	337
	構成比(%)	23.5	30.2	46.3	100.0		
20年に一度の割合で床上浸水する場合	度数	108	78	65	251	86	337
	構成比(%)	43.0	31.1	25.9	100.0		
10年に一度の割合で床上浸水する場合	度数	150	62	44	256	81	337
	構成比(%)	58.6	24.2	17.2	100.0		
5年に一度の割合で床上浸水する場合	度数	176	60	38	274	63	337
	構成比(%)	64.2	21.9	13.9	100.0		

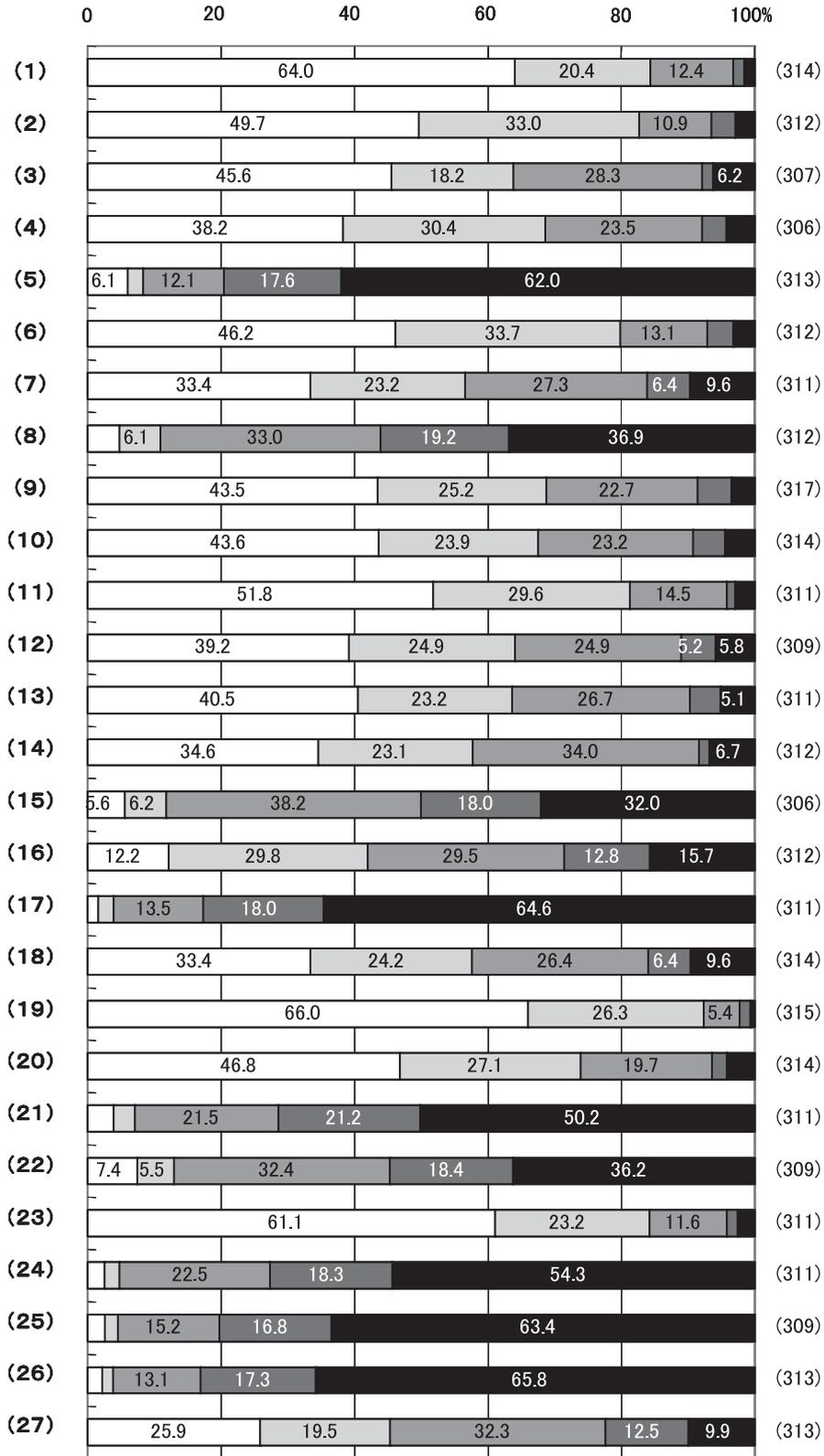


問31：郡山市での水害やその対策に関する意識

郡山市での水害や対策などに関する以下の問いについて、感じたままをお答え下さい。あまり深く考え込まずに、当てはまると思う数字にそれぞれ○を付けて下さい。

		そう 思う	う ど ち ら か と い う	え ど ち ら と も い 	な い う ど ち ら か と い 	そ う 思 わ な い	計	無回答	合計
(1) 地域の安全づくりには住民の参加が必要である	度数	201	64	39	5	5	314	23	337
	構成比(%)	64.0	20.4	12.4	1.6	1.6	100.0		
(2) 堤防ができて、破堤による水害の危険が心配だ	度数	155	103	34	11	9	312	25	337
	構成比(%)	49.7	33.0	10.9	3.5	2.9	100.0		
(3) 大きな浸水が予想される地域では、高床式建物などにする建築規制が必要である	度数	140	56	87	5	19	307	30	337
	構成比(%)	45.6	18.2	28.3	1.6	6.2	100.0		
(4) 様々な水害対策を組合わせて実施すれば、自然環境を改善することもできる	度数	117	93	72	11	13	306	31	337
	構成比(%)	38.2	30.4	23.5	3.6	4.2	100.0		
(5) 水害時に、一般住民の避難が遅れても、お年寄り・身体障害者の方々など、自力で避難が困難な方を優先して救助することは不公平である	度数	19	7	38	55	194	313	24	337
	構成比(%)	6.1	2.2	12.1	17.6	62.0	100.0		
(6) 水害の被害を軽減するためには、行政による堤防などの整備とともに、住民自ら水害に対して防備することが必要である	度数	144	105	41	12	10	312	25	337
	構成比(%)	46.2	33.7	13.1	3.8	3.2	100.0		
(7) たとえ自然が破壊されるとしても治水対策は必要だ	度数	104	72	85	20	30	311	26	337
	構成比(%)	33.4	23.2	27.3	6.4	9.6	100.0		
(8) 堤防ができると、この地域の自然環境は悪くなる	度数	15	19	103	60	115	312	25	337
	構成比(%)	4.8	6.1	33.0	19.2	36.9	100.0		
(9) 費用に関係なく、この地域の洪水対策を進めるべきだ	度数	138	80	72	16	11	317	20	337
	構成比(%)	43.5	25.2	22.7	5.0	3.5	100.0		
(10) この地域での水害を減らすためならどんな対策でもして欲しい	度数	137	75	73	15	14	314	23	337
	構成比(%)	43.6	23.9	23.2	4.8	4.5	100.0		
(11) この地域をさらに開発するためには水害を軽減する計画が必要だ	度数	161	92	45	4	9	311	26	337
	構成比(%)	51.8	29.6	14.5	1.3	2.9	100.0		
(12) 大きな浸水被害が予想される地区は、住宅地として利用しない方がよい	度数	121	77	77	16	18	309	28	337
	構成比(%)	39.2	24.9	24.9	5.2	5.8	100.0		
(13) 水害に対して危険な場所の宅地開発などが水害の被害を大きくしている	度数	126	72	83	14	16	311	26	337
	構成比(%)	40.5	23.2	26.7	4.5	5.1	100.0		
(14) 近年、阿武隈川の洪水の出方が変わってきた	度数	108	72	106	5	21	312	25	337
	構成比(%)	34.6	23.1	34.0	1.6	6.7	100.0		
(15) 行政が浸水被害の大部分を補填する災害給付金のような制度をつくることは不公平だ	度数	17	19	117	55	98	306	31	337
	構成比(%)	5.6	6.2	38.2	18.0	32.0	100.0		
(16) 堤防のおかげで洪水氾濫の危険は解消されてきた	度数	38	93	92	40	49	312	25	337
	構成比(%)	12.2	29.8	29.5	12.8	15.7	100.0		
(17) 過去の洪水は運悪く発生したもので、再び起こることはないだろう	度数	5	7	42	56	201	311	26	337
	構成比(%)	1.6	2.3	13.5	18.0	64.6	100.0		
(18) この地域の水害は、気候の変化により増大傾向にある	度数	105	76	83	20	30	314	23	337
	構成比(%)	33.4	24.2	26.4	6.4	9.6	100.0		
(19) 水害に対する土地の危険情報を住民へ十分伝えることが必要である	度数	208	83	17	5	2	315	22	337
	構成比(%)	66.0	26.3	5.4	1.6	0.6	100.0		
(20) 特に大きな浸水深が予想される地域では、土地利用の規制もむを得ない	度数	147	85	62	7	13	314	23	337
	構成比(%)	46.8	27.1	19.7	2.2	4.1	100.0		
(21) 水害危険地域を水害から守るために、税金で平成の大改修を行ったのは不公平である	度数	12	10	67	66	156	311	26	337
	構成比(%)	3.9	3.2	21.5	21.2	50.2	100.0		
(22) 堤防など構造物による対策よりも、洪水警報などの情報提供の方が望ましい	度数	23	17	100	57	112	309	28	337
	構成比(%)	7.4	5.5	32.4	18.4	36.2	100.0		
(23) もし、堤防や河川構造物が適切に管理されていなければ水害が起こるだろう	度数	190	72	36	5	8	311	26	337
	構成比(%)	61.1	23.2	11.6	1.6	2.6	100.0		
(24) 治水施設の建設は自然を破壊するから、ある程度の水害を我慢してもよい	度数	8	7	70	57	169	311	26	337
	構成比(%)	2.6	2.3	22.5	18.3	54.3	100.0		
(25) 今は治水工事によって洪水が制御されているので、水害は2度と発生しない	度数	8	6	47	52	196	309	28	337
	構成比(%)	2.6	1.9	15.2	16.8	63.4	100.0		
(26) 自然が最終的には勝つので、洪水対策にお金をつかうことは無駄だ	度数	7	5	41	54	206	313	24	337
	構成比(%)	2.2	1.6	13.1	17.3	65.8	100.0		
(27) 阿武隈川流域の開発の進展により、この地域の水害の危険性は増大傾向にある	度数	81	61	101	39	31	313	24	337
	構成比(%)	25.9	19.5	32.3	12.5	9.9	100.0		

2002年7月郡山市における水害のアンケート調査報告書

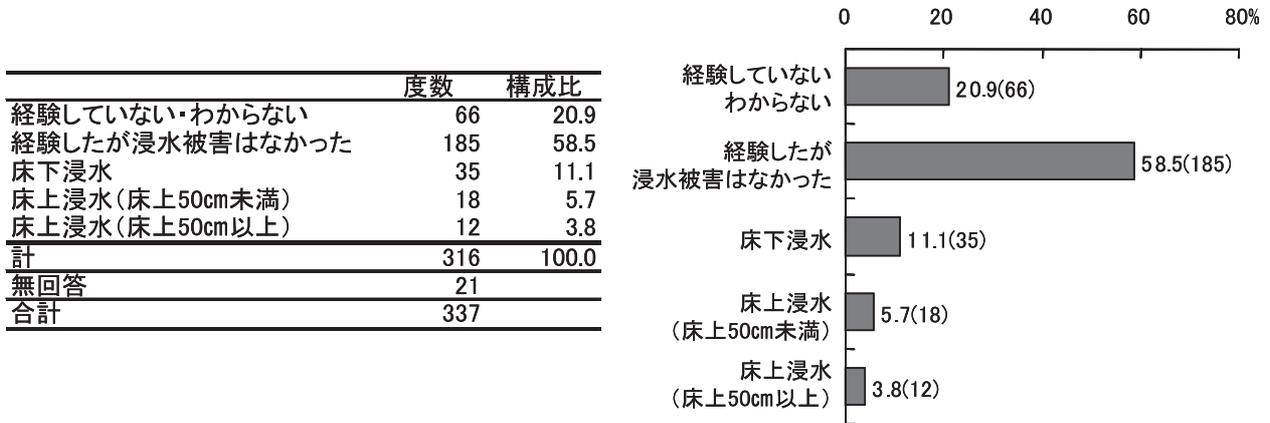


□ そう思う □ どちらかというと思う ■ どちらともいえない ■ どちらかというと思わない ■ そう思わない

7. 過去の被害経験

問32：平成10年8月末水害の経験

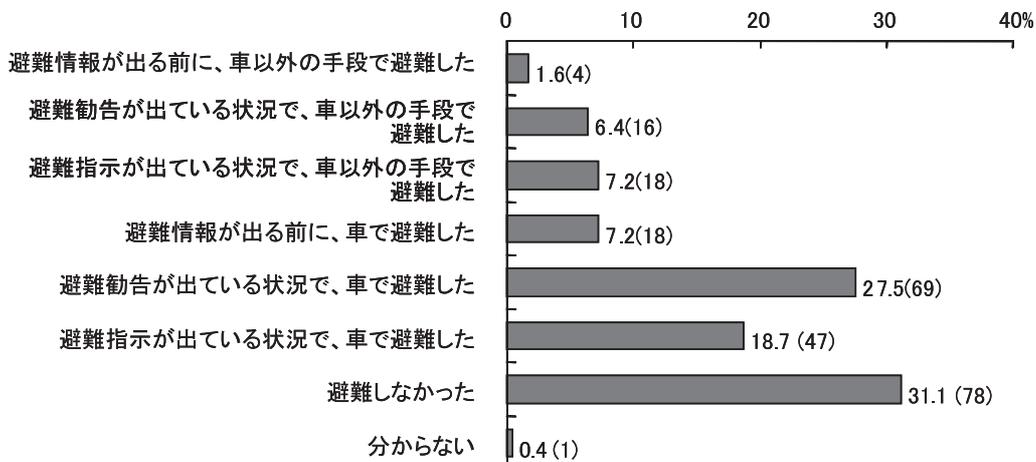
平成10年8月末には、郡山市内の各地域に避難勧告や避難指示が発令される水害が発生しました。あなたは、この水害を経験しましたか。経験した場合は、当時のご自宅の浸水被害や避難の有無についてもあわせてお答え下さい。



問33：平成10年8月末水害時の避難

以下の選択肢から、平成10年8月末の水害のときの、あなたの世帯での避難について、最も近いものを1つ選んでください。

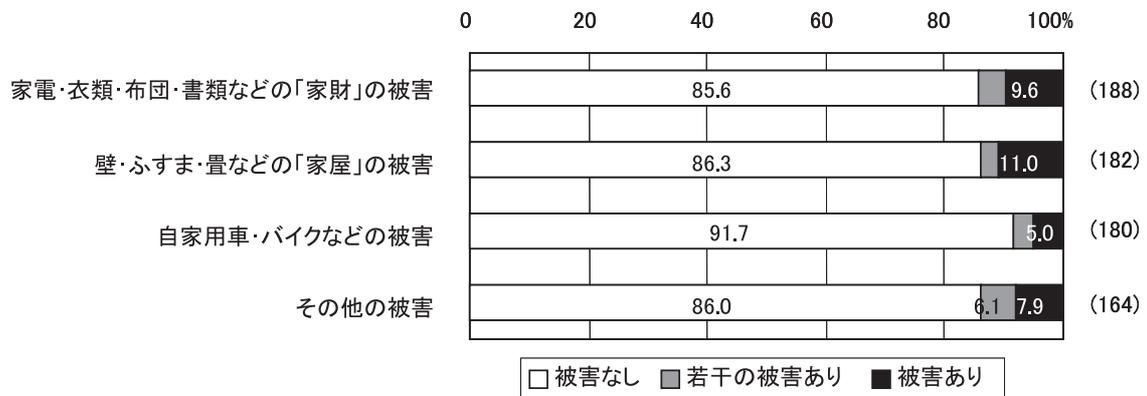
	度数	構成比
避難情報が出る前に、車以外の手段で避難した	4	1.6
避難勧告が出ている状況で、車以外の手段で避難した	16	6.4
避難指示が出ている状況で、車以外の手段で避難した	18	7.2
避難情報が出る前に、車で避難した	18	7.2
避難勧告が出ている状況で、車で避難した	69	27.5
避難指示が出ている状況で、車で避難した	47	18.7
避難しなかった	78	31.1
分からない	1	0.4
計	251	100.0
非該当	65	
無回答	21	
合計	337	



問 34：平成10年8月末水害での家屋・家財被害

平成10年8月末の水害のとき、あなたの世帯では、どのような被害がありましたか。被害があった方は、ご記憶の範囲内で、その被害程度や被害額についてもお答え下さい。(被害額とは、被害物を補修・買替え等のために支払った金額(ローン等の予定も含む)です。)

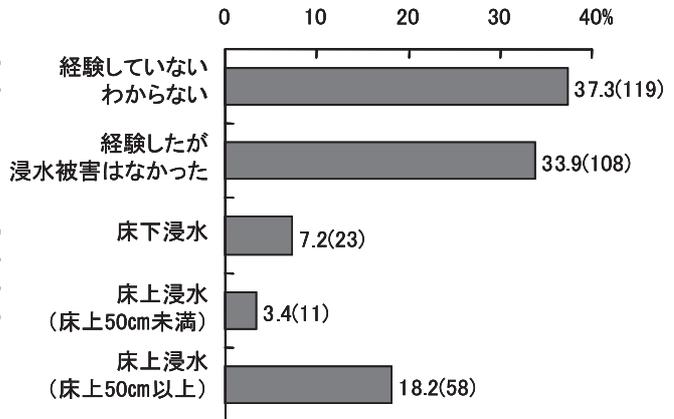
	被害なし	若干の被害あり	被害あり	計	非該当	無回答	合計
家電・衣類・布団・書類などの「家財」の被害	度数 161	9	18	188	65	84	337
	構成比(%) 85.6	4.8	9.6	100.0			
壁・ふすま・畳などの「家屋」の被害	度数 157	5	20	182	65	90	337
	構成比(%) 86.3	2.7	11.0	100.0			
自家用車・バイクなどの被害	度数 165	6	9	180	65	92	337
	構成比(%) 91.7	3.3	5.0	100.0			
その他の被害	度数 141	10	13	164	65	108	337
	構成比(%) 86.0	6.1	7.9	100.0			



問35：昭和61年水害の経験・避難

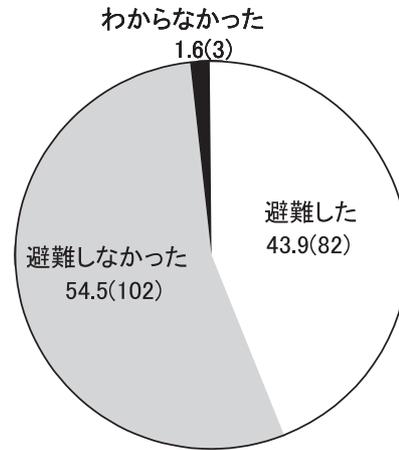
郡山市では、昭和61年にも水害がありました。あなたはこの水害を経験しましたか。経験した場合は、当時のご自宅の浸水被害についてもあわせてお答え下さい。

	度数	構成比
経験していない・わからない	119	37.3
経験したが浸水被害はなかった	108	33.9
床下浸水	23	7.2
床上浸水(床上50cm未満)	11	3.4
床上浸水(床上50cm以上)	58	18.2
計	319	100.0
無回答	18	
合計	337	



【そのときの避難行動について】

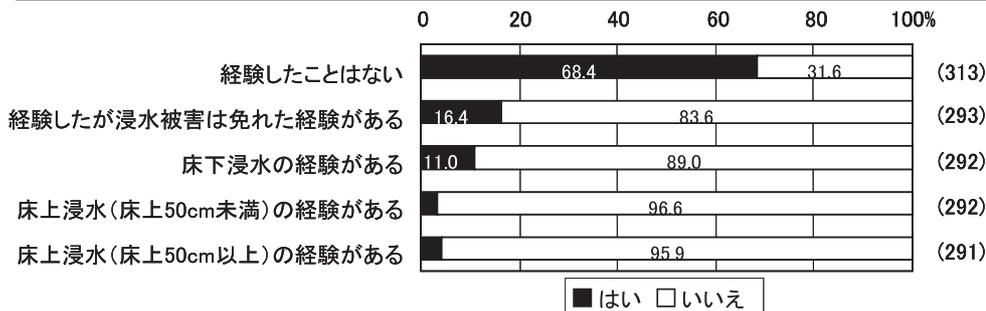
	度数	構成比
避難した	82	43.9
避難しなかった	102	54.5
わからなかった	3	1.6
計	187	100.0
非該当	119	
無回答	31	
合計	337	



問36：その他水害経験

そのほかにも、水害を経験したことがありますか。

		はい	いいえ	計	無回答	合計
		度数	構成比(%)	度数		
経験したことはない	度数	214	99	313	24	337
	構成比(%)	68.4	31.6	100.0		
経験したが浸水被害は免れた経験がある	度数	48	245	293	44	337
	構成比(%)	16.4	83.6	100.0		
床下浸水の経験がある	度数	32	260	292	45	337
	構成比(%)	11.0	89.0	100.0		
床上浸水(床上50cm未満)の経験がある	度数	10	282	292	45	337
	構成比(%)	3.4	96.6	100.0		
床上浸水(床上50cm以上)の経験がある	度数	12	279	291	46	337
	構成比(%)	4.1	95.9	100.0		

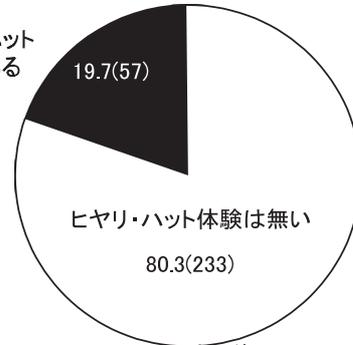


問 37・38：ヒヤリ・ハット体験の有無

あなた（もしくはご家族）がご体験された水害経験全般についてお聞きします。このうち、「危なかったけれども、なんとか怪我をせずに済んだ」というような体験（このような体験のことを”ヒヤリ・ハット体験”と言います）はお持ちでしょうか。

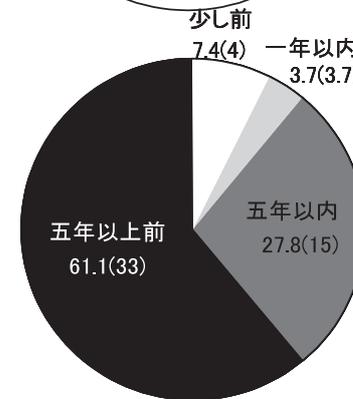
	度数	構成比
ヒヤリ・ハット体験は無い	233	80.3
ヒヤリ・ハット体験がある	57	19.7
計	290	100.0
無回答	47	
合計	337	

ヒヤリ・ハット体験がある



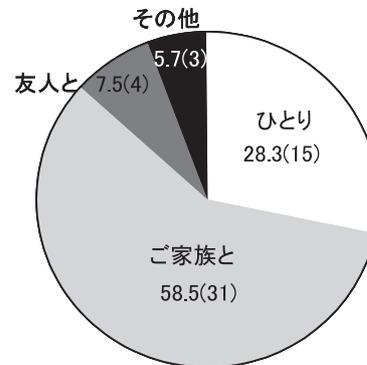
【いつごろの体験ですか？】

	度数	構成比
少し前	4	7.4
一年以内	2	3.7
五年以内	15	27.8
五年以上前	33	61.1
計	54	100.0
非該当	233	
無回答	50	
合計	337	



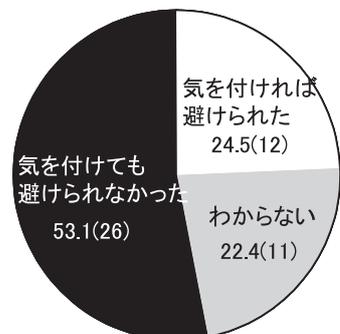
【そのとき誰と一緒にいたか？】

	度数	構成比
ひとり	15	28.3
ご家族と	31	58.5
友人と	4	7.5
その他	3	5.7
計	53	100.0
非該当	233	
無回答	51	
合計	337	



【このような状況はさげられたとおもいますか？】

	度数	構成比
気を付ければ避けられた	12	24.5
わからない	11	22.4
気を付けても避けられなかった	26	53.1
計	49	100.0
非該当	233	
無回答	55	
合計	337	



ブロック	No	体験	いつ	誰と	状況	なぜ	避けられた?
a	4	床上浸水(床上50cm以上)。	五年以上前	ご家族と	ポートで避難の手伝いをしたと聞いています。	川より平地が近かったため。	気を付けても避けられなかった
a	5	車の水没。	少し前	ひとり			わからない
a	9	逢瀬川とあぶくま川の決壊した時傘をつえにして避難しました。30分くらい遅れていたら流され死んでいたかもしれません。小屋の屋根の上から水がツナミのようにおしよせてきました。食品団地で働いておりました。社内は2m以上トラックも流れた。	回答なし	友人と	田、畑、道路、全部水でわからなくなりました。空は晴れていました。午後の3時頃だったと思います。	一気に水を流したからだと思います。聞くところによるとこの上流でダムの水を流したと聞きました。名前は忘れしました。	気を付けても避けられなかった
a	33	平成10年8月の時。まだ独身だったため、実家(本宮)に居住。職場は郡山駅前。通勤列車が洪水のため1カ月近く運休してタクシーやバスで通勤。費用は実費。S61の時は床上浸水。	五年以内	ご家族と			気を付けても避けられなかった
a	34	S16年、早朝3時に非常サイレンで飛び起きる。朝6時、浸水始まる。膝まで水に浸かり、日東紡教室二階に避難。	五年以上前	ご家族と	避難場所まで、約200m、水位が上がってきた。		気を付けても避けられなかった
a	35	この度の避難の時、近所の方々も避難したので早朝4:30に家を出た時には、見る見る中に長ぐつがもぐる位。行健小までは東北線を横切らなければならぬので高い方の国道288号線から旧国道に入るコース、公民館の脇道がすごい水で長ぐつを抜いでハダシに、そして小さな側溝へ落ち、ズボンその他ぬらす。ひざを、足の裏にキズ。私、たった一人、車だけは時折走っていた。	回答なし	ひとり	上記に記す。	前の方にも述べましたが、逢瀬川をせき止めるために水の足が速いのです。勧告を早く出して欲しい。	気を付ければ避けられた
a	37	台風の時、海に近かったので過去2~3度経験あり。平屋だったのであとの始末が大変だった。	五年以上前	ご家族と			気を付けても避けられなかった
b	1	61年8月の水害の時、堤防が切れる30分くらい前まで家にいたが避難したので家は1階全部水が入りましたが命は助かった!	五年以上前	ご家族と	上記の通りです。	堤防の強度が弱いと思う	気を付けても避けられなかった
b	2	浸水による家屋の被害を少なくしようと、水のかき出し作業を行った。	五年以内	ご家族と	堀の水があふれ、家の中まで水が入り、壁の間や、出入り口から水が入って、電機、トイレ等が使えなくなった。	低い土地で、雨が続いて、内水害を行したと思う。	わからない
b	8	内水の増水となったが、堤防も決壊し、家に取り残された。(母一人だけ)	五年以上前	ひとり	今まで何十年も堤防決壊など無く、まさかそんな状況になるとは、考えていなかった。あつというまに回りは水であふれた。	決壊するわけがないという過信があった。	気を付けても避けられなかった
b	11	水害があった近所の家へ、手伝いに行ったとき、道路と水路(側溝)の境界が水浸しでわからず、側溝にはまり、ふらついて、手をついたら、ガラスがあつて、手を切ってしまった。	五年以内	友人と	すぐに自宅に戻り、手当てした。	水路(側溝)にふたがしていなかったから。	気を付けても避けられなかった

2002年7月郡山市における水害のアンケート調査報告書

ブロック	No	体験	いつ	誰と	状況	なぜ	避けられた？
b	14	短時間のうちにものすごい雷雨があり、外出先から急いで帰宅するとアパートのベランダが「川」と化しており、あと3、4cmで家中水びたしになるところだった。	少し前	ご家族と	車を高いところへ移動させ、夫婦二人でバケツと洗面器でベランダの水をかきだした。	水が流れるところが、排水溝(直径約10cm)一ヶ所しかないからだと思う。	気を付けても避けられなかった
b	27	61年の水害では1階の天井まで浸水して堤防決壊のため避難の指示がなく、急激な増水で逃げ場を失い、屋根の上において、自衛隊のボートが救助する順番を不安な気持ちで待っていた。	五年以上前	ご家族と	台風と雨が一過してホッとしたところだったので、何がおこったのかサッパリわからなかった。文字通り着の身着のまま裸足のままでの避難でとてもみじめな姿だった。	思うことが多くこのスペースには書ききれない。	気を付けても避けられなかった
b	35	昭和61年の水害時、会社が床上浸水し、逃げられなくなり、屋根の上からボートにて救助された。	五年以上前	その他	水位も非常に高く、身動きがとれない状態だった。車も浸水し、動かなくなった。	1. 谷田川の中州に砂がたまり、川の流れ、水量に支障があると思う。 2. 谷田川の土手の高	気を付けても避けられなかった
b	52	61年の水害では午後だったので助かりましたがもし夜就寝中であつたら今こうして居られなかったと思う。	回答なし	ひとり	平成10等の内水による災害は家の周りの水が増してきたので排水の状況を見に行き自宅へは近付けられない状態で何一つ持ち出しできなかった		回答なし
b	57	昭和61年、堤防決壊して、濁流の中、危うく避難した。電柱などの流木にぶつかりそうになった。	五年以上前	ご家族と	床上150cm、ほとんど1回の家財が浸水し全んど捨てた。	堤防決壊、誰も堤防が決壊するとは思えなかったものでとてもがっかりだった。今は当たり前に危ない大雨が増えてきた。	気を付けても避けられなかった
c	7	勤務先から自宅へ帰るのに各道路が浸水し車が動けなくなり、自宅へ徒歩で。	五年以上前	ひとり	通行止めが多く迂回する道路はなかった。	大雨による対策が遅れていたと思う。	気を付けても避けられなかった
c	10	今はないが、家の道をはさんで向かいに長屋があり、平屋の人がうちに逃げてきた。もう腰まで水に浸かっていた(昭和61年水害時)。	五年以上前	ご家族と		もっと平屋の人たちに徹底した避難勧告をしてほしい。おかげでうちは家族総出で人助けのため、ボート(うきわ)を車庫からなげたりして、自分の家のものは何も2階に上げられなかった。	気を付ければ避けられた
c	11	浸水の危険があるので家族全員で旧市内に避難した。	五年以上前	ご家族と	幼少だったのでよくおぼえていないが、恐ろしい感じは持っていた。	短時間に大雨が降ったこと。当時治水でよくなったこと(当時は郡山市ではなかった)。	気を付けても避けられなかった
c	17	町内役員で避難が遅れて、腰まで水に浸かった。	五年以上前	ご家族と	床上2mまで来て、自宅が平屋だったので向かいの2階に逃げた。	避難命令がうやむやいだった。	わからない
c	28	S61. 8. 5の水害時に2m30cm浸水した。	五年以上前	ご家族と	朝8時15分頃(出勤時)から浸水し、翌日正午まで浸水する。	谷田川堤防が決壊したため。	わからない
c	33	昭和61年8. 5の水害でした。現在の水門町ローソンのところで胸までつかった鉄砲水に流されそうになった時。	五年以上前	ひとり	自転車で自分の家まで行った帰りに、自転車と一緒に流されそうになった。	行く時はまだ水がなかったが帰りに急に水が出た。	気を付けても避けられなかった
c	35	屋根まで浸水したので屋根に登って歩いたので足が滑ったとき。	五年以上前	ひとり			回答なし

ブロック	No	体験	いつ	誰と	状況	なぜ	避けられた?
d	1	主人が身体障害者なので車椅子の生活で、孤立した家、周囲が水。家から避難する事は出来ずボートで救急車まで送ってもらいましたが、このボートが転覆したらどうしようと気が気なかった。	五年以内	ご家族と			回答なし
d	17	街から流れて来る下水が道路を川と becoming みるみるうちにとんぼ口まで上がり、どうしようかと思った。そして消防署へTELしてきてもらった。土のうもつんだことがあり大雨ふるたびにハラハラドキドキです。	五年以内	ひとり	ちょうど休みで私が一人で留守番をしていて大雨になり多分水門がしまったので逆流してもどり街からの雨がどんどん流れ込んで下水からも道路からも雨が流れ込んで来ておそろしかったのを今でも覚えています。	季節のための大雨だったと思います。多分5月頃入雨の前。	気を付けても避けられなかった
d	21	借家ですが家の周りが少し段になっていて高いのであまり心配しなかった。	五年以内	ひとり			気を付ければ避けられた
d	34	昭和61年水害は初めてのため、仕事をしていました。平成10年は2回繰り返したので6日会社を休み家財を動かした。4回経験の中、1回ごと、なれてきたことで水害の怖さが増大。水門が閉められると、間もなく、水量が上がって道路へ。近所を回り声掛けて自分のことは後回ししていた。	回答なし	回答なし			回答なし
d	47	川の様子を見に行き、帰ってすぐその堤防が決壊した(深川町 広瀬川)。	五年以上前	ひとり	阿武隈川の水位が上がり、支流の広瀬側の水位が急激に上がった。	町や畑が心配だったため。	わからない
d	50	避難する際に近くの道路が全て冠水し(水深50~80cmくらい)、川と道路の境川からず、加えて道路が川となり流れが速く6才と10才の子連れだったので流されそうになってしまった。	五年以上前	ご家族と	どこをどう通れば安全なのか、避難通路がわからなかった。	消防署員等の誘導がなかったから。	気を付ければ避けられた
d	58	側溝にすいこまれそうになった。	一年以内	ご家族と	鉄ぼう水でした。	県道の側溝の工事不良だと思う。	気を付ければ避けられた
d	64	庭先まで水が来て床上になるかと思いきや、まもなく水が引きました。	五年以上前	ご家族と	もっと広い土地の方で浸水していた。	洪水で川の水位が高く下水の水はけが悪く、広い土地の方なので。	気を付ければ避けられた
d	67	岐阜県安八災害。	五年以上前	その他	軒下浸水。	堤防が決壊、しかし、反対側(市街地)に切られたら、被害は甚大であったことは想像に難くない。	気を付けても避けられなかった
d	73	水が道路上にどんどん増えているので危険を感じた	一年以内	ご家族と	直ちにその場を離れました。	危険を感じたので。	気を付けても避けられなかった
d	77	便所の汲み取り口に近かった。	五年以上前	回答なし			回答なし
d	87	大雨の中、傘をさし子供を抱き荷物をもって歩くので、足下に注意できず転んだことがある。その場合、前進がぬれてしまうので最悪。	五年以内	ご家族と	H10年3月末の洪水時で、日中に避難したが、水はすべてを平らにするので、地面の凸凹がわからずつまづいた。	そもそもは洪水が原因ではあるが、足下に注意しなかったのは自分の注意不足。	気を付ければ避けられた
d	101	避難勧告が出て車で移動しようとしたら車が浮いてしまってハンドルがきかずニュートラルにして手で押して高台まで上げた。	五年以上前	回答なし	あっという間に水が溢れた感じでした。	堤防の整備が十分でないから。	気を付けても避けられなかった
d	109	堤防決壊する恐れがあると広報されたとき。	五年以内	ご家族と	初めての経験だったの家族全員恐ろしく感じた。	異常気象なので仕方ない。	気を付けても避けられなかった

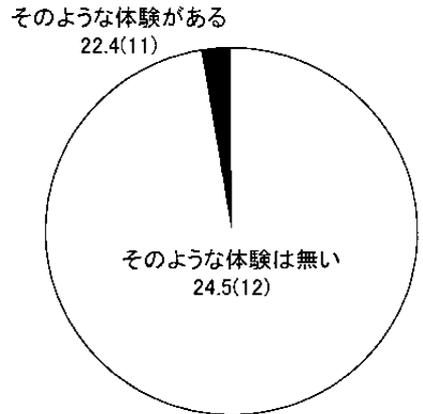
2002年7月郡山市における水害のアンケート調査報告書

ブロック	No	体験	いつ	誰と	状況	なぜ	避けられた？
d	113	誰も家にいなかったら大災害になっていたであろう。畳その他を、高台を用意し片づけたのでよかった。	五年以内	ご家族と	床下浸水になっていて、これ以上水はあがってくると思った。	阿武隈川の支水が、阿武隈川が止められてしまい増水してくる。	わからない
d	114	子供が道路の冠水で堀が見えなくて落ちそうになった。	五年以上前	ご家族と			気を付ければ避けられた
d	116	道路に水がたまり車のエンジンへ水が入りそうになった。	五年以内	ひとり	前の車がゆっくり徐行をしていたため一気に抜けられなかった。	水はけの悪さ、下水道等排水設備が整っていない。	気を付ければ避けられた
d	125	平成10年の水害堤防が氾濫しそうだった。	五年以内	ご家族と	水流で堤防が削られた。	コンクリートで保護されていなかったから	気を付けても避けられなかった
d	137	雨が止んでいるのに水位が上がっているとき。	五年以上前	ご家族と			気を付けても避けられなかった
d	138	長崎の大水害で川沿いの家にいましたが家ごと流されるかとこわい思いをしました。	五年以上前	友人と	川がゴーゴーと流れ、車、洗濯機、木材などが流れて行きました。	開発によるものが多いと思う。	気を付けても避けられなかった
d	142	隣家のポンベ類が流れているので倒れそうになってしまっておいた。	少し前	ひとり			わからない
d	143	暗い時間の避難(AM3:30)のため、段差とか側溝に気付かずころんだ。	少し前	ひとり	平成の大改修後のため、今回は内水災害はないと思い、家族全員熟睡してしまっていたため避難警告がでてあわてていた。	避難勧告の時間が遅かったため暗かったため。	気を付ければ避けられた
d	146	側溝のタメ柵に転落。	五年以上前	ひとり	側溝のタメ柵にベニヤ板がかぶせてあった(避難所)。		わからない
d	148	S61年8、5、本宮町千代田で事務所床上50cm。	五年以上前	その他	内水による床上浸水。	阿武隈川本線の増水で支流が流れない。	気を付けても避けられなかった
d	158	宅地内に浸水し、地盤がゆるんでいた。	五年以内	ご家族と	避難困難。	地盤の整備がなされていなかった。	回答なし
d	163	阿武隈川西側の工業団地内に友人の勤務先が有り、車で送って行く時目的地へ行く為の道路が全て冠水した状態ではあったが往復とも車が動かなくなるのではないのかとヒヤヒヤした思いで、もう二度と体験したくないと思った。	五年以内	友人と	車でその道路を使い工業団地へ向かう車は全くないほど水があり、道路と云うよりも川の中を走行しているような状態だった。	①何とかして友人を勤務地へ送り届けようと無理をした。 ②進入禁止する案内等何もなかった。	回答なし
d	177	昭和61年の水害時には消防の人と市の関係者と思われる人が10名くらい家の近くの堤防にきて、増水状況を見ていただけで、避難等については何も知らされずに終わった。	五年以上前	ご家族と	今回の水害と同程度の増水なのに避難の方法は何も言われなかった。付近の人の話では30年来の水害だから、市でも何の対策もとれなかったのだろうと話していた。	防災意識の低下とマンネリ化の現れとしか思えない。行政は常に対応できるようにしていなければならないと思う。	気を付ければ避けられた
d	195	H10.8月末水害、近所の公園(家から200m)に30cm浸したので避難しました。	五年以内	ご家族と	浸水が近くにせまっていたので(近所のひくい所に30cmぐらい浸水)怖くてひなんした(実家の両親)。	平成の大改修前だったので現在とくらべると降雨量が少なくてもすぐ浸水してしまっていました。今は多少の雨でもこのようなことはない。	わからない

問39・40：実際にけがをしてしまった体験の有無

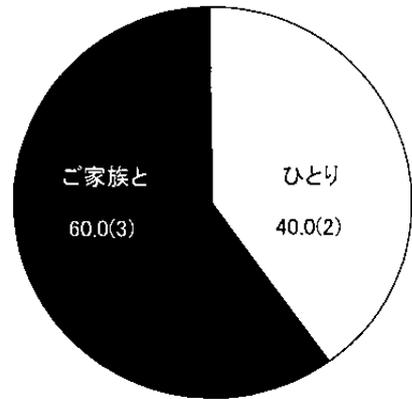
では、水害時に「危ない体験をして、実際に怪我をしてしまった」というような体験はお持ちでしょうか。

	度数	構成比
そのような体験は無い	285	97.6
そのような体験がある	7	2.4
計	292	
無回答	45	
合計	337	



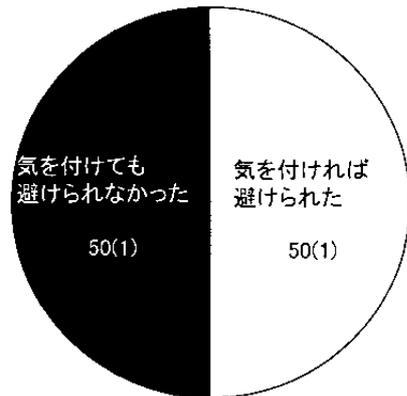
【そのとき誰と一緒にいましたか？】

	度数	構成比
ひとり	2	40.0
ご家族と	3	60.0
計	5	100
非該当	285	
無回答	47	
合計	337	



【このような状況は避けられたと思いますか？】

	度数	構成比
気を付ければ避けられた	1	50
気を付けても避けられなかった	1	50
計	2	100
非該当	285	
無回答	50	
合計	337	



2002年7月郡山市における水害のアンケート調査報告書

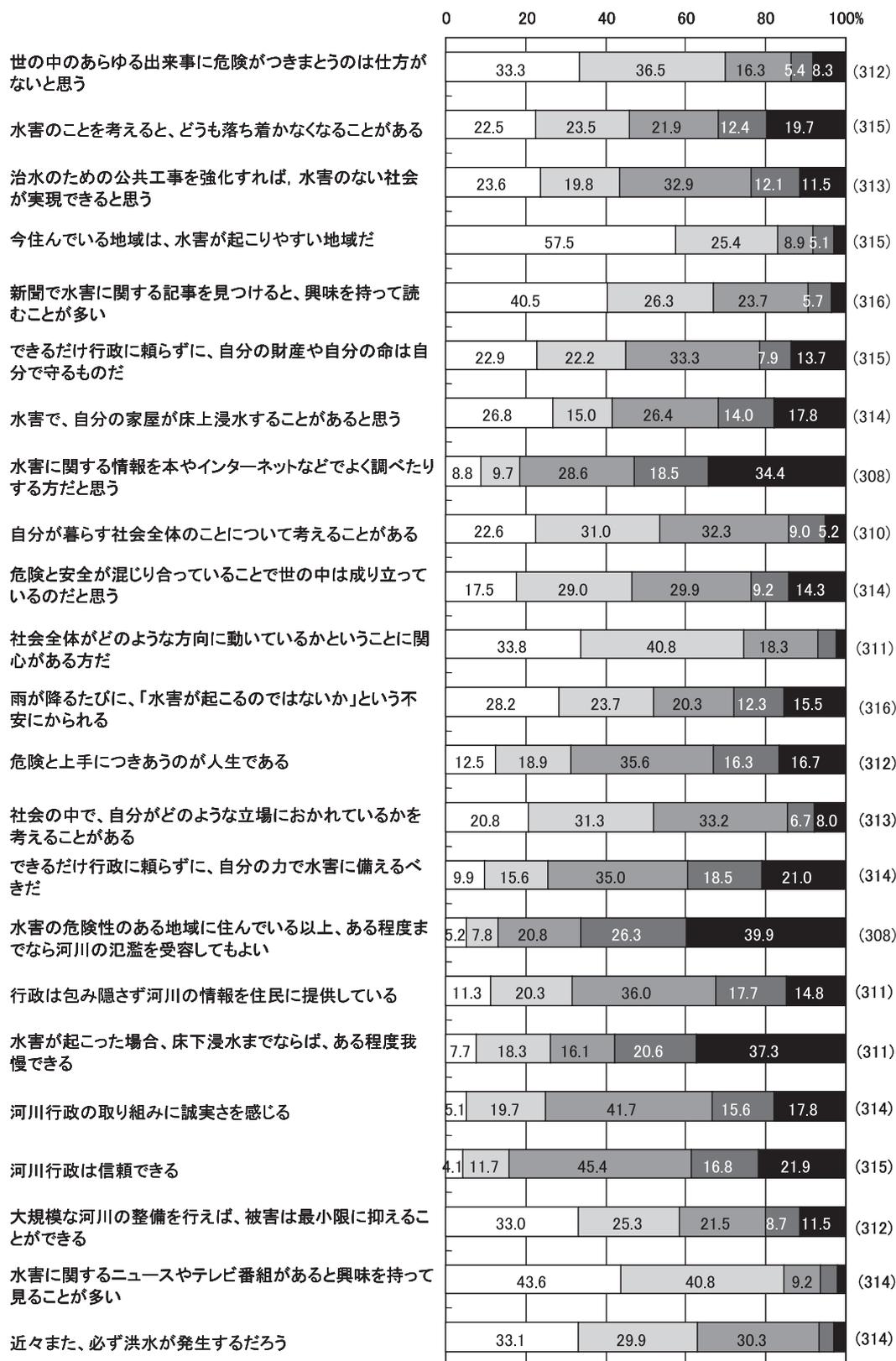
ブロック	No	体験	いつ	誰と	状況	けが	なぜ	避けられた？
b	13	床上浸水	五年以上前	ご家族	河川決壊。	回答無し		回答無し
d	1	・老人2人暮らしなので今回はボートを呼びませんでした。雨の降る中傘をさしボートへ移る事自体不安でしたので、床上浸水になって身の危険を感じたら、救急車(ボート)を呼ぼうと思った。	五年以内	ご家族と		回答無し		回答無し
d	56	大雨がふるといつもテレビを見ている。	回答なし	ひとり		ある程度の怪我をした		回答無し
d	101	怪我ではないのですが水の中をザブザブ歩いて家までたどり着く間に足の大腿部まで真っ赤になり皮膚科に通いました。	五年以上前	ご家族と	私だけ家と避難所を行ったり来たりで家族の者は何もありませんでした。	回答無し	上下水道が完備されておらずとも水がキタナイことが原因と思われる。	気を付けても避けられなかった
d	142	外部との連絡がとれないので自転車や車に乗れないし汚水の中を歩いていくのは大変だった。	少し前	回答無し		回答無し		回答無し
a	35	大したことはないですが上記に書きました。	回答なし	ひとり		ある程度の怪我をした	避難する途中の道路の水かさの増加になってしまったので。もっと早く出るか、別のコースを取れば良かった(道路の下をくぐるのは水が出るかと思っただが、意外にそうではなかった)。	気を付ければ避けられた

問41：水害・危機に対する意識

あなたご自身の考え方についてお伺いします。以下の問について、感じたままをお答えください。あまり深く考え込まずに、当てはまると思う数字にそれぞれ○をつけて下さい。

		そう思う	どちらか というそ う思う	どちらとも いえない	どちらかと いうとそ う思わ ない	計	無回答	合計
世の中のあらゆる出来事に危険がつきまとうのは仕方がないと思う	度数	104	114	51	17	26	312	25 337
	構成比(%)	33.3	36.5	16.3	5.4	8.3	100.0	
水害のことを考えると、どうも落ち着かなくなることもある	度数	71	74	69	39	62	315	22 337
	構成比(%)	22.5	23.5	21.9	12.4	19.7	100.0	
治水のための公共工事を強化すれば、水害のない社会が実現できると思う	度数	74	62	103	38	36	313	24 337
	構成比(%)	23.6	19.8	32.9	12.1	11.5	100.0	
今住んでいる地域は、水害が起こりやすい地域だ	度数	181	80	28	16	10	315	22 337
	構成比(%)	57.5	25.4	8.9	5.1	3.2	100.0	
新聞で水害に関する記事を見つけると、興味を持って読むことが多い	度数	128	83	75	18	12	316	21 337
	構成比(%)	40.5	26.3	23.7	5.7	3.8	100.0	
できるだけ行政に頼らずに、自分の財産や自分の命は自分で守るものだ	度数	72	70	105	25	43	315	22 337
	構成比(%)	22.9	22.2	33.3	7.9	13.7	100.0	
水害で、自分の家屋が床上浸水することがあると思う	度数	84	47	83	44	56	314	23 337
	構成比(%)	26.8	15.0	26.4	14.0	17.8	100.0	
水害に関する情報を本やインターネットなどでよく調べたりする方だと思う	度数	27	30	88	57	106	308	29 337
	構成比(%)	8.8	9.7	28.6	18.5	34.4	100.0	
自分が暮らす社会全体のことについて考えることがある	度数	70	96	100	28	16	310	27 337
	構成比(%)	22.6	31.0	32.3	9.0	5.2	100.0	
危険と安全が混じり合っていることで世の中は成り立っているのだと思う	度数	55	91	94	29	45	314	23 337
	構成比(%)	17.5	29.0	29.9	9.2	14.3	100.0	
社会全体がどのような方向に動いているかということに関心がある方だ	度数	105	127	57	14	8	311	26 337
	構成比(%)	33.8	40.8	18.3	4.5	2.6	100.0	
雨が降るたびに、「水害が起こるのではないか」という不安にかられる	度数	89	75	64	39	49	316	21 337
	構成比(%)	28.2	23.7	20.3	12.3	15.5	100.0	
危険と上手につきあうのが人生である	度数	39	59	111	51	52	312	25 337
	構成比(%)	12.5	18.9	35.6	16.3	16.7	100.0	
社会の中で、自分がどのような立場におかれているかを考えることがある	度数	65	98	104	21	25	313	24 337
	構成比(%)	20.8	31.3	33.2	6.7	8.0	100.0	
できるだけ行政に頼らずに、自分の力で水害に備えるべきだ	度数	31	49	110	58	66	314	23 337
	構成比(%)	9.9	15.6	35.0	18.5	21.0	100.0	
水害の危険性のある地域に住んでいる以上、ある程度までなら河川の氾濫を受容し行政は包み隠さず河川の情報を住民に提供している	度数	16	24	64	81	123	308	29 337
	構成比(%)	5.2	7.8	20.8	26.3	39.9	100.0	
水害が起こった場合、床下浸水までならば、ある程度我慢できる	度数	35	63	112	55	46	311	26 337
	構成比(%)	11.3	20.3	36.0	17.7	14.8	100.0	
河川行政の取り組みに誠実さを感じる	度数	24	57	50	64	116	311	26 337
	構成比(%)	7.7	18.3	16.1	20.6	37.3	100.0	
河川行政の取り組みに誠実さを感じる	度数	16	62	131	49	56	314	23 337
	構成比(%)	5.1	19.7	41.7	15.6	17.8	100.0	
河川行政は信頼できる	度数	13	37	143	53	69	315	22 337
	構成比(%)	4.1	11.7	45.4	16.8	21.9	100.0	
大規模な河川の整備を行えば、被害は最小限に抑えることができる	度数	103	79	67	27	36	312	25 337
	構成比(%)	33.0	25.3	21.5	8.7	11.5	100.0	
水害に関するニュースやテレビ番組があると興味を持って見ることが多い	度数	137	128	29	13	7	314	23 337
	構成比(%)	43.6	40.8	9.2	4.1	2.2	100.0	
近々また、必ず洪水が発生するだろう	度数	104	94	95	11	10	314	23 337
	構成比(%)	33.1	29.9	30.3	3.5	3.2	100.0	

2002年7月郡山市における水害のアンケート調査報告書



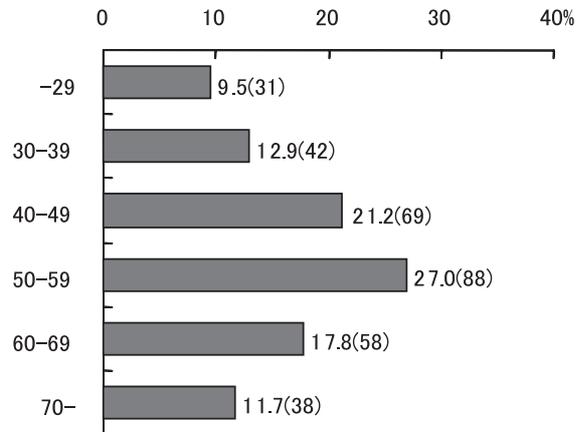
□ そう思う □ どちらかというと思う ■ どちらともいえない ■ どちらかというと思わない ■ そう思わない

8. 基本属性

問42：年齢・性別

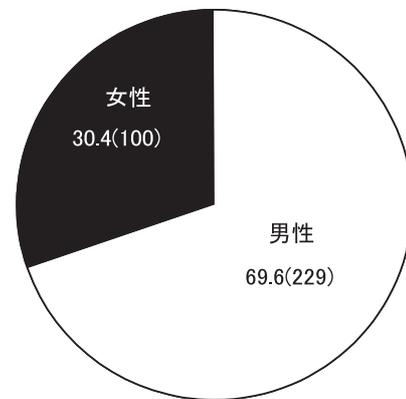
【年齢】

	度数	構成比
-29	31	9.5
30-39	42	12.9
40-49	69	21.2
50-59	88	27.0
60-69	58	17.8
70-	38	11.7
計	326	100.0
無回答	11	
合計	337	



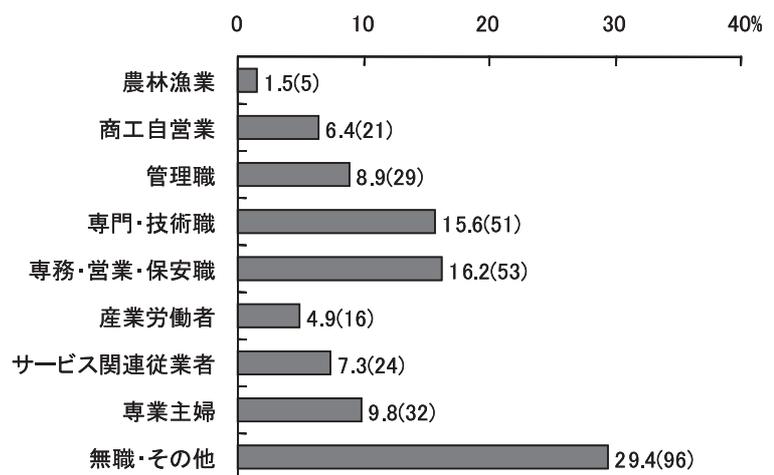
【性別】

	度数	構成比
男性	229	69.6
女性	100	30.4
計	329	100.0
無回答	8	
合計	337	



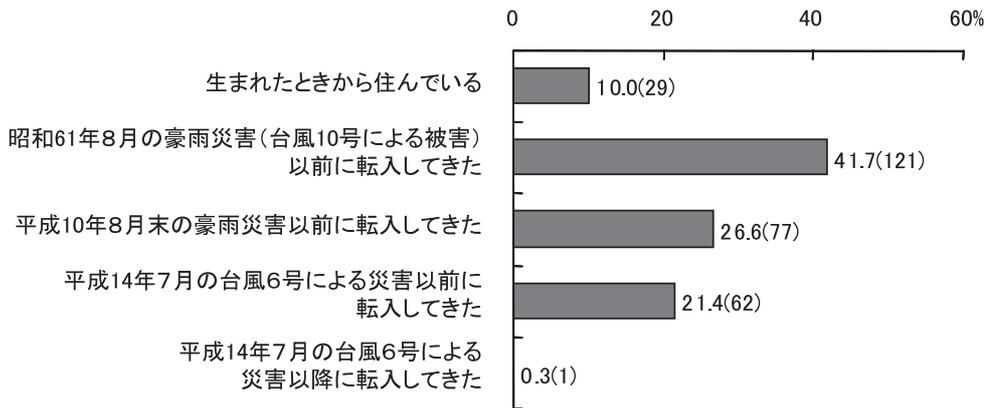
問43：職業

	度数	構成比
農林漁業	5	1.5
商工自営業	21	6.4
管理職	29	8.9
専門・技術職	51	15.6
専務・営業・保安職	53	16.2
産業労働者	16	4.9
サービス関連従業者	24	7.3
専業主婦	32	9.8
無職・その他	96	29.4
計	327	100.0
無回答	10	
合計	337	



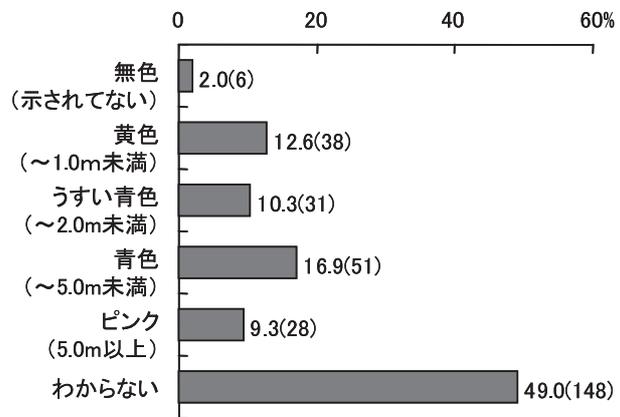
問 44 居住歴

	度数	構成比
生まれたときから住んでいる	29	10.0
昭和61年8月の豪雨災害(台風10号による被害)以前に転入してきた	121	41.7
平成10年8月末の豪雨災害以前に転入してきた	77	26.6
平成14年7月の台風6号による災害以前に転入してきた	62	21.4
平成14年7月の台風6号による災害以降に転入してきた	1	0.3
計	290	100.0
無回答	47	
合計	337	



問 45 : 改訂版洪水ハザードマップに示される自宅の予想浸水深

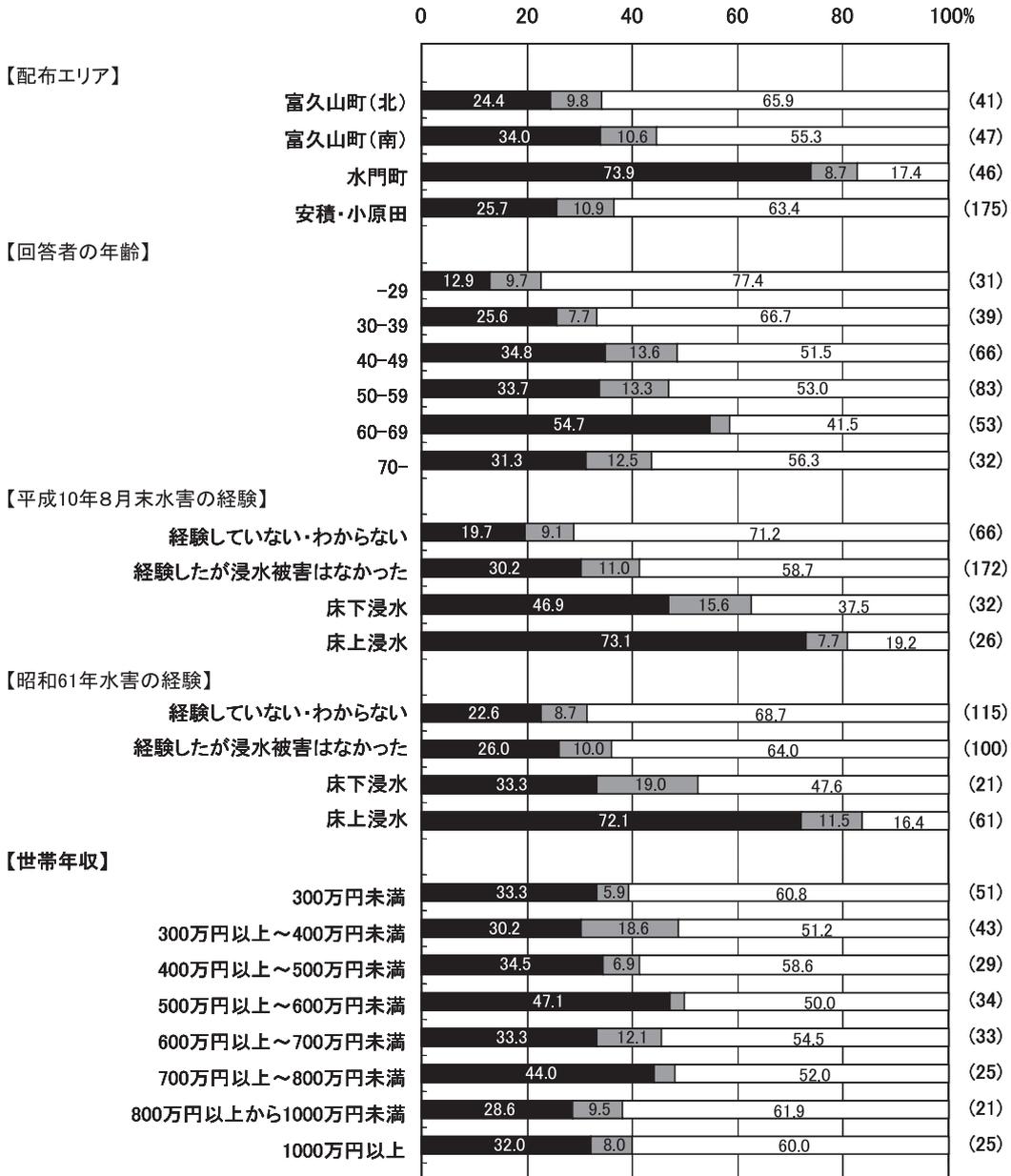
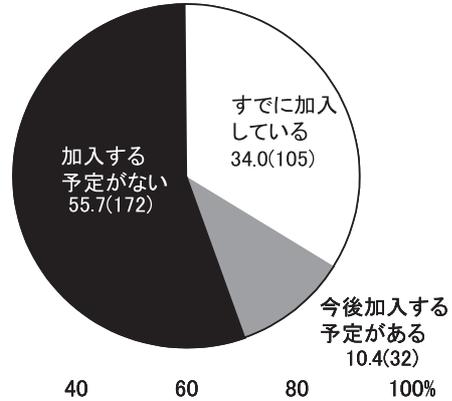
	度数	構成比
無色(示されてない)	6	2.0
黄色(~1.0m未満)	38	12.6
うすい青色(~2.0m未満)	31	10.3
青色(~5.0m未満)	51	16.9
ピンク(5.0m以上)	28	9.3
わからない	148	49.0
計	302	100.0
無回答	35	
合計	337	



問46：保険の加入状況

現在、あなたは水害による被害を補てん出来る保険に加入していますか。現在の状況についてa～cのうち当てはまるものに○印をつけ、その理由等を矢印に従いお答え下さい。

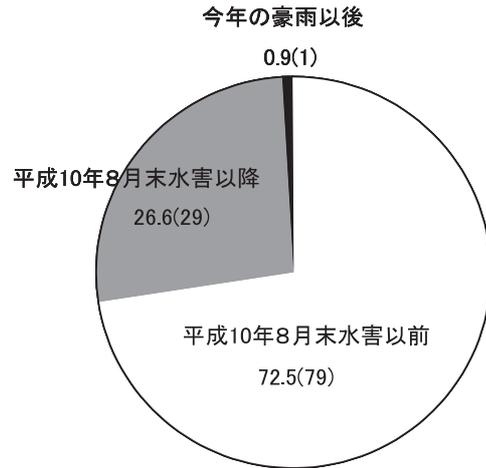
	度数	構成比
すでに加入している	105	34.0
今後加入する予定がある	32	10.4
加入する予定がない	172	55.7
計	309	100.0
無回答	28	
合計	337	



■すでに加入している □今後加入する予定がある □加入する予定がない

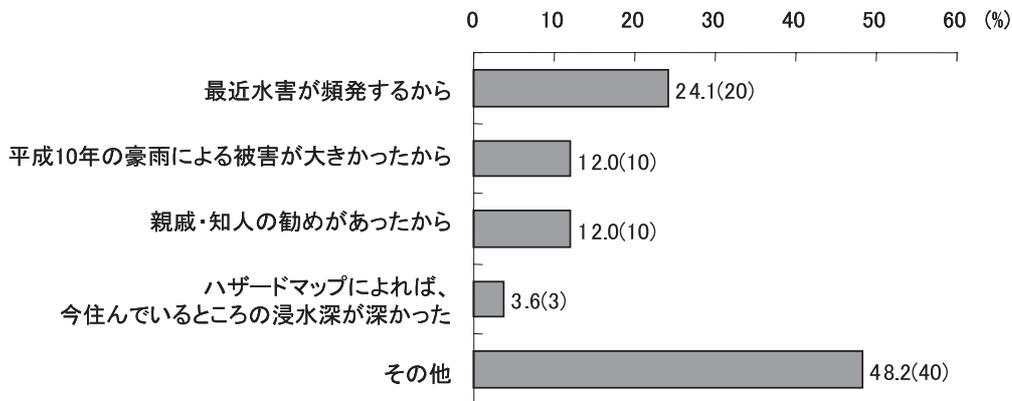
■加入の時期

	度数	構成比
平成10年8月末水害以前	79	72.5
平成10年8月末水害以降	29	26.6
今年の豪雨以後	1	0.9
計	109	100.0
非該当	204	
無回答	24	
合計	337	



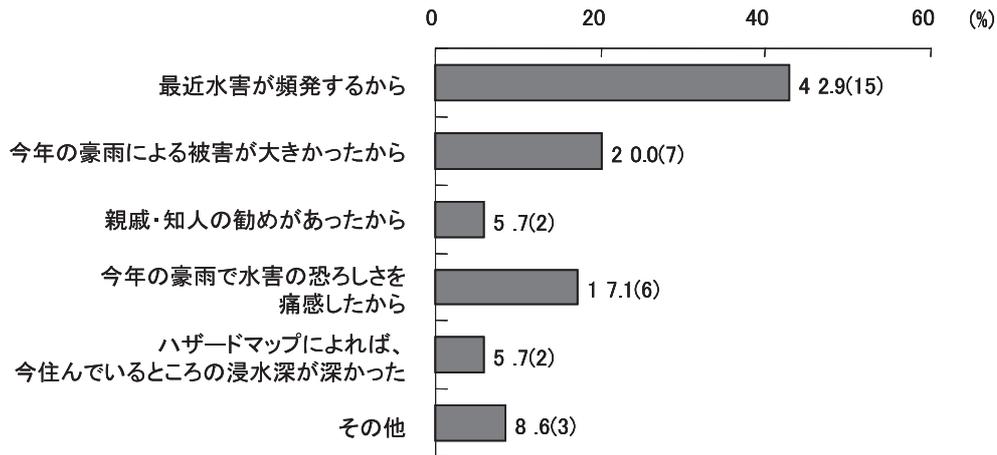
■加入した理由

	度数	構成比
最近水害が頻発するから	20	24.1
平成10年の豪雨による被害が大きかったから	10	12.0
親戚・知人の勧めがあったから	10	12.0
ハザードマップによれば、今住んでいるところの浸水深が深かった	3	3.6
その他	40	48.2
計	83	100.0
非該当	204	
無回答	50	
合計	337	



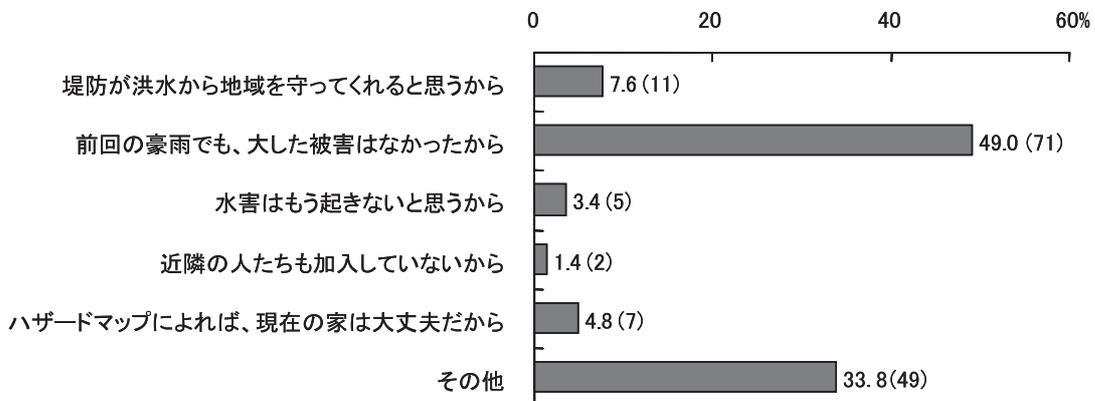
■ 今後加入する予定がある→その理由

	度数	構成比
最近水害が頻発するから	15	42.9
今年の豪雨による被害が大きかったから	7	20.0
親戚・知人の勧めがあったから	2	5.7
今年の豪雨で水害の恐ろしさを痛感したから	6	17.1
ハザードマップによれば、今住んでいるところの浸水深が深かった	2	5.7
その他	3	8.6
計	35	100.0
非該当	276	
無回答	26	
合計	337	



■ 加入する予定がない→その理由

	度数	構成比
堤防が洪水から地域を守ってくれると思うから	11	7.6
前回の豪雨でも、大した被害はなかったから	71	49.0
水害はもう起きないと思うから	5	3.4
近隣の人たちも加入していないから	2	1.4
ハザードマップによれば、現在の家は大丈夫だから	7	4.8
その他	49	33.8
計	145	100.0
非該当	136	
無回答	56	
合計	337	



【a、すでに加入している理由 その他 記述回答】

ブロック	No	記述内容
a	1	阪神大震災より地震保険とともに。
a	14	火災保険とセットで。
a	25	総合保険。
b	1	入居時に。
b	18	アパートの更新の条件として提示があった。
b	27	当地に新築時から加入している。
b	38	前に加入していた。
b	45	水害のためだけではなく。
b	57	S61. 8月被害にあったから。
c	1	S62年に母が住んでいて水害にあっているから。
c	10	昭和61年に被害にあったから。
c	15	入居時に強制加入が原則だった為。
c	19	60年8. 5水害後。
c	26	不動産が変わり自動的に加入。
c	34	会社で。
c	40	昭和61年の水害のときから。
c	46	61.8で被害にあったから。
d	11	地震が恐いので。
d	34	新築時。
d	47	火災保険に付随している。
d	50	昭和61年に水害にあつて居るから。
d	71	川が近い、堤防が土なので。
d	84	住宅金融公庫を使っている為。
d	87	新築の家である為火災保険に加入。
d	88	今の所が、前に何度か床上浸水したから。
d	111	元々。
d	143	新築の際、大火保険に入った。
d	151	保険に入らざるを得ない状況。
d	191	親が加入している。

【b、今後加入する予定ある理由 その他 記述回答】

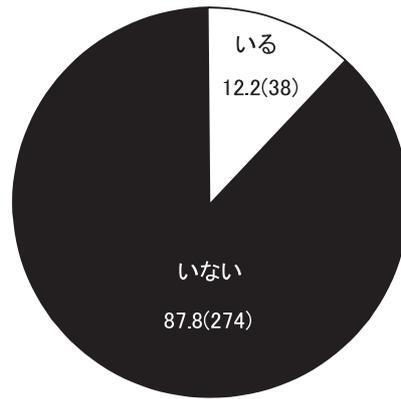
ブロック	No	記述内容
b	44	61年の水害にあったから。
c	30	安心。
d	189	河川のそばに住んでいるから。

【c、加入する予定がない理由 その他 記述回答】

ブロック	No	記述内容
a	4	水害がおこらない所にに住む予定。
a	5	自力で対応する。
a	16	私の家がダメなら他も全滅するから。
a	25	関心はない。
a	27	保険に入るよゆうがない。
a	28	経済的に余裕なし。
a	29	水害のない地域に引っ越す予定。
a	33	経済的に。
a	34	築30年と古いので。
b	14	経済的な理由もあるし、その保険について、全く知らないから。
b	16	今までに水害にあったことがないから。
b	32	金銭的ゆとりがないから。
b	33	保険不信。
b	37	借家だから。
b	46	アパートを変えるつもりである。
b	55	借家だから。
c	8	アパートの3階だから。
c	38	引っ越しを考えている。
c	49	引っ越しを予定している。
d	3	運命。
d	7	金が無い。
d	23	ここには長く居る気がしないため。
d	35	あまり気にしない方がよいと思う。
d	37	借家だから。
d	39	水害地域であるが高台であり、過去三回の被害がない。
d	51	特になし。
d	60	大きな被害は出ないと思うから。
d	61	近年転出予定だから。
d	62	いつまで郡山市にいるか分からないから。いつ転動があるか分からないから。
d	86	マンション3階だから。
d	98	人災だから防止できる 行政が責任をとるべき 人災だから
d	99	保険がどうこうの問題ではない。
d	102	金銭的理由のため。
d	108	お金がない。
d	123	3回の水害、床下一部床上では保険の対象にならないから。
d	130	借家。
d	139	アパートなので。
d	152	賃貸集合住宅だから。
d	167	水害の心配がない為。
d	174	ハザードマップを見たことがないし、アパートだから。
d	175	保険が高額だから。
d	180	建物が古い。
d	186	まだ学生のため、この先の生活状況が未決定のため、水害の起こる地域で生活するかも分からない。
d	187	保険は当てにならないから、いつも。
d	190	引っ越しを考えているため。
d	193	被害にあうことはない。

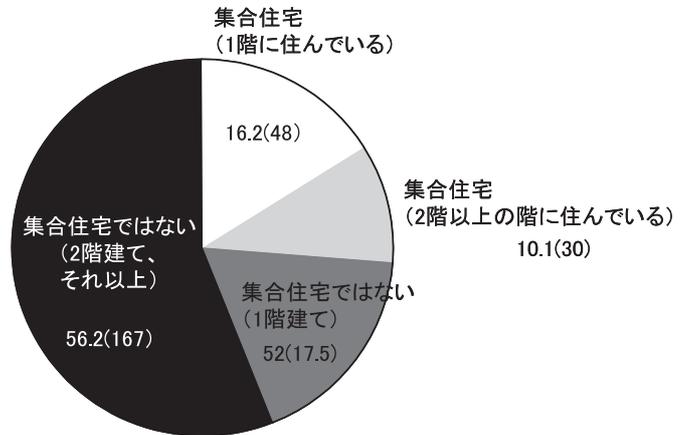
問 47：避難困難者の有無

	度数	構成比
いる	38	12.2
いない	274	87.8
計	312	100.0
無回答	25	
合計	337	

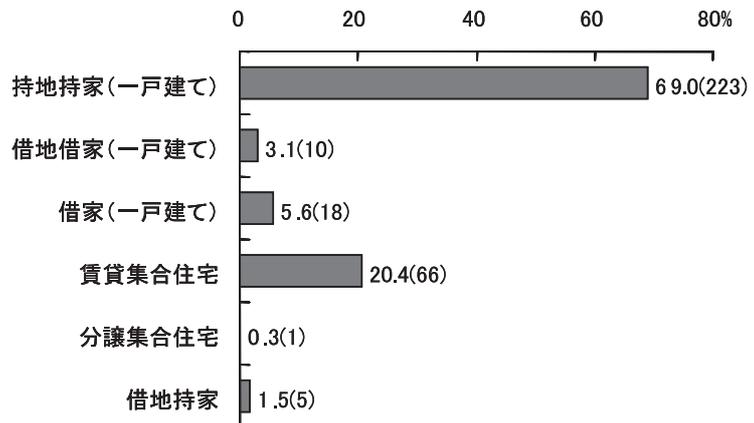


問 48：家屋形式

	度数	構成比
集合住宅(1階に住んでいる)	48	16.2
集合住宅(2階以上の階に住んでいる)	30	10.1
集合住宅ではない(1階建て)	52	17.5
集合住宅ではない(2階建て、それ以上)	167	56.2
計	297	100.0
無回答	40	
合計	337	



	度数	構成比
持地持家(一戸建て)	223	69.0
借地借家(一戸建て)	10	3.1
借家(一戸建て)	18	5.6
賃貸集合住宅	66	20.4
分譲集合住宅	1	0.3
借地持家	5	1.5
計	323	100.0
無回答	14	
合計	337	



問49 世帯年収

	度数	構成比
300万円未満	56	19.9
300万円以上～400万円未満	47	16.7
400万円以上～500万円未満	31	11.0
500万円以上～600万円未満	36	12.8
600万円以上～700万円未満	35	12.5
700万円以上～800万円未満	27	9.6
800万円以上から1000万円未満	21	7.5
1000万円以上	28	10.0
計	281	100.0
無回答	56	
合計	337	

